

消費税税率引き上げに向けた今後の進め方について

中 医 協 総 - 6
3 0 . 9 . 2 6

○ 消費税税率引き上げに伴う診療報酬での対応の経緯等は以下のとおり。

消費税導入時(平成元年4月)、5%引き上げ時(平成9年4月)

- 消費税導入・引き上げ時に、診療報酬改定(平成元年+0.76%、9年+0.77%)を行い、医療機関等の消費税負担上昇分を補てんし、全体として、医療機関等の消費税負担に診療報酬で対応。

消費税税率8%引き上げ時の対応(平成26年4月)

- 平成26年4月の消費税引き上げでは、医療機関等の実態調査に基づき、消費税対応分として、必要額(診療報酬改定全体+1.36%)を確保。

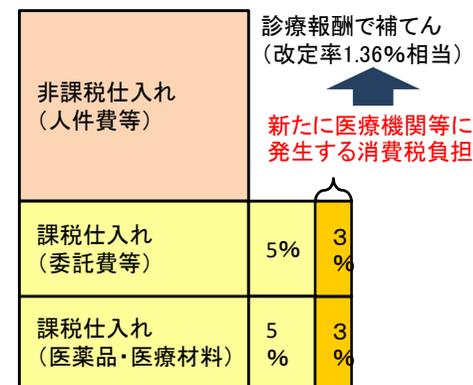
◆ 診療報酬本体(+0.63%)

…多くの医療機関等に手当される等の観点から、初再診料、入院基本料等の基本的な点数に上乗せ

◆ 薬価・特定保険医療材料価格(+0.73%)

…市場実勢価格に消費税3%分を上乗せ

医療機関等の仕入れの構造
(消費税税率8%引き上げ時)



全ての仕入れ価格が3%引き上げられるわけではない(非課税仕入れが存在)ので、改定率は1.36%相当

26年度の改定率(消費税対応)

薬・材料	0.73%	(約3,000億円)
本体	0.63%	(約2,600億円)
合計	1.36%	(約5,600億円)

本体報酬の財源配分

医科	(約2,200億円)	病院 (約1,600億円)
歯科	(約200億円)	診療所 (約600億円)
調剤	(約100億円)	

消費税税率10%引き上げに向けた対応(平成31年10月)

- 診療報酬本体、薬価・特定保険医療材料価格について、平成31年10月の消費税税率10%への引き上げを見据えた対応を今後検討。

過去の消費税率引上げ時の薬価改定の方法等について

診調組 税 - 2 - 2 (改)
2 8 . 3 . 3 0

薬価の算定式

$$\text{価 格} = \text{医療機関等への販売価格の加重平均値} \times \underline{(1 + \text{消費税率})} + \text{調整幅}$$

(税抜の市場実勢価格)

〔 薬価等には、常にその時々
消費税率が反映されている 〕

平成元年・9年・26年の対応

	薬価調査の実施有無
平成元年	<u>薬価調査は実施せず</u> ただし、過剰転嫁とならないよう改定率に「0.9」を乗じている
平成9年	<u>薬価調査を実施した上で</u> 、2%分を上乗せ
平成26年	通常の改定年度であり、 <u>薬価調査を実施した上で</u> 、 3%分を上乗せ

消費税率引上げに向けた今後の進め方について

- **消費税率10%引上げに伴う本体報酬改定については、税制改正要望（p6参照）の進捗状況等も踏まえつつ、以下の論点等についてご議論いただいているところ。**（9/19消費税分科会資料（税－3）から抜粋）

【補てん項目への配点の考え方】

- ① 初・再診料と入院料の配分方法等について
 - 初・再診料と入院料の配分や、初・再診料の設定に当たり、何らかの工夫をすることは考えられないか。
- ② 入院料の配点について
 - 平成26年度改定時においては、サンプル数が少ないこと等から、全体として、看護配置による区別はせず入院基本料種別ごとの課税経費率の平均値を適用することとした。一方で、医療機関等の消費税相当負担額を的確に把握する観点から、より細かくみていくといったことは考えられないか。
 - 課税経費率や算定回数の変動だけでは、補てん率の説明が難しいものもあり（療養病棟入院基本料算定病院等）、入院料ごとの配点に当たり、これら以外の要素（病院の収入における当該入院料のシェア等）を考慮するといったことは考えられないか。
- ③ 個別項目への配点について
 - 平成26年度改定に当たっては、「可能な限り分かりやすい形で上乘せすることを重視すべきであり」、「個別項目」については、基本診療料・調剤基本料との関係上、上乘せしなければ不合理になるとされる項目等に補完的に上乘せする」と整理された。この点、例えば、個別項目の算定回数や、当該項目を算定する病院等の課税経費率等を分析し、その結果を踏まえて個別項目への配点を考えられないか。

【財源配分の考え方】

- 本体報酬に係る改定財源の配分について、平成26年度改定時には、医療費シェアと課税経費率の比率に応じて財源を按分することを基本とすることとされたが、医療費シェアと課税経費率それぞれについて、平成26年度以降変動している。医科・歯科・調剤間では各科ごとに若干の変動はあるものの、振れ幅は大きくない。一方で、病・診間の補てん状況には影響を及ぼしていると考えられる。これらの変動をどう考えるか。

【使用するデータ等について】

- ① 課税経費率 直近の調査である、第21回医療経済実態調査(平成29年度調査)の結果を用いることとしてはどうか。
- ② 補てん点数項目に係る算定回数の見込み 見込みと実績の乖離をできるだけなくす観点から、「NDBデータの通年の実績データ（平成29年度実績）」を用い、実態をより踏まえた方法で見込むよう見直すこととしてはどうか。
- ③ 今後の補てん状況の検証 平成31年10月に予定されている消費税率引上げに係る補てん状況については、必要なデータが揃い次第速やかに検証してはどうか。

消費税率引上げに向けた今後の進め方について

- **消費税率10%引上げに伴う薬価・材料価格改定については、これまでも、その時の実勢価に対して消費税率分を上乗せする形をとっているところ、以下の論点等についてご議論いただくこととしてはどうか。**

【改定の趣旨】

- 来年度に実施する薬価等の改定は、来年10月からの消費税率の引上げに伴い必要となるものであること。（骨太の方針2018（p7）参照）
- そのためには、その時の実勢価に対して消費税率分を上乗せすることが必要であること。

【改定の時期】

- ・ 消費税率の引上げ分の上乗せは、消費税率の引上げと同時に行う必要があり、従来、実勢価を踏まえた薬価引下げを同時に実施した上で改定。来年10月からの消費税率の引上げに伴い必要になるものという趣旨を踏まえ、来年10月に実勢価を踏まえた上で上乗せすることが自然と考えられる。
 - ・ 一方、2020年度の通常改定を行うためには、2019年9月に薬価調査を行い実勢価を把握することが必要となるが、上記のとおり改定を10月とした場合、その改定後の実勢価を2020年度の改定に反映できないという課題がある。
- 上記を踏まえ、実勢価を踏まえた薬価引下げの時期についてどう考えるか。

【その他】

- 改定の趣旨や時期を踏まえ、薬価等の算定式をどうするか。
- 実勢価改定に連動して適用する薬価等の改定ルール（新薬創出等加算、最低薬価等）の範囲や内容について、どう考えるか。

消費税率引上げに向けた今後の進め方について

- 今後の中医協総会、各部会等での議論は以下のようなスケジュールで進めていただくこととしてはどうか。

【中医協総会】

- 10月の総会で、薬価・材料価格改定について関係業界からの意見聴取。（10月・11月にかけて、各部会において各論点について議論し、骨子案をまとめ）年内に総会に報告することとしてはどうか。

【消費税分科会】

- 10月・11月にかけて各論点を議論。骨子案をまとめ、年内に総会に報告することとしてはどうか。

【薬価専門部会・保険医療材料専門部会】

- （10月の総会において関係業界からの意見聴取）10月・11月にかけて、両部会で各論点を議論。12月頃にも関係業界から意見聴取を行い、骨子案をまとめ、年内に総会に報告することとしてはどうか。

	薬価専門部会	保険医療材料専門部会	総会		消費税分科会
9月			論点、 今後の進め方	報告	要因分析等
10月	各論点を議論	各論点を議論	業界からの 意見聴取		各論点を議論
11月					各論点を議論、 骨子案
12月	業界からの意見聴取 骨子案	業界からの意見聴取 骨子案	薬価・材料価格 調査結果、 骨子案報告	骨子案 報告	
1月	具体的な改定内容等	具体的な改定内容等			具体的な改定内容等

医療に係る消費税問題の抜本的な解決に向けた新たな措置

(消費税、地方消費税 等)

1. 背景

- 社会保険診療については、消費税は非課税扱い。
- 消費税導入時（平成元年）、引上げ時（平成9年）に診療報酬改定を行い、医療機関等の仕入れに係る消費税負担に診療報酬で対応。
- 三党実務者合意（平成24年6月）、税制抜本改革法（平成24年8月）により、8%引上げ時には、高額投資に係る消費税の負担に関し、新たに一定の基準に該当するものに対し区分して措置を講ずることを検討し、医療機関等の仕入れに係る消費税については、診療報酬等の医療保険制度における手当のあり方を検討することとされた。
- 中央社会保険医療協議会「医療機関等における消費税負担に関する分科会（以下「分科会」）」の議論を踏まえ、平成26年4月の8%引上げ時に診療報酬と別建ての高額投資対応は行わず、診療報酬の中で、基本診療料等に上乘せすることで対応
- 消費税率引上げ時期変更法（平成28年11月）により、消費税率10%への引上げは、平成31年10月に延期された。
- 平成30年7月の分科会において、消費税率8%への引上げによる医療機関等の控除対象外消費増税(3%)分に関しては、診療報酬改定による対応について、医療機関種別ごとで補てん状況に相当程度のばらつきがみられることが確認された。
- 10%引上げ時の対応として、診療側は、診療報酬による対応では限界があるとして、税制による抜本的な解決を強く要望。
- 医療機関等の経営環境が厳しくなる中で、この問題が医療機関等の前向きな投資を一層難しくしており、国民に必要な医療を効果的・効率的に提供していくための設備投資等は着実に進めていく必要がある。

2. 平成30年度与党税制改正大綱（抜粋）

<検討事項>

医療に係る消費税のあり方については、医療保険制度における手当のあり方の検討等とあわせて、医療関係者、保険者等の意見、特に高額な設備投資にかかる負担が大きいとの指摘等も踏まえ、医療機関の仕入れ税額の負担及び患者等の負担に十分に配慮し、関係者の負担の公平性、透明性を確保しつつ、平成31年度税制改正に際し、税制上の抜本的な解決に向けて総合的に検討し、結論を得る。

3. 要望内容

医療に係る消費税等の税制のあり方については、医療保険制度における手当のあり方の検討等とあわせて、医療関係者、保険者等の意見、特に高額な設備投資にかかる負担が大きいとの指摘等も踏まえ、医療機関の仕入れ税額の負担及び患者等の負担に十分に配慮し、関係者の負担の公平性、透明性を確保しつつ検討を行い、**平成31年度税制改正に際し、この税制上の問題の抜本的な解決に向けて、個別の医療機関等の補てんの過不足について、新たな措置を講ずる。**

経済財政運営と改革の基本方針2018（平成30年6月15日閣議決定）

第3章「経済・財政一体改革」の推進

3. 主要分野ごとの計画の基本方針と重要課題

(1) 社会保障

(医療・介護提供体制の効率化とこれに向けた都道府県の取組の支援)

レセプト情報を活用し、本人同意の下、医師や薬剤師が投薬歴等を閲覧できる仕組みの構築や、診療報酬での評価等により、多剤投与の適正化を引き続き推進する。

(医薬品等に係る改革等)

「薬価制度の抜本改革に向けた基本方針」¹⁹²に基づき、国民負担の軽減と医療の質の向上に取り組むとともに、医薬品産業を高い創薬力を持つ産業構造に転換する。バイオ医薬品の研究開発の推進を図るとともに、バイオシミラーについては、「経済財政運営と改革の基本方針2017」¹⁹³を踏まえ、有効性・安全性等への理解を得ながら研究開発・普及を推進するなど医薬品産業の国際競争力強化に向けた取組を着実に推進する。費用対効果評価については本格実施に向けてその具体的内容を引き続き検討し、2018年度中に結論を得る。毎年薬価調査・毎年薬価改定に関しては、2019年度¹⁹⁴、2020年度¹⁹⁵においては、全品目の薬価改定を行うとともに、2021年度¹⁹⁶における薬価改定の対象範囲について、この間の市場実勢価格の推移、薬価差の状況、医薬品卸・医療機関・薬局等の経営への影響等を把握した上で、2020年中にこれらを総合的に勘案して、決定する。また、2020年度の薬価改定に向けて、新薬創出等加算対象品目を比較薬とする場合の薬価算定の見直し、効能追加等による革新性・有用性の評価、長期収載品の段階的な価格引下げまでの期間の在り方等について、所要の措置を検討する。患者本位の医薬分業を実現し、地域において薬局が効果的・効率的にその役割を果たすことができるよう、調剤報酬の在り方について引き続き検討する。また、高齢者への多剤投与対策、生活習慣病治療薬の費用面も含めた適正な処方¹⁹⁷の在り方については引き続き検討を進める。後発医薬品の使用促進についても引き続き取り組む。

(負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化、自助と共助の役割分担の再構築)

新規医薬品や医療技術の保険収載等に際して、費用対効果や財政影響などの経済性評価や保険外併用療養の活用などを検討する。医療技術評価の在り方について調査・研究・検討を推進するとともに、そのための人材育成・データ集積・分析を推進する。薬剤自己負担の引上げについて、市販品と医療用医薬品との間の価格のバランス、医薬品の適正使用の促進等の観点を踏まえつつ、対象範囲を含め幅広い観点から、引き続き関係審議会において検討し、その結果に基づき必要な措置を講ずる。病院・診療所の機能分化・機能連携等を推進しつつ、かかりつけ機能の在り方を踏まえながら、かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師の普及を進めるとともに、外来受診時等の定額負担導入を検討する。

¹⁹² 「薬価制度の抜本改革に向けた基本方針」（平成28年12月20日内閣官房長官・経済財政政策担当大臣・財務大臣・厚生労働大臣決定）

¹⁹³ 「経済財政運営と改革の基本方針2017」（平成29年6月9日閣議決定）

¹⁹⁴ 2019年度は、消費税率上げが予定されている年度。

¹⁹⁵ 2020年度は、2年に1度の薬価改定が行われる年度。

¹⁹⁶ 2021年度は、最初の薬価改定年度（2年に1度の薬価改定の間の年度）。



政府統計

報道関係者 各位

平成 30 年 9 月 21 日

【照会先】 保険局調査課

課長 山内 孝一郎 (内線 : 3291)

数理企画官 仲津留 隆 (内線 : 3293)

担当係 医療機関医療費係 (内線 : 3298)

電話 : 03-5253-1111 (代表)

03-3595-2579 (直通)

「平成 29 年度 医療費の動向」を公表します ～概算医療費の年度集計結果～

厚生労働省では、毎月、医療費の動向を迅速に把握するために、医療機関からの診療報酬の請求に基づいて、医療保険・公費負担医療分の医療費を集計し、「医療費の動向」として公表しています。

このたび、平成 29 年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

本資料における医療費は、速報値であり、労災・全額自費等の費用を含まないことから概算医療費と呼称しています。概算医療費は、医療機関などを受診し傷病の治療に要した費用全体の推計値である国民医療費の約 98%に相当しています。

【調査結果のポイント】

- 平成 29 年度の医療費は 42.2 兆円となり、前年度に比べて約 0.9 兆円の増加となった。(表 1-1)
- 医療費の内訳を診療種別にみると、入院 17.0 兆円 (構成割合 40.2%)、入院外 14.4 兆円 (34.1%)、歯科 2.9 兆円 (6.9%)、調剤 7.7 兆円 (18.3%) となっている。(表 3-1)
- 医療費の伸び率は+2.3%。診療種別にみると、入院+2.6%、入院外+1.6%、歯科+1.4%、調剤+2.9%となっている。(表 3-2)
- 1 日当たり医療費の伸び率は+2.4%。診療種別にみると、入院+2.0%、入院外+2.1%、歯科+1.3%、調剤+1.8%となっている。(表 5-2)
- 医療機関を受診した延患者数に相当する受診延日数の伸び率は▲0.1%。診療種別にみると、入院+0.5%、入院外▲0.5%、歯科+0.1%となっている。(表 4-2)

【参考】 医療費の動向

	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
医療費 (兆円)	39.3	40.0	41.5	41.3	42.2
医療費の伸び率 (%)	2.2	1.8	3.8	▲0.4	2.3
(参考 : 休日数等補正後)	(2.2)	(1.9)	(3.6)	(▲0.4)	(2.3)
1 日当たり医療費の伸び率 (%)	3.1	2.1	3.6	0.3	2.4
受診延日数の伸び率 (%)	▲0.8	▲0.3	0.2	▲0.7	▲0.1

「平成 29 年度 医療費の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス (<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/database/>)

-平成29年度 医療費の動向-



MEDIAS
Medical Information Analysis System

厚生労働省保険局調査課

目次

I 制度別の概算医療費

表1-1： 医療費の推移

表1-2： 医療費の伸び率（対前年度比）

表2-1： 1人当たり医療費の推移

表2-2： 1人当たり医療費の伸び率（対前年度比）

II 診療種類別の概算医療費

表3-1： 医療費の推移

表3-2： 医療費の伸び率（対前年度比）

表4-1： 受診延日数の推移

表4-2： 受診延日数の伸び率（対前年度比）

表5-1： 1日当たり医療費の推移

表5-2： 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

参考1： 制度別の医療費の補正後の伸び率（対前年度比）

参考2： 診療種類別の医療費の補正後の伸び率（対前年度比）

III 医療機関種類別の概算医療費

表6-1： 医療費の推移

表6-2： 医療費の伸び率（対前年度比）

表7-1： 主たる診療科別医科診療所医療費の推移

表7-2： 主たる診療科別医科診療所医療費の伸び率（対前年度比）

表8-1： 受診延日数の推移

表8-2： 受診延日数の伸び率（対前年度比）

表9-1： 主たる診療科別 医科診療所受診延日数の推移

表9-2： 主たる診療科別 医科診療所受診延日数の伸び率（対前年度比）

表10-1： 1施設当たり医療費の推移

表10-2： 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表11-1： 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の推移

表11-2： 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表12-1： 1施設当たり受診延日数の推移

表12-2： 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

表13-1： 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の推移

表13-2： 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

表14-1： 入院 医療費の推移

表14-2： 入院 医療費の伸び率（対前年度比）

表15-1： 入院 受診延日数の推移

表15-2： 入院 受診延日数の伸び率（対前年度比）

表16-1： 入院 1日当たり医療費の推移

表16-2： 入院 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表17-1： 入院 1施設当たり医療費の推移

表17-2： 入院 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表18-1： 入院 1施設当たり受診延日数の推移

表18-2： 入院 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

【参考】 推計新規入院件数、推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費

表19-1： 入院外 医療費の推移

表19-2： 入院外 医療費の伸び率（対前年度比）

表20-1： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 医療費の推移

表20-2： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 医療費の伸び率（対前年度比）

表21-1： 入院外 受診延日数の推移

表21-2： 入院外 受診延日数の伸び率（対前年度比）

表22-1： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 受診延日数の推移

表22-2： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 受診延日数の伸び率（対前年度比）

表23-1： 入院外 1日当たり医療費の推移

表23-2： 入院外 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表24-1： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 1日当たり医療費の推移

表24-2： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表25-1： 入院外 1施設当たり医療費の推移

表25-2： 入院外 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表26-1： 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の推移

表26-2： 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表27-1： 入院外 1施設当たり受診延日数の推移

表27-2： 入院外 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

表28-1： 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の推移

表28-2： 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

IV 都道府県別の概算医療費

表29-1： 医療費総額

表29-2： 医療費総額の伸び率（対前年同期比）

表30-1： 受診延日数

表30-2： 都道府県別受診延日数の伸び率（対前年同期比）

表31-1： 1日当たり医療費

表31-2： 1日当たり医療費の伸び率（対前年同期比）

【参考】 推計平均在院日数等

平成29年度 医療費の動向

I 制度別の概算医療費

表1-1 医療費の推移

(単位：兆円)

	総計	医療保険適用						公費	
		75歳未満				75歳以上			
		被用者 保険	本人	家族	国民健康 保険	(再掲) 未就学者			
平成25年度	39.3	23.1	11.3	5.8	5.0	11.8	1.4	14.2	2.0
平成26年度	40.0	23.4	11.6	6.0	5.1	11.8	1.4	14.5	2.0
平成27年度 (構成割合)	(100%)	(58.4%)	(29.4%)	(15.3%)	(12.6%)	(29.0%)	(3.5%)	(36.6%)	(5.1%)
平成28年度① (構成割合)	(100%)	(57.8%)	(29.9%)	(15.8%)	(12.7%)	(27.9%)	(3.5%)	(37.2%)	(5.1%)
平成29年度② (構成割合)	(100%)	(57.0%)	(30.4%)	(16.3%)	(12.5%)	(26.7%)	(3.4%)	(37.9%)	(5.0%)
②-①	0.95	0.23	0.48	0.35	0.07	▲0.25	▲0.00	0.68	0.04

- 注1. 審査支払機関（社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会）で審査される診療報酬明細書のデータ（算定ベース：点数、費用額、件数及び日数）を集計している。点数を10倍したものを医療費として評価している。
- 注2. 「医療保険適用」「75歳未満」の「被用者保険」は、70歳未満の者及び高齢受給者に係るデータであり、「本人」及び「家族」は、高齢受給者を除く70歳未満の者に係るデータである。
- 注3. 「医療保険適用」の「75歳以上」は後期高齢者医療の対象となる者に係るデータである。「公費」は医療保険適用との併用分を除く、生活保護などの公費負担のみのデータである。

表1-2 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	総計	医療保険適用						公費	
		75歳未満				75歳以上			
		被用者 保険	本人	家族	国民健康 保険	(再掲) 未就学者			
平成25年度	2.2	1.3	1.6	2.6	0.2	1.1	▲ 1.4	3.7	2.3
平成26年度	1.8	1.5	2.6	3.2	1.6	0.4	0.6	2.3	1.7
平成27年度	3.8	3.3	4.9	6.4	3.2	1.8	0.5	4.6	3.4
平成28年度	▲ 0.4	▲ 1.4	1.3	2.8	0.0	▲ 4.2	▲ 0.9	1.2	▲ 0.9
平成29年度	2.3	1.0	3.9	5.3	1.4	▲ 2.2	▲ 0.1	4.4	1.8

表2-1 1人当たり医療費の推移

(単位：万円)

	総計	医療保険適用						75歳以上
		75歳未満	被用者保険		国民健康保険	(再掲)未就学者		
			本人	家族				
平成25年度	30.8	20.7	15.3	14.5	15.2	31.4	20.6	92.7
平成26年度	31.4	21.1	15.6	14.7	15.5	32.2	21.0	93.1
平成27年度	32.7	21.9	16.3	15.4	16.0	33.9	21.3	94.8
平成28年度	32.5	21.7	16.3	15.4	16.1	33.9	21.3	93.0
平成29年度	33.3	22.1	16.7	15.8	16.5	34.9	21.7	94.2

注. 人数が未確定の制度もあり、数値が置き換わる場合がある。

表2-2 1人当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	総計	医療保険適用						75歳以上
		75歳未満	被用者保険		国民健康保険	(再掲)未就学者		
			本人	家族				
平成25年度	2.4	1.8	1.3	1.7	0.7	2.9	▲ 0.7	1.3
平成26年度	2.0	1.8	2.0	1.8	2.0	2.8	1.7	0.4
平成27年度	3.8	3.8	4.0	4.5	3.6	5.1	1.4	1.9
平成28年度	▲ 0.4	▲ 0.9	0.1	0.2	0.4	0.1	0.2	▲ 2.0
平成29年度	2.5	1.6	2.5	2.6	2.1	3.0	1.7	1.4

II 診療種類別の概算医療費

表3-1 医療費の推移

(単位：兆円)

	総計	計	診療費				調剤	訪問看護療養	(参考) 入院外+調剤
			医科			歯科			
			計	入院	入院外				
平成25年度	39.3	32.1	29.4	15.8	13.6	2.7	7.0	0.12	20.6
平成26年度	40.0	32.6	29.8	16.0	13.8	2.8	7.2	0.14	21.0
平成27年度 (構成割合)	(100%)	(80.6%)	(73.8%)	(39.5%)	(34.3%)	(6.8%)	(19.0%)	(0.4%)	(53.3%)
平成28年度① (構成割合)	(100%)	(81.4%)	(74.4%)	(40.1%)	(34.3%)	(7.0%)	(18.2%)	(0.5%)	(52.5%)
平成29年度② (構成割合)	(100%)	(81.2%)	(74.3%)	(40.2%)	(34.1%)	(6.9%)	(18.3%)	(0.5%)	(52.4%)
②-①	0.95	0.70	0.66	0.42	0.23	0.04	0.22	0.03	0.45

注1. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。
注2. 総計には、訪問看護療養の費用額を含む。

表3-2 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	総計	計	診療費				調剤	訪問看護療養	(参考) 入院外+調剤
			医科			歯科			
			計	入院	入院外				
平成25年度	2.2	1.4	1.4	1.3	1.7	0.8	5.9	14.3	3.1
平成26年度	1.8	1.6	1.5	1.7	1.3	2.9	2.3	16.9	1.6
平成27年度	3.8	2.5	2.6	1.9	3.3	1.4	9.4	17.3	5.4
平成28年度	▲ 0.4	0.5	0.4	1.1	▲ 0.4	1.5	▲ 4.8	17.3	▲ 2.0
平成29年度	2.3	2.1	2.1	2.6	1.6	1.4	2.9	16.4	2.1

表4-1 受診延日数の推移

(単位：億日)

	総計	計	診療費			調剤
			医科		歯科	
			入院	入院外		
平成25年度	25.8	25.7	4.7	16.8	4.1	7.9
平成26年度	25.7	25.6	4.7	16.7	4.2	8.1
平成27年度 (構成割合)	(100%)	(99.4%)	(18.1%)	(65.0%)	(16.3%)	
平成28年度① (構成割合)	(100%)	(99.3%)	(18.2%)	(64.8%)	(16.3%)	
平成29年度② (構成割合)	(100%)	(99.2%)	(18.3%)	(64.5%)	(16.3%)	
②-①	▲0.02	▲0.05	0.02	▲0.08	0.01	0.09

注1. 診療実日数を取りまとめている。調剤については、処方せん枚数を取りまとめている。
 注2. 総計には、訪問看護療養の実日数を含み、調剤の処方せん枚数を含めずに計上している。

表4-2 受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	総計	計	診療費			調剤
			医科		歯科	
			入院	入院外		
平成25年度	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 1.3	0.6	0.6
平成26年度	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.8	▲ 0.6	0.9	1.8
平成27年度	0.2	0.1	▲ 0.0	0.2	0.2	1.9
平成28年度	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 0.5	0.8
平成29年度	▲ 0.1	▲ 0.2	0.5	▲ 0.5	0.1	1.1

表5-1 1日当たり医療費の推移

(単位：千円)

	総計	計	診療費			調剤	訪問看護 療養	(参考) 入院外 +調剤
			医科		歯科			
			入院	入院外				
平成25年度	15.2	12.5	33.5	8.1	6.5	8.9	10.9	12.3
平成26年度	15.5	12.7	34.3	8.2	6.7	8.9	11.0	12.5
平成27年度	16.1	13.0	35.0	8.5	6.8	9.6	11.0	13.2
(総計=1)	(1.00)	(0.81)	(2.18)	(0.53)	(0.42)	(0.59)	(0.68)	(0.82)
平成28年度①	16.1	13.2	35.5	8.5	6.9	9.0	11.1	13.1
(総計=1)	(1.00)	(0.82)	(2.20)	(0.53)	(0.43)	(0.56)	(0.69)	(0.81)
平成29年度②	16.5	13.5	36.2	8.7	7.0	9.2	11.1	13.4
(総計=1)	(1.00)	(0.82)	(2.19)	(0.53)	(0.42)	(0.56)	(0.67)	(0.81)
②-①	0.4	0.3	0.7	0.2	0.1	0.2	0.0	0.3

注1. 1日当たり医療費とは、診療実日数当たりの医療費。

調剤では、処方せん1枚当たりの医療費。「(参考)入院外+調剤」では、入院外及び調剤の医療費を受診延日数で除して得た値を計上する。

注2. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

表5-2 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	総計	計	診療費			調剤	訪問看護 療養	(参考) 入院外 +調剤
			医科		歯科			
			入院	入院外				
平成25年度	3.1	2.3	2.0	3.0	0.3	5.4	0.8	4.4
平成26年度	2.1	2.0	2.5	1.9	1.9	0.5	0.7	2.2
平成27年度	3.6	2.3	2.0	3.2	1.2	7.3	0.5	5.2
平成28年度	0.3	1.3	1.3	0.7	2.0	▲ 5.5	0.6	▲ 0.9
平成29年度	2.4	2.3	2.0	2.1	1.3	1.8	0.4	2.6

(参考) 休日数等の影響を補正した医療費総額の伸び率

参考1 制度別の医療費の補正後の伸び率

(単位：%)

	総計	医療保険適用						公費	対前年同期差(日)			
		75歳未満			75歳以上				日曜日	土曜日	休日でない木曜日	閏日
		被用者保険	本人	家族	国民健康保険							
平成25年度	2.2	1.2	1.4	2.4	0.0	1.1	3.7	2.3	-1	+2	+1	0
平成26年度	1.9	1.7	2.8	3.5	1.8	0.5	2.4	1.8	+1	-1	0	0
平成27年度	3.6	3.1	4.6	6.1	3.0	1.7	4.5	3.3	0	+2	0	+1
平成28年度	▲0.4	▲1.3	1.4	2.9	0.1	▲4.1	1.3	▲0.8	0	-1	-4	-1
平成29年度	2.3	1.0	4.0	5.4	1.5	▲2.2	4.4	1.8	0	-1	+3	0

注. 「医療保険適用」「75歳未満」の「被用者保険」は、70歳未満の者及び高齢受給者に係るデータであり、「本人」及び「家族」は、高齢受給者を除く70歳未満の者に係るデータである。

医療費の伸び率(対前年同月比)に対する休日数等の対前年同月差の影響補正係数(平成22年度～)

日曜・祭日等	▲2.7	▲2.9	▲3.1	▲3.1	▲3.2	▲2.6	▲2.3	▲2.7
土曜日	▲1.0	▲0.7	▲0.4	▲0.2	▲0.6	▲1.1	▲1.2	▲1.0
休日でない木曜日	▲0.4	▲0.4	▲0.5	▲0.5	▲0.5	▲0.2	▲0.3	▲0.4

注1. 医療保険医療費の平成16～21年度各月の制度別1人当たり医療費の伸び率を、日曜・祭日等(年末については、12月29日～1月3日を日曜として扱っている)の数の対前年同月差、土曜日の対前年同月差、木曜日の対前年同月差、感染症サーベイランス調査の1定点当たりインフルエンザ報告数対前年同月差、花粉症の影響を表すデータとしては環境省花粉観測システムの観測地点・観測時別データを単純平均したものの対前年同月差を説明変数として回帰分析した結果を用いて補正したものである。

なお、総計及び公費については、医療保険計について回帰分析した結果を用いている。

注2. 閏日に係る影響補正係数は、当月が閏日の場合3.6%、前年同月が閏日の場合▲3.4%とした。

注3. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

参考2 診療種類別の医療費の補正後の伸び率(対前年度比)

(単位：%)

	総計	医科				調剤	対前年同期差(日)			
		入院		入院外	歯科		日曜・祭日等	土曜日	休日でない木曜日	閏日
		入院	入院外							
平成25年度	2.2	1.3	1.6	0.8	5.8	-1	+2	+1	0	
平成26年度	1.9	1.7	1.5	3.1	2.5	+1	-1	0	0	
平成27年度	3.6	1.8	3.2	1.2	9.3	0	+2	0	+1	
平成28年度	▲0.4	1.3	▲0.4	1.2	▲4.7	0	-1	-4	-1	
平成29年度	2.3	2.5	1.7	1.7	2.9	0	-1	+3	-1	

医療費の伸び率(対前年同月比)に対する休日数等1日当たりの影響補正係数(平成22年度～)

日曜・祭日等	▲2.7	▲1.2	▲3.5	▲3.5	▲4.2
土曜日	▲1.0	▲0.8	▲1.0	▲1.0	▲1.2
休日でない木曜日	▲0.4	▲0.2	▲0.6	▲1.3	▲0.2

注1. 医療保険医療費の平成16～21年度各月の制度別1人当たり医療費の伸び率を、日曜・祭日等(年末については、12月29日～1月3日を日曜として扱っている)の数の対前年同月差、土曜日の対前年同月差、木曜日の対前年同月差、感染症サーベイランス調査の1定点当たりインフルエンザ報告数対前年同月差、花粉症の影響を表すデータとしては環境省花粉観測システムの観測地点・観測時別データを単純平均したものの対前年同月差を説明変数として回帰分析した結果を用いて補正したものである。

なお、総計及び公費については、医療保険計について回帰分析した結果を用いている。

注2. 閏日に係る影響補正係数は、当月が閏日の場合3.6%、前年同月が閏日の場合▲3.4%とした。

注3. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

Ⅲ 医療機関種類別の概算医療費

(1) 入院・入院外計

表6-1 医療費の推移

(単位：兆円)

	総計	医科							歯科			保険薬局
		病院	診療所				病院	診療所				
			大学	公的	法人	個人						
平成25年度	39.3	29.4	21.0	2.59	7.61	10.52	0.23	8.4	2.72	0.14	2.58	7.04
平成26年度	40.0	29.8	21.3	2.65	7.72	10.74	0.22	8.5	2.80	0.15	2.65	7.20
平成27年度 (構成割合)	41.5 (100%)	30.6 (73.8%)	22.0 (53.0%)	2.76 (6.6%)	7.98 (19.2%)	11.02 (26.6%)	0.21 (0.5%)	8.6 (20.8%)	2.83 (6.8%)	0.15 (0.4%)	2.68 (6.5%)	7.87 (19.0%)
平成28年度① (構成割合)	41.3 (100%)	30.7 (74.4%)	22.2 (53.7%)	2.83 (6.8%)	8.03 (19.5%)	11.12 (26.9%)	0.18 (0.4%)	8.6 (20.7%)	2.87 (7.0%)	0.15 (0.4%)	2.72 (6.6%)	7.50 (18.2%)
平成29年度② (構成割合)	42.2 (100%)	31.4 (74.3%)	22.7 (53.8%)	2.91 (6.9%)	8.25 (19.5%)	11.40 (27.0%)	0.16 (0.4%)	8.7 (20.5%)	2.92 (6.9%)	0.16 (0.4%)	2.76 (6.5%)	7.71 (18.3%)
②-①	0.95	0.66	0.56	0.09	0.22	0.28	▲0.02	0.10	0.04	0.00	0.04	0.22

注1. 医科病院は、経営主体別に分類している。
 注2. 「大学病院」には、病院のうち、医育機関である医療機関を分類している。
 注3. 「公的病院」には、病院のうち、国（独立行政法人を含む）の開設する医療機関、公的医療機関（都道府県、市町村等）及び社会保険関係団体（全国社会保険協会連合会等）の開設する医療機関を分類している。但し、医育機関を除く。
 注4. 医療費には、入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。

表6-2 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	総計	医科							歯科			保険薬局
		病院	診療所				病院	診療所				
			大学	公的	法人	個人						
平成25年度	2.2	1.4	1.7	3.5	0.7	2.2	▲6.4	0.7	0.8	3.0	0.7	5.9
平成26年度	1.8	1.5	1.8	2.2	1.5	2.1	▲6.0	0.8	2.9	4.0	2.8	2.3
平成27年度	3.8	2.6	2.9	4.2	3.3	2.6	▲6.9	1.7	1.4	2.0	1.3	9.4
平成28年度	▲0.4	0.4	0.9	2.6	0.7	0.9	▲11.0	▲0.9	1.5	3.4	1.4	▲4.8
平成29年度	2.3	2.1	2.5	3.0	2.8	2.5	▲13.0	1.1	1.4	2.7	1.3	2.9

表7-1 主たる診療科別 医科診療所 医療費の推移

(単位：億円)

	医科診療所									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	84,236	40,949	3,372	4,642	8,747	3,102	2,466	6,929	3,967	10,061
平成26年度	84,873	40,701	3,408	4,571	9,001	3,157	2,475	7,199	4,150	10,211
平成27年度 (構成割合)	86,314 (100%)	41,355 (47.9%)	3,495 (4.0%)	4,519 (5.2%)	9,143 (10.6%)	3,236 (3.7%)	2,485 (2.9%)	7,444 (8.6%)	4,222 (4.9%)	10,415 (12.1%)
平成28年度① (構成割合)	85,581 (100%)	40,934 (47.8%)	3,469 (4.1%)	4,340 (5.1%)	9,185 (10.7%)	3,259 (3.8%)	2,454 (2.9%)	7,453 (8.7%)	4,177 (4.9%)	10,309 (12.0%)
平成29年度② (構成割合)	86,531 (100%)	41,284 (47.7%)	3,474 (4.0%)	4,176 (4.8%)	9,448 (10.9%)	3,299 (3.8%)	2,449 (2.8%)	7,679 (8.9%)	4,258 (4.9%)	10,462 (12.1%)
②-①	950	350	5	▲164	264	40	▲5	226	81	153

注. 医科診療所ごとの主たる診療科別に医科診療所を分類して、医療費を集計している。

表7-2 主たる診療科別 医科診療所 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医科診療所									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	0.7	1.0	▲1.3	▲2.2	1.8	0.8	▲0.7	2.5	▲2.3	1.2
平成26年度	0.8	▲0.6	1.1	▲1.5	2.9	1.8	0.4	3.9	4.6	1.5
平成27年度	1.7	1.6	2.6	▲1.1	1.6	2.5	0.4	3.4	1.7	2.0
平成28年度	▲0.9	▲1.0	▲0.7	▲3.9	0.5	0.7	▲1.2	0.1	▲1.1	▲1.0
平成29年度	1.1	0.9	0.1	▲3.8	2.9	1.2	▲0.2	3.0	2.0	1.5

表8-1 受診延日数の推移

	総計	医科							歯科			保険薬局
		病院	診療所				病院	診療所				
			大学	公的	法人	個人						
平成25年度 (構成割合)	25.8 (100%)	21.5 (83.5%)	8.8 (34.1%)	0.69 (2.7%)	2.63 (10.2%)	5.32 (20.6%)	0.15 (0.6%)	12.7 (49.4%)	4.15 (16.1%)	0.17 (0.6%)	3.98 (15.4%)	7.94
平成26年度 (構成割合)	25.7 (100%)	21.4 (83.2%)	8.7 (33.9%)	0.69 (2.7%)	2.60 (10.1%)	5.29 (20.6%)	0.14 (0.6%)	12.7 (49.3%)	4.19 (16.3%)	0.17 (0.7%)	4.02 (15.6%)	8.08
平成27年度 (構成割合)	25.8 (100%)	21.4 (83.2%)	8.7 (33.8%)	0.69 (2.7%)	2.59 (10.0%)	5.31 (20.6%)	0.13 (0.5%)	12.7 (49.4%)	4.19 (16.3%)	0.17 (0.7%)	4.02 (15.6%)	8.24
平成28年度① (構成割合)	25.6 (100%)	21.3 (83.0%)	8.6 (33.7%)	0.68 (2.7%)	2.54 (9.9%)	5.29 (20.7%)	0.12 (0.5%)	12.6 (49.3%)	4.17 (16.3%)	0.17 (0.7%)	4.00 (15.6%)	8.30
平成29年度② (構成割合)	25.6 (100%)	21.2 (82.9%)	8.6 (33.7%)	0.68 (2.6%)	2.54 (9.9%)	5.30 (20.7%)	0.10 (0.4%)	12.6 (49.2%)	4.18 (16.3%)	0.17 (0.7%)	4.01 (15.7%)	8.39
②-①	▲0.02	▲0.05	▲0.01	▲0.00	▲0.00	0.01	▲0.02	▲0.04	0.01	0.00	0.00	0.09

注1. 診療実日数を取りまとめている。保険薬局については、処方せん枚数を取りまとめている。
注2. 総計には、訪問看護ステーションの実日数を含み、保険薬局の処方せん枚数を含めずに計上している。

表8-2 受診延日数の伸び率（対前年度比）

	総計	医科							歯科			保険薬局
		病院	診療所				病院	診療所				
			大学	公的	法人	個人						
平成25年度	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 0.7	0.4	▲ 1.8	▲ 0.0	▲ 8.4	▲ 1.5	0.6	2.5	0.5	0.6
平成26年度	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 1.2	▲ 1.3	▲ 0.5	▲ 8.5	▲ 0.4	0.9	1.4	0.9	1.8
平成27年度	0.2	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.4	0.3	▲ 8.2	0.3	0.2	1.1	0.1	1.9
平成28年度	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 1.6	▲ 0.3	▲ 9.5	▲ 0.8	▲ 0.5	0.2	▲ 0.6	0.8
平成29年度	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.1	0.1	▲13.4	▲ 0.3	0.1	1.0	0.1	1.1

表9-1 主たる診療科別 医科診療所 受診延日数の推移

(単位：万日)

	医科診療所	診療科								
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	127,456	49,432	6,455	7,010	21,615	7,963	3,463	10,190	9,574	11,755
平成26年度	126,952	48,762	6,445	6,762	21,729	8,013	3,448	10,118	9,776	11,897
平成27年度 (構成割合)	127,279 (100%)	48,746 (38.3%)	6,615 (5.2%)	6,518 (5.1%)	21,651 (17.0%)	8,207 (6.4%)	3,439 (2.7%)	10,230 (8.0%)	9,799 (7.7%)	12,075 (9.5%)
平成28年度① (構成割合)	126,205 (100%)	48,319 (38.3%)	6,554 (5.2%)	6,201 (4.9%)	21,629 (17.1%)	8,321 (6.6%)	3,379 (2.7%)	10,124 (8.0%)	9,603 (7.6%)	12,074 (9.6%)
平成29年度② (構成割合)	125,791 (100%)	48,031 (38.2%)	6,466 (5.1%)	5,837 (4.6%)	21,750 (17.3%)	8,437 (6.7%)	3,350 (2.7%)	10,189 (8.1%)	9,595 (7.6%)	12,136 (9.6%)
②-①	▲414	▲288	▲88	▲364	121	116	▲29	65	▲8	62

表9-2 主たる診療科別 医科診療所 受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医科診療所	診療科								
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	▲ 1.5	▲ 1.7	▲ 2.7	▲ 4.7	▲ 0.5	0.7	▲ 1.5	▲ 0.6	▲ 3.9	0.6
平成26年度	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 0.1	▲ 3.5	0.5	0.6	▲ 0.4	▲ 0.7	2.1	1.2
平成27年度	0.3	▲ 0.0	2.6	▲ 3.6	▲ 0.4	2.4	▲ 0.3	1.1	0.2	1.5
平成28年度	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 4.9	▲ 0.1	1.4	▲ 1.7	▲ 1.0	▲ 2.0	▲ 0.0
平成29年度	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 1.3	▲ 5.9	0.6	1.4	▲ 0.9	0.6	▲ 0.1	0.5

表10-1 1施設当たり医療費の推移

(単位：万円)

	医 科					診療所	歯 科		保険薬局
	病 院	大 学					病 院	診 療 所	
		大 学	公 的	法 人	個 人				
平成25年度	245,589	1,625,739	489,256	161,805	74,079	9,952	8,259	3,825	13,002
平成26年度	250,700	1,657,275	497,271	165,159	75,473	10,024	8,463	3,927	13,027
平成27年度	259,355	1,732,978	517,788	169,500	77,146	10,188	8,547	3,980	14,051
平成28年度①	262,273	1,767,467	525,198	170,516	76,476	10,074	8,765	4,028	13,207
平成29年度②	269,691	1,812,859	540,389	174,689	74,641	10,160	8,992	4,086	13,479
②-①	7,418	45,392	15,191	4,173	▲ 1,835	85	227	57	271

表10-2 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医 科					診療所	歯 科		保険薬局
	病 院	大 学					病 院	診 療 所	
		大 学	公 的	法 人	個 人				
平成25年度	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	0.5	1.6	0.5	3.3
平成26年度	2.1	1.9	1.6	2.1	1.9	0.7	2.5	2.7	0.2
平成27年度	3.5	4.6	4.1	2.6	2.2	1.6	1.0	1.4	7.9
平成28年度	1.1	2.0	1.4	0.6	▲ 0.9	▲ 1.1	2.5	1.2	▲ 6.0
平成29年度	2.8	2.6	2.9	2.4	▲ 2.4	0.8	2.6	1.4	2.1

表11-1 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の推移

(単位：万円)

	医科診療所	診療科								
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	9,952	10,301	6,722	10,264	12,613	7,346	6,792	10,348	7,891	11,384
平成26年度	10,024	10,263	6,776	10,339	12,914	7,434	6,957	10,709	8,226	11,325
平成27年度	10,188	10,425	6,950	10,524	13,036	7,576	7,100	11,031	8,401	11,361
平成28年度①	10,074	10,304	6,872	10,446	12,951	7,553	7,077	10,942	8,312	11,078
平成29年度②	10,160	10,373	6,863	10,451	13,179	7,536	7,125	11,186	8,472	11,086
②-①	85	69	▲ 9	5	228	▲ 17	48	244	160	8

表11-2 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医科診療所	診療科								
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	0.5	0.9	▲ 1.7	0.3	1.2	▲ 0.5	1.0	1.8	▲ 2.5	▲ 0.7
平成26年度	0.7	▲ 0.4	0.8	0.7	2.4	1.2	2.4	3.5	4.2	▲ 0.5
平成27年度	1.6	1.6	2.6	1.8	0.9	1.9	2.1	3.0	2.1	0.3
平成28年度	▲ 1.1	▲ 1.2	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 2.5
平成29年度	0.8	0.7	▲ 0.1	0.0	1.8	▲ 0.2	0.7	2.2	1.9	0.1

表12-1 1施設当たり受診延日数の推移

(単位：万日)

	医 科					診療所	歯 科		保険薬局
	病 院						病 院	診療所	
	大 学	公 的	法 人	個 人					
平成25年度	10.3	43.6	16.9	8.2	4.9	1.51	0.98	0.59	1.47
平成26年度	10.2	43.0	16.7	8.1	4.9	1.50	0.98	0.60	1.46
平成27年度	10.3	43.1	16.8	8.2	4.9	1.50	0.98	0.60	1.47
平成28年度①	10.2	42.5	16.6	8.1	4.9	1.49	0.97	0.59	1.46
平成29年度②	10.2	42.1	16.6	8.1	4.8	1.48	0.98	0.59	1.47
②-①	0.0	▲ 0.4	0.0	0.0	▲ 0.1	▲ 0.01	0.01	0.00	0.00

表12-2 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医 科					診療所	歯 科		保険薬局
	病 院						病 院	診療所	
	大 学	公 的	法 人	個 人					
平成25年度	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 0.2	▲ 1.2	▲ 1.7	1.1	0.3	▲ 1.9
平成26年度	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 1.1	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.0	0.8	▲ 0.3
平成27年度	0.4	0.3	0.4	0.4	0.8	0.2	0.1	0.2	0.5
平成28年度	▲ 0.7	▲ 1.2	▲ 0.9	▲ 0.7	0.7	▲ 1.1	▲ 0.6	▲ 0.7	▲ 0.5
平成29年度	0.1	▲ 1.0	0.1	0.1	▲ 2.8	▲ 0.6	0.9	0.2	0.2

表13-1 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の推移

(単位：日)

	医科診療所									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	15,058	12,435	12,867	15,499	31,167	18,855	9,536	15,219	19,043	13,300
平成26年度	14,994	12,296	12,813	15,296	31,175	18,869	9,692	15,052	19,378	13,196
平成27年度	15,024	12,288	13,153	15,180	30,869	19,210	9,827	15,158	19,498	13,172
平成28年度①	14,857	12,163	12,982	14,924	30,499	19,282	9,745	14,863	19,111	12,975
平成29年度②	14,769	12,068	12,775	14,606	30,339	19,268	9,746	14,842	19,090	12,860
②-①	▲ 88	▲ 95	▲ 208	▲ 318	▲ 160	▲ 14	1	▲ 21	▲ 21	▲ 115

表13-2 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医科診療所									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 3.1	▲ 2.3	▲ 1.0	▲ 0.5	0.2	▲ 1.3	▲ 4.1	▲ 1.3
平成26年度	▲ 0.4	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 1.3	0.0	0.1	1.6	▲ 1.1	1.8	▲ 0.8
平成27年度	0.2	▲ 0.1	2.6	▲ 0.8	▲ 1.0	1.8	1.4	0.7	0.6	▲ 0.2
平成28年度	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 1.7	▲ 1.2	0.4	▲ 0.8	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 1.5
平成29年度	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 1.6	▲ 2.1	▲ 0.5	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.9

(2) 入院

表14-1 入院 医療費の推移

(単位：兆円)

	医 科	病 院							診療所	歯 科
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上			
								平成25年度		
平成26年度	16.0	15.7	1.8	5.5	8.2	0.2	4.6	11.1	0.35	0.053
平成27年度	16.4	16.0	1.9	5.6	8.4	0.1	4.6	11.4	0.34	0.053
平成28年度①	16.5	16.2	1.9	5.7	8.5	0.1	4.7	11.5	0.33	0.056
平成29年度②	17.0	16.6	2.0	5.8	8.7	0.1	4.8	11.8	0.33	0.058
②-①	0.42	0.43	0.05	0.16	0.24	▲0.02	0.14	0.28	▲0.01	0.002

注. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

表14-2 入院 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医 科	病 院							診療所	歯 科
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上			
								平成25年度		
平成26年度	1.7	1.8	1.5	1.2	2.3	▲5.2	2.4	1.6	▲0.9	3.6
平成27年度	1.9	2.1	2.4	1.9	2.3	▲7.9	1.8	2.3	▲2.7	1.6
平成28年度	1.1	1.2	2.2	1.0	1.4	▲10.9	0.6	1.5	▲2.6	5.5
平成29年度	2.6	2.7	2.5	2.8	2.9	▲14.5	3.1	2.5	▲2.0	3.0

表15-1 入院 受診延日数の推移

(単位：億日)

	医 科	病 院							診療所	歯 科
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上			
								平成25年度		
平成26年度	4.7	4.5	0.28	1.16	2.99	0.08	1.67	2.84	0.17	0.010
平成27年度	4.7	4.5	0.28	1.16	3.01	0.07	1.68	2.84	0.16	0.010
平成28年度①	4.7	4.5	0.28	1.15	3.02	0.07	1.68	2.83	0.15	0.011
平成29年度②	4.7	4.5	0.28	1.16	3.05	0.06	1.70	2.84	0.15	0.011
②-①	0.02	0.03	0.00	0.01	0.03	▲0.01	0.02	0.01	▲0.01	0.000

表15-2 入院 受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医 科	病 院							診療所	歯 科
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上			
								平成25年度		
平成26年度	▲0.8	▲0.6	▲0.3	▲1.1	▲0.3	▲6.8	▲0.4	▲0.7	▲5.2	0.3
平成27年度	▲0.0	0.2	0.3	▲0.3	0.6	▲9.2	0.5	0.0	▲5.3	0.2
平成28年度	▲0.2	▲0.0	▲0.0	▲0.5	0.4	▲9.0	0.1	▲0.1	▲4.8	1.8
平成29年度	0.5	0.7	0.2	0.7	1.1	▲15.4	1.5	0.2	▲4.5	1.4

表16-1 入院 1日当たり医療費の推移

(単位：円)

	医 科	病 院							診療所	歯 科
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上			
								平成25年度		
平成26年度	34,312	34,812	66,341	47,372	27,399	20,536	27,292	39,225	20,932	50,543
平成27年度	34,985	35,462	67,756	48,416	27,851	20,827	27,639	40,092	21,490	51,268
平成28年度①	35,456	35,909	69,274	49,120	28,139	20,398	27,782	40,720	21,992	53,105
平成29年度②	36,169	36,603	70,928	50,109	28,635	20,611	28,221	41,626	22,562	53,921
②-①	713	695	1,653	989	495	212	440	907	570	816

注. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

表16-2 入院 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医 科	病 院							診療所	歯 科
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上			
								平成25年度		
平成26年度	2.5	2.4	1.8	2.3	2.6	1.7	2.7	2.3	4.6	3.3
平成27年度	2.0	1.9	2.1	2.2	1.6	1.4	1.3	2.2	2.7	1.4
平成28年度	1.3	1.3	2.2	1.5	1.0	▲2.1	0.5	1.6	2.3	3.6
平成29年度	2.0	1.9	2.4	2.0	1.8	1.0	1.6	2.2	2.6	1.5

表17-1 入院 1施設当たり医療費の推移

(単位：万円)

	医科病院						
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上
平成25年度	180,722	1,136,370	348,901	123,220	54,078	75,961	411,301
平成26年度	184,397	1,151,099	353,802	125,996	55,603	77,981	418,306
平成27年度	189,136	1,183,085	363,549	128,915	56,220	79,800	429,170
平成28年度①	191,803	1,202,278	369,801	130,268	55,789	80,493	435,190
平成29年度②	197,462	1,227,163	380,534	133,948	53,537	83,063	449,107
②-①	5,659	24,885	10,734	3,680	▲ 2,252	2,570	13,916

表17-2 入院 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医科病院						
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上
平成25年度	1.6	1.0	1.1	1.8	2.2	1.6	1.4
平成26年度	2.0	1.3	1.4	2.3	2.8	2.7	1.7
平成27年度	2.6	2.8	2.8	2.3	1.1	2.3	2.6
平成28年度	1.4	1.6	1.7	1.0	▲ 0.8	0.9	1.4
平成29年度	3.0	2.1	2.9	2.8	▲ 4.0	3.2	3.2

表18-1 入院 1施設当たり受診延日数の推移

(単位：万日)

	医科病院						
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上
平成25年度	5.32	17.44	7.54	4.62	2.68	2.86	10.73
平成26年度	5.30	17.35	7.47	4.60	2.71	2.86	10.66
平成27年度	5.33	17.46	7.51	4.63	2.70	2.89	10.70
平成28年度①	5.34	17.36	7.53	4.63	2.73	2.90	10.69
平成29年度②	5.39	17.30	7.59	4.68	2.60	2.94	10.79
②-①	0.05	▲0.05	0.07	0.05	▲0.14	0.05	0.10

表18-2 入院 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医科病院						
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上
平成25年度	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 1.2	▲ 0.1	0.5	0.2	▲ 0.8
平成26年度	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 0.4	1.1	▲ 0.1	▲ 0.6
平成27年度	0.7	0.6	0.5	0.7	▲ 0.3	1.0	0.4
平成28年度	0.1	▲ 0.6	0.3	0.0	1.3	0.4	▲ 0.2
平成29年度	1.0	▲ 0.3	0.9	1.0	▲ 5.0	1.6	0.9

Ⅲ-(2) 【参考】 推計新規入院件数、推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費～入院医療費の3要素分解～

入院受診延日数は次の1. で示すように推計新規入院件数（前月以前に退院した者が当月再入院した場合を含む）と推計平均在院日数（次の2. の関係を用いて入院の1件当たり日数から算定した平均在院日数）の積に分解できる。

したがって、次の3. で示すように入院医療費は「推計新規入院件数」（入院発生）、「推計平均在院日数」（入院期間）及び「入院の1日当たり医療費」（入院単価）の3要素の積に分解でき、さらに、推計新規入院件数と推計1入院当たり医療費（推計平均在院日数に入院の1日当たり医療費を乗じて得た1入院当たり医療費）の積に分解できる。

1. 入院受診延日数と推計新規入院件数、推計平均在院日数の関係

入院受診延日数＝推計新規入院件数×推計平均在院日数

推計新規入院件数＝入院受診延日数÷推計平均在院日数

2. 1件当たり日数と推計平均在院日数の関係

$$\text{推計平均在院日数} = \text{1件当たり日数} \times \frac{\text{月の日数} - 1}{\text{月の日数} - \text{1件当たり日数}}$$
$$\text{1件当たり日数} = \text{推計平均在院日数} \times \frac{\text{月の日数}}{\text{月の日数} - 1 + \text{推計平均在院日数}}$$

月の日数＝当該期間の日数÷当該期間の月数

3. 入院医療費の3要素分解と推計1入院当たり医療費の関係

推計1入院当たり医療費＝推計平均在院日数×入院の1日当たり医療費

入院医療費＝入院受診延日数×入院の1日当たり医療費

＝推計新規入院件数×推計平均在院日数×入院の1日当たり医療費

＝推計新規入院件数×推計1入院当たり医療費

4. 推計平均在院日数に関する留意事項

(1) 概算医療費の推計平均在院日数と病院報告の平均在院日数もしくは患者調査の退院患者平均在院日数には次に示すような違いがあるため数値が異なることがある。

① 入院患者の範囲の違い

病院報告及び患者調査の対象となる患者には医療保険適用及び公費負担医療の患者以外に、概算医療費には含まれないその他（正常な分娩や検査入院、自賠責保険、労災、自費診療など）の患者が含まれる。一方、概算医療費には病院報告には含まれない診療所分が含まれる。

② 算定方法の違い

概算医療費の推計平均在院日数は入院の1件当たり日数から算定する。病院報告の平均在院日数は在院患者延数と新入院患者数、退院患者数から算定する。患者調査の退院患者平均在院日数は退院患者が実際に入院した期間の平均である。

③ 退院日が含まれるかどうかの違い

概算医療費の入院受診延日数には退院日も含まれるが、病院報告の在院患者延数には退院日の患者は含まれず、患者調査の入院期間にも退院日は含まれない。

④ 当月中に退院・再入院した患者の入院日数を通算するかどうかの違い

当月中に退院・再入院した患者について、退院までの入院日数と再入院以後の入院日数は、概算医療費の推計平均在院日数では1回の入院の入院日数として扱い、通算する。病院報告の平均在院日数と患者調査の退院患者平均在院日数では別々の入院の入院日数として扱い、通算しない。

(2) 入院期間中に外泊した場合、外泊期間の日数は入院受診延日数に含まれ、外泊期間中の患者の延数も同様に病院報告の在院患者延数に含まれる。

(3) 概算医療費の推計平均在院日数では、入院期間中に加入する医療保険制度を変更した場合、変更前後で別のレセプトに計上されるため、連続した入院として扱われないこととなる。

※参考 「推計平均在院日数の数理分析（平成24年9月）」
「推計平均在院日数の数理分析（Ⅱ）（平成25年1月）」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/database/zenpan/sankou.html>

Ⅲ-(2) 【参考】

①-i. 推計新規入院件数

(単位：万件)

	医科病院							医科 診療所
	大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		
平成25年度	1,359.2	161.5	587.6	598.5	11.5	374.3	982.5	123.4
平成26年度	1,381.6	164.6	596.9	609.5	10.5	379.4	1000.6	121.6
平成27年度	1,415.0	169.2	611.0	624.8	9.9	384.6	1030.0	119.4
平成28年度	1,434.1	173.6	616.0	635.5	9.0	386.3	1047.3	116.0
平成29年度	1,455.8	177.7	625.7	644.5	7.9	390.1	1065.2	113.0

注. 推計新規入院件数は入院受診延日数を推計平均在院日数で除して得た値である。

①-ii. 推計新規入院件数の伸び率（対前年同期比）

(単位：%)

	医科病院							医科 診療所
	大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		
平成25年度	0.9	2.8	▲ 0.3	1.7	▲ 8.1	0.2	1.0	▲ 2.1
平成26年度	1.6	2.0	1.6	1.8	▲ 8.8	1.4	1.8	▲ 1.5
平成27年度	2.4	2.8	2.4	2.5	▲ 5.6	1.4	2.9	▲ 1.7
平成28年度	1.3	2.6	0.8	1.7	▲ 9.4	0.5	1.7	▲ 2.9
平成29年度	1.5	2.3	1.6	1.4	▲ 12.5	1.0	1.7	▲ 2.6

②-i. 1施設当たり推計新規入院件数

(単位：件)

	医科病院						
	大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上	
平成25年度	1,593	10,133	3,777	921	364	639	3,691
平成26年度	1,623	10,309	3,843	937	360	649	3,764
平成27年度	1,671	10,637	3,966	961	373	662	3,887
平成28年度	1,697	10,852	4,028	974	376	666	3,949
平成29年度	1,728	11,054	4,097	988	369	674	4,045

注. 1施設当たり推計新規入院件数は推計新規入院件数を審査支払機関に審査支払請求を行った施設数で除して得た値である。

②-ii. 1施設当たり推計新規入院件数の伸び率（対前年同期比）

(単位：%)

	医科病院						
	大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上	
平成25年度	1.1	1.4	0.5	1.5	▲ 0.9	0.5	1.1
平成26年度	1.9	1.7	1.7	1.8	▲ 1.1	1.7	2.0
平成27年度	2.9	3.2	3.2	2.6	3.7	1.9	3.3
平成28年度	1.5	2.0	1.6	1.4	0.9	0.8	1.6
平成29年度	1.8	1.9	1.7	1.4	▲ 1.8	1.1	2.4

Ⅲ-(2) 【参考】

③-i. 推計平均在院日数

(単位：日)

	医科病院							医科 診療所
	大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		
平成25年度	33.4	17.2	20.0	50.1	73.7	44.8	29.1	14.4
平成26年度	32.6	16.8	19.4	49.1	75.3	44.0	28.3	13.9
平成27年度	31.9	16.4	18.9	48.2	72.4	43.6	27.5	13.4
平成28年度	31.5	16.0	18.7	47.5	72.7	43.5	27.1	13.1
平成29年度	31.2	15.7	18.5	47.4	70.3	43.7	26.7	12.8

注. 推計平均在院日数は入院の1件当たり日数から推計した値である。

③-ii. 推計平均在院日数の伸び率（対前年同期比）

(単位：%)

	医科病院							医科 診療所
	大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		
平成25年度	▲ 1.4	▲ 2.2	▲ 1.7	▲ 1.5	1.4	▲ 0.3	▲ 1.8	▲ 3.5
平成26年度	▲ 2.2	▲ 2.2	▲ 2.6	▲ 2.1	2.2	▲ 1.7	▲ 2.5	▲ 3.8
平成27年度	▲ 2.2	▲ 2.5	▲ 2.6	▲ 1.9	▲ 3.8	▲ 0.8	▲ 2.8	▲ 3.6
平成28年度	▲ 1.4	▲ 2.6	▲ 1.3	▲ 1.3	0.5	▲ 0.4	▲ 1.7	▲ 2.0
平成29年度	▲ 0.8	▲ 2.1	▲ 0.8	▲ 0.3	▲ 3.3	0.5	▲ 1.5	▲ 1.9

④-i. 推計1入院当たり医療費

(単位：万円)

	医科病院							医科 診療所
	大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		
平成25年度	113.5	112.1	92.4	133.9	148.7	118.9	111.4	28.8
平成26年度	113.6	111.7	92.1	134.5	154.6	120.1	111.1	29.0
平成27年度	113.2	111.2	91.7	134.1	150.8	120.6	110.4	28.7
平成28年度	113.0	110.8	91.8	133.7	148.4	120.8	110.2	28.8
平成29年度	114.3	111.0	92.9	135.6	145.0	123.3	111.0	29.0

注1. 医療費には入院時食事療養及び入院時生活療養の費用額が含まれる。

注2. 推計1入院当たり医療費は推計平均在院日数に入院の1日当たり医療費を乗じて得た値である。

④-ii. 推計1入院当たり医療費の伸び率（対前年同期比）

(単位：%)

	医科病院							医科 診療所
	大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		
平成25年度	0.5	▲ 0.3	0.6	0.3	3.1	1.1	0.3	▲ 1.8
平成26年度	0.1	▲ 0.4	▲ 0.3	0.5	4.0	1.0	▲ 0.3	0.6
平成27年度	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 2.5	0.4	▲ 0.7	▲ 1.0
平成28年度	▲ 0.1	▲ 0.4	0.1	▲ 0.3	▲ 1.6	0.1	▲ 0.2	0.3
平成29年度	1.1	0.2	1.2	1.4	▲ 2.3	2.1	0.7	0.6

(3) 入院外

表19-1 入院外 医療費の推移

(単位：兆円)

	医 科								歯 科			保険薬局	
	病 院	病 院						診 療 所	病 院	診 療 所			
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上						
平成25年度	13.6	5.5	0.78	2.18	2.51	0.06	1.8	3.8	8.1	2.67	0.09	2.58	7.04
平成26年度	13.8	5.6	0.81	2.23	2.55	0.06	1.8	3.9	8.1	2.74	0.09	2.65	7.20
平成27年度	14.2	5.9	0.87	2.38	2.64	0.06	1.8	4.1	8.3	2.78	0.10	2.68	7.87
平成28年度①	14.2	6.0	0.90	2.38	2.63	0.05	1.8	4.2	8.2	2.82	0.10	2.72	7.50
平成29年度②	14.4	6.1	0.94	2.44	2.66	0.04	1.8	4.3	8.3	2.86	0.10	2.76	7.71
②-①	0.23	0.13	0.04	0.06	0.03	▲0.00	0.01	0.12	0.10	0.04	0.00	0.04	0.22

表19-2 入院外 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医 科								歯 科			保険薬局	
	病 院	病 院						診 療 所	病 院	診 療 所			
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上						
平成25年度	1.7	2.7	6.0	1.7	2.9	▲9.3	1.4	3.2	0.9	0.8	3.2	0.7	5.9
平成26年度	1.3	1.9	3.7	2.1	1.6	▲8.4	0.7	2.6	0.8	2.8	4.2	2.8	2.3
平成27年度	3.3	5.4	8.2	6.6	3.6	▲4.1	2.4	6.8	1.9	1.3	2.2	1.3	9.4
平成28年度	▲0.4	0.2	3.4	0.0	▲0.5	▲11.2	▲2.0	1.1	▲0.8	1.4	2.2	1.4	▲4.8
平成29年度	1.6	2.2	4.1	2.7	1.3	▲9.1	0.5	2.9	1.2	1.4	2.5	1.3	2.9

表20-1 主たる診療科別 医科診療所 入院外 医療費の推移

(単位：億円)

	医科 診療所	医 科									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻 咽喉科	その他	
平成25年度	80,678	39,937	3,358	4,214	8,146	3,098	1,874	6,604	3,922	9,525	
平成26年度	81,346	39,691	3,395	4,143	8,377	3,154	1,892	6,873	4,105	9,717	
平成27年度	82,885	40,376	3,483	4,117	8,515	3,234	1,903	7,124	4,178	9,955	
(構成割合)	(100%)	(48.7%)	(4.2%)	(5.0%)	(10.3%)	(3.9%)	(2.3%)	(8.6%)	(5.0%)	(12.0%)	
平成28年度①	82,240	39,988	3,456	3,952	8,558	3,257	1,879	7,151	4,129	9,870	
(構成割合)	(100%)	(48.6%)	(4.2%)	(4.8%)	(10.4%)	(4.0%)	(2.3%)	(8.7%)	(5.0%)	(12.0%)	
平成29年度②	83,257	40,362	3,464	3,814	8,818	3,297	1,886	7,380	4,209	10,027	
(構成割合)	(100%)	(48.5%)	(4.2%)	(4.6%)	(10.6%)	(4.0%)	(2.3%)	(8.9%)	(5.1%)	(12.0%)	
②-①	1,017	374	8	▲138	259	41	7	229	80	157	

表20-2 主たる診療科別 医科診療所 入院外 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医科 診療所	医 科									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻 咽喉科	その他	
平成25年度	0.9	1.1	▲1.3	▲2.0	2.1	0.8	▲0.6	2.6	▲2.3	1.8	
平成26年度	0.8	▲0.6	1.1	▲1.7	2.8	1.8	0.9	4.1	4.7	2.0	
平成27年度	1.9	1.7	2.6	▲0.6	1.6	2.5	0.6	3.7	1.8	2.5	
平成28年度	▲0.8	▲1.0	▲0.8	▲4.0	0.5	0.7	▲1.3	0.4	▲1.2	▲0.9	
平成29年度	1.2	0.9	0.2	▲3.5	3.0	1.3	0.4	3.2	1.9	1.6	

表21-1 入院外 受診延日数の推移

(単位：億日)

	医 科								歯 科			保険薬局	
	病 院	診 療 所						病 院	診 療 所				
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上						
平成25年度	16.8	4.3	0.42	1.46	2.32	0.07	1.79	2.46	12.6	4.14	0.16	3.98	7.94
平成26年度	16.7	4.2	0.41	1.44	2.30	0.06	1.77	2.44	12.5	4.18	0.16	4.02	8.08
平成27年度	16.8	4.2	0.41	1.43	2.30	0.06	1.75	2.44	12.6	4.18	0.16	4.02	8.24
平成28年度①	16.6	4.1	0.40	1.39	2.27	0.05	1.72	2.40	12.5	4.16	0.16	4.00	8.30
平成29年度②	16.5	4.1	0.40	1.38	2.25	0.05	1.69	2.38	12.4	4.17	0.16	4.01	8.39
②-①	▲0.08	▲0.05	▲0.00	▲0.01	▲0.03	▲0.01	▲0.02	▲0.02	▲0.03	0.01	0.00	0.00	0.09

表21-2 入院外 受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医 科								歯 科			保険薬局	
	病 院	診 療 所						病 院	診 療 所				
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上						
平成25年度	▲ 1.3	▲ 0.9	0.3	▲ 1.8	▲ 0.2	▲10.3	▲ 1.6	▲ 0.5	▲ 1.4	0.6	2.7	0.5	0.6
平成26年度	▲ 0.6	▲ 1.3	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 0.8	▲10.5	▲ 1.4	▲ 1.1	▲ 0.3	0.9	1.5	0.9	1.8
平成27年度	0.2	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 6.9	▲ 0.8	0.0	0.3	0.2	1.1	0.1	1.9
平成28年度	▲ 1.0	▲ 1.8	▲ 1.1	▲ 2.5	▲ 1.2	▲10.1	▲ 2.1	▲ 1.5	▲ 0.8	▲ 0.5	0.1	▲ 0.6	0.8
平成29年度	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 1.1	▲10.9	▲ 1.4	▲ 0.9	▲ 0.3	0.1	1.0	0.1	1.1

表22-1 主たる診療科別 医科診療所 入院外 受診延日数の推移

(単位：万日)

	医科診療所	診療科									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	
平成25年度	125,678	48,772	6,447	6,746	21,329	7,960	3,162	10,151	9,569	11,541	
平成26年度	125,267	48,137	6,438	6,519	21,458	8,011	3,154	10,080	9,771	11,699	
平成27年度①	125,683	48,160	6,608	6,293	21,388	8,205	3,148	10,193	9,794	11,895	
(構成割合)	(100%)	(38.3%)	(5.3%)	(5.0%)	(17.0%)	(6.5%)	(2.5%)	(8.1%)	(7.8%)	(9.5%)	
平成28年度②	124,686	47,758	6,547	5,995	21,377	8,319	3,100	10,089	9,598	11,904	
(構成割合)	(100%)	(38.3%)	(5.3%)	(4.8%)	(17.1%)	(6.7%)	(2.5%)	(8.1%)	(7.7%)	(9.5%)	
平成29年度②	124,340	47,489	6,461	5,650	21,508	8,435	3,076	10,154	9,590	11,977	
(構成割合)	(100%)	(38.2%)	(5.2%)	(4.5%)	(17.3%)	(6.8%)	(2.5%)	(8.2%)	(7.7%)	(9.6%)	
②-①	▲347	▲269	▲86	▲345	131	116	▲24	65	▲8	73	

表22-2 主たる診療科別 医科診療所 入院外 受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医科診療所	診療科									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	
平成25年度	▲ 1.4	▲ 1.6	▲ 2.6	▲ 4.6	▲ 0.5	0.7	▲ 1.4	▲ 0.6	▲ 3.9	0.7	
平成26年度	▲ 0.3	▲ 1.3	▲ 0.1	▲ 3.4	0.6	0.6	▲ 0.3	▲ 0.7	2.1	1.4	
平成27年度	0.3	0.0	2.6	▲ 3.5	▲ 0.3	2.4	▲ 0.2	1.1	0.2	1.7	
平成28年度	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 4.7	▲ 0.1	1.4	▲ 1.5	▲ 1.0	▲ 2.0	0.1	
平成29年度	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 1.3	▲ 5.7	0.6	1.4	▲ 0.8	0.6	▲ 0.1	0.6	

表23-1 入院外 1日当たり医療費の推移

(単位：円)

	医 科									歯 科			保険薬局
	病 院	病 院						診 療 所	病 院	診 療 所			
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上						
平成25年度	8,083	12,989	18,723	14,989	10,822	9,019	9,784	15,315	6,419	6,442	5,759	6,469	8,861
平成26年度	8,233	13,410	19,762	15,522	11,076	9,232	9,992	15,885	6,494	6,565	5,910	6,591	8,906
平成27年度	8,492	14,181	21,466	16,639	11,480	9,513	10,313	16,964	6,595	6,643	5,976	6,669	9,560
平成28年度①	8,549	14,461	22,440	17,068	11,563	9,400	10,326	17,416	6,596	6,772	6,100	6,798	9,031
平成29年度②	8,731	14,942	23,584	17,661	11,843	9,587	10,524	18,085	6,696	6,856	6,193	6,883	9,195
②-①	182	481	1,144	593	280	188	197	669	100	85	93	85	164

表23-2 入院外 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医 科									歯 科			保険薬局
	病 院	病 院						診 療 所	病 院	診 療 所			
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満	200床以上						
平成25年度	3.0	3.6	5.6	3.6	3.2	1.1	3.1	3.7	2.4	0.2	0.5	0.2	5.4
平成26年度	1.9	3.2	5.5	3.6	2.4	2.4	2.1	3.7	1.2	1.9	2.6	1.9	0.5
平成27年度	3.2	5.7	8.6	7.2	3.6	3.0	3.2	6.8	1.6	1.2	1.1	1.2	7.3
平成28年度	0.7	2.0	4.5	2.6	0.7	▲ 1.2	0.1	2.7	0.0	1.9	2.1	1.9	▲ 5.5
平成29年度	2.1	3.3	5.1	3.5	2.4	2.0	1.9	3.8	1.5	1.3	1.5	1.2	1.8

表24-1 主たる診療科別 医科診療所 入院外 1日当たり医療費の推移

(単位：円)

	医科診療所	医 科								
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	6,419	8,188	5,209	6,247	3,819	3,892	5,928	6,506	4,098	8,253
平成26年度	6,494	8,245	5,274	6,354	3,904	3,937	5,999	6,818	4,201	8,306
平成27年度	6,595	8,384	5,271	6,543	3,981	3,941	6,044	6,989	4,266	8,369
平成28年度①	6,596	8,373	5,279	6,592	4,004	3,915	6,061	7,088	4,301	8,291
平成29年度②	6,696	8,499	5,362	6,750	4,100	3,909	6,131	7,268	4,388	8,372
②-①	100	126	82	157	96	▲ 6	70	180	87	81

表24-2 主たる診療科別 医科診療所 入院外 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医科診療所	医 科								
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	2.4	2.8	1.4	2.7	2.6	0.1	0.8	3.3	1.7	1.1
平成26年度	1.2	0.7	1.3	1.7	2.2	1.2	1.2	4.8	2.5	0.6
平成27年度	1.6	1.7	▲ 0.1	3.0	2.0	0.1	0.8	2.5	1.5	0.8
平成28年度	0.0	▲ 0.1	0.2	0.8	0.6	▲ 0.7	0.3	1.4	0.8	▲ 0.9
平成29年度	1.5	1.5	1.6	2.4	2.4	▲ 0.1	1.2	2.5	2.0	1.0

表25-1 入院外 1施設当たり医療費の推移

(単位：万円)

	医 科							歯 科		保険薬局	
	病 院						診療所	病 院	診療所		
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満					200床以上
平成25年度	64,868	489,369	140,355	38,584	20,002	29,908	141,788	9,532	5,281	3,825	13,002
平成26年度	66,303	506,176	143,470	39,163	19,870	30,207	145,680	9,608	5,423	3,927	13,027
平成27年度	70,219	549,893	154,239	40,585	20,926	31,095	156,100	9,783	5,489	3,980	14,051
平成28年度①	70,470	565,189	155,397	40,248	20,687	30,566	157,705	9,681	5,565	4,028	13,207
平成29年度②	72,229	585,695	159,855	40,742	21,104	30,746	163,461	9,775	5,701	4,085	13,479
②-①	1,759	20,507	4,457	493	417	180	5,755	94	136	57	271

表25-2 入院外 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医 科							歯 科		保険薬局	
	病 院						診療所	病 院	診療所		
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満					200床以上
平成25年度	2.9	4.5	2.6	2.7	▲ 2.2	1.8	3.3	0.7	1.8	0.5	3.3
平成26年度	2.2	3.4	2.2	1.5	▲ 0.7	1.0	2.7	0.8	2.7	2.7	0.2
平成27年度	5.9	8.6	7.5	3.6	5.3	2.9	7.2	1.8	1.2	1.4	7.9
平成28年度	0.4	2.8	0.8	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 1.7	1.0	▲ 1.0	1.4	1.2	▲ 6.0
平成29年度	2.5	3.6	2.9	1.2	2.0	0.6	3.6	1.0	2.4	1.4	2.1

表26-1 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の推移

(単位：万円)

	医科診療所									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	9,532	10,047	6,693	9,318	11,746	7,336	5,162	9,863	7,800	10,777
平成26年度	9,608	10,008	6,750	9,370	12,018	7,427	5,318	10,224	8,136	10,778
平成27年度	9,783	10,178	6,925	9,590	12,140	7,569	5,437	10,556	8,313	10,860
平成28年度①	9,681	10,066	6,846	9,511	12,068	7,547	5,418	10,499	8,217	10,607
平成29年度②	9,775	10,141	6,843	9,543	12,300	7,531	5,487	10,751	8,373	10,626
②-①	94	76	▲ 3	32	232	▲ 16	69	252	157	19

表26-2 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医科診療所									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
平成25年度	0.7	1.0	▲ 1.7	0.5	1.6	▲ 0.4	1.1	1.9	▲ 2.4	▲ 0.0
平成26年度	0.8	▲ 0.4	0.8	0.6	2.3	1.2	3.0	3.7	4.3	0.0
平成27年度	1.8	1.7	2.6	2.3	1.0	1.9	2.2	3.2	2.2	0.8
平成28年度	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 2.3
平成29年度	1.0	0.8	▲ 0.0	0.3	1.9	▲ 0.2	1.3	2.4	1.9	0.2

表27-1 入院外 1施設当たり受診延日数の推移

(単位：万日)

	医 科							歯 科		保険薬局	
	病 院						診療所	病 院	診療所		
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満					200床以上
平成25年度	5.0	26.1	9.4	3.6	2.2	3.1	9.3	1.48	0.92	0.59	1.47
平成26年度	4.9	25.6	9.2	3.5	2.2	3.0	9.2	1.48	0.92	0.60	1.46
平成27年度	5.0	25.6	9.3	3.5	2.2	3.0	9.2	1.48	0.92	0.60	1.47
平成28年度①	4.9	25.2	9.1	3.5	2.2	3.0	9.1	1.47	0.91	0.59	1.46
平成29年度②	4.8	24.8	9.1	3.4	2.2	2.9	9.0	1.46	0.92	0.59	1.47
②-①	▲ 0.04	▲ 0.35	▲ 0.05	▲ 0.04	0.00	▲ 0.04	▲ 0.02	▲ 0.01	0.01	0.00	0.00

表27-2 入院外 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医 科							歯 科		保険薬局	
	病 院						診療所	病 院	診療所		
		大 学	公 的	法 人	個 人	200床未満					200床以上
平成25年度	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 0.5	▲ 3.3	▲ 1.3	▲ 0.4	▲ 1.6	1.3	0.3	▲ 1.9
平成26年度	▲ 1.0	▲ 2.0	▲ 1.3	▲ 0.8	▲ 2.9	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 0.4	0.0	0.8	▲ 0.3
平成27年度	0.1	0.0	0.3	▲ 0.0	2.2	▲ 0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.5
平成28年度	▲ 1.6	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 1.5	0.0	▲ 1.8	▲ 1.6	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 0.5
平成29年度	▲ 0.8	▲ 1.4	▲ 0.6	▲ 1.2	0.0	▲ 1.3	▲ 0.2	▲ 0.5	0.9	0.2	0.2

表28-1 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の推移

(単位：日)

	医科 診療所									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻 咽喉科	その他
平成25年度	14,848	12,269	12,850	14,917	30,755	18,849	8,708	15,161	19,033	13,058
平成26年度	14,795	12,138	12,799	14,747	30,786	18,864	8,865	14,996	19,368	12,976
平成27年度	14,835	12,140	13,138	14,657	30,494	19,205	8,996	15,103	19,489	12,976
平成28年度①	14,678	12,021	12,968	14,427	30,143	19,277	8,940	14,811	19,102	12,793
平成29年度②	14,599	11,932	12,763	14,138	30,000	19,264	8,950	14,791	19,082	12,692
②-①	▲ 79	▲ 90	▲ 205	▲ 289	▲ 143	▲ 13	10	▲ 20	▲ 20	▲ 100

表28-2 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

	医科 診療所									
		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻 咽喉科	その他
平成25年度	▲ 1.6	▲ 1.8	▲ 3.1	▲ 2.1	▲ 1.0	▲ 0.5	0.3	▲ 1.3	▲ 4.1	▲ 1.1
平成26年度	▲ 0.4	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 1.1	0.1	0.1	1.8	▲ 1.1	1.8	▲ 0.6
平成27年度	0.3	0.0	2.7	▲ 0.6	▲ 0.9	1.8	1.5	0.7	0.6	▲ 0.0
平成28年度	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 1.6	▲ 1.1	0.4	▲ 0.6	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 1.4
平成29年度	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 1.6	▲ 2.0	▲ 0.5	▲ 0.1	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.8

IV 都道府県別の概算医療費（平成29年度）

表29-1 医療費総額

(単位：億円)

	総計	医科計		歯科	調剤	訪問看護 療養	(参考)	
		医科入院	医科入院外				医科入院外 +調剤	
全国計	422,316	313,797	169,674	144,123	29,152	77,129	2,237	221,253
北海道	21,149	15,970	9,737	6,233	1,248	3,854	77	10,086
青森	4,426	3,189	1,716	1,473	241	977	19	2,450
岩手	4,057	2,911	1,590	1,320	264	868	14	2,188
宮城	7,331	5,319	2,786	2,533	481	1,501	30	4,034
秋田	3,617	2,558	1,469	1,089	220	832	7	1,921
山形	3,766	2,801	1,543	1,258	230	723	12	1,981
福島	6,056	4,418	2,348	2,070	373	1,248	17	3,318
茨城	8,482	6,095	3,172	2,922	583	1,778	27	4,700
栃木	6,137	4,673	2,343	2,330	385	1,061	18	3,391
群馬	6,353	4,910	2,613	2,297	393	1,022	27	3,319
埼玉	19,524	13,926	7,094	6,833	1,522	3,981	94	10,814
千葉	17,782	12,806	6,729	6,077	1,371	3,536	69	9,613
東京	45,274	32,479	16,201	16,278	3,535	9,003	257	25,281
神奈川	26,231	18,419	9,347	9,071	2,074	5,610	128	14,682
新潟	7,000	5,094	2,746	2,348	487	1,398	20	3,746
富山	3,517	2,751	1,579	1,171	200	555	11	1,727
石川	4,010	3,114	1,840	1,274	213	656	27	1,930
福井	2,595	2,072	1,154	918	140	366	17	1,284
山梨	2,619	1,903	1,047	856	173	532	11	1,389
長野	6,653	4,931	2,714	2,217	408	1,290	24	3,506
岐阜	6,318	4,658	2,290	2,368	474	1,149	36	3,517
静岡	11,373	8,461	4,253	4,208	723	2,158	32	6,366
愛知	22,848	16,919	8,193	8,725	1,853	3,906	170	12,632
三重	5,509	4,132	2,111	2,021	376	970	31	2,991
滋賀	4,123	3,048	1,684	1,364	270	782	22	2,147
京都	9,028	6,950	3,817	3,134	578	1,448	52	4,582
大阪	32,654	24,362	12,959	11,402	2,649	5,334	310	16,737
兵庫	18,928	14,015	7,553	6,462	1,363	3,436	113	9,898
奈良	4,527	3,562	1,854	1,709	288	647	31	2,355
和歌山	3,524	2,744	1,432	1,311	212	539	29	1,850
鳥取	2,073	1,581	934	647	121	361	9	1,008
島根	2,482	1,866	1,090	776	133	471	12	1,247
岡山	7,004	5,492	3,032	2,460	468	1,015	29	3,475
広島	10,333	7,689	4,163	3,525	719	1,871	54	5,396
山口	5,380	4,105	2,471	1,634	308	944	22	2,579
徳島	2,998	2,368	1,352	1,015	187	427	17	1,442
香川	3,637	2,720	1,475	1,245	242	659	15	1,904
愛媛	5,055	3,961	2,168	1,793	285	777	32	2,569
高知	3,160	2,484	1,604	880	154	508	13	1,388
福岡	19,672	15,055	9,047	6,008	1,307	3,182	128	9,190
佐賀	3,155	2,387	1,444	943	183	569	17	1,512
長崎	5,441	4,165	2,565	1,600	313	943	20	2,543
熊本	6,896	5,442	3,217	2,225	375	1,048	30	3,274
大分	4,540	3,525	2,107	1,418	224	769	23	2,187
宮崎	3,970	3,024	1,724	1,300	224	698	24	1,997
鹿児島	6,478	5,142	3,163	1,979	322	982	31	2,961
沖縄	4,634	3,602	2,202	1,401	262	744	27	2,144

注1. 医療機関所在地の都道府県で、都道府県別の分類を行っている。

注2. 医療費には、入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額を含んでいる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

表29-2 医療費総額の伸び率（対前年同期比）

(単位：%)

	総計	医科計		歯科	調剤	訪問看護 療養	(参考) 医科入院外 +調剤	
		医科入院	医科入院外					
全国計	2.3	2.1	2.6	1.6	1.4	2.9	16.4	2.1
北海道	2.1	2.2	2.6	1.6	0.3	2.3	11.3	1.8
青森	1.1	1.0	1.2	0.7	▲ 0.6	1.7	7.9	1.1
岩手	1.2	0.6	1.2	▲ 0.0	▲ 0.9	3.8	14.7	1.4
宮城	2.4	2.3	2.5	2.2	0.7	3.0	16.0	2.5
秋田	0.4	0.3	0.2	0.4	0.4	0.8	7.6	0.6
山形	1.9	2.0	2.7	1.1	0.2	2.0	12.0	1.4
福島	1.2	1.1	1.5	0.6	0.9	1.6	12.8	1.0
茨城	2.2	2.2	2.5	2.0	1.2	2.1	17.9	2.0
栃木	2.0	1.6	2.4	0.8	1.1	4.0	15.1	1.8
群馬	1.6	1.4	1.8	1.0	0.1	3.1	10.3	1.6
埼玉	3.4	3.3	3.9	2.7	1.2	4.1	18.8	3.2
千葉	2.8	2.8	3.2	2.4	2.1	3.0	14.6	2.6
東京	2.8	2.7	2.7	2.8	1.9	3.1	16.2	2.9
神奈川	3.0	3.0	3.3	2.7	2.2	3.1	19.6	2.9
新潟	1.2	1.2	1.8	0.5	▲ 0.4	1.7	14.8	1.0
富山	2.1	2.1	3.0	0.9	0.6	2.4	17.8	1.3
石川	1.3	1.1	2.0	▲ 0.1	▲ 0.3	1.6	26.7	0.5
福井	1.5	1.3	2.6	▲ 0.3	▲ 0.1	2.7	11.0	0.6
山梨	1.7	1.7	2.4	0.8	0.8	2.2	10.8	1.3
長野	1.4	1.1	1.1	1.1	1.5	2.7	3.2	1.7
岐阜	1.8	1.4	1.7	1.1	1.6	3.3	13.7	1.8
静岡	2.3	2.3	3.0	1.6	1.2	2.5	13.8	1.9
愛知	2.8	2.4	2.7	2.2	2.1	4.0	18.9	2.7
三重	2.4	2.2	2.9	1.5	1.7	3.6	13.5	2.2
滋賀	2.5	2.1	2.1	2.1	1.4	4.4	10.8	2.9
京都	2.6	2.5	3.2	1.7	1.2	3.2	16.4	2.2
大阪	2.6	2.3	2.8	1.7	1.9	3.6	22.6	2.3
兵庫	2.7	2.7	3.6	1.7	1.8	2.8	14.7	2.1
奈良	3.3	3.3	4.3	2.2	1.1	3.8	15.9	2.7
和歌山	1.4	0.7	1.9	▲ 0.6	1.2	4.6	13.1	0.8
鳥取	0.7	0.5	0.2	1.1	1.4	0.8	13.8	1.0
島根	1.1	0.7	1.7	▲ 0.7	▲ 1.3	3.4	5.8	0.8
岡山	2.0	1.9	3.1	0.5	1.5	2.6	15.9	1.1
広島	1.5	1.3	1.9	0.6	1.2	2.4	8.6	1.2
山口	1.2	1.3	2.0	0.4	0.5	0.5	17.3	0.4
徳島	1.7	1.5	2.3	0.6	0.9	2.7	12.7	1.2
香川	2.3	2.0	2.8	1.1	1.7	3.5	22.2	1.9
愛媛	1.3	0.7	1.5	▲ 0.3	0.6	4.2	9.4	1.0
高知	1.5	1.5	2.2	0.1	▲ 0.3	1.9	17.0	0.8
福岡	2.0	1.7	2.1	1.1	1.8	2.7	16.2	1.7
佐賀	1.3	1.6	1.7	1.3	1.1	▲ 0.3	15.2	0.7
長崎	1.2	0.9	1.6	▲ 0.1	1.8	2.1	16.2	0.7
熊本	2.5	2.4	2.5	2.2	3.4	2.3	21.1	2.2
大分	1.7	1.8	2.1	1.4	0.5	1.3	18.1	1.3
宮崎	1.4	1.4	1.5	1.4	0.3	1.4	15.6	1.4
鹿児島	1.9	1.8	2.3	0.8	1.2	2.8	8.7	1.5
沖縄	3.0	2.5	2.5	2.4	1.8	5.5	24.9	3.5

表30-1 受診延日数

(単位：万日)

	総計	医科計		歯科	訪問看護 療養	調剤	
		医科入院	医科入院外				
全国計	255,778	211,988	46,912	165,076	41,779	2,011	83,886
北海道	10,861	9,139	2,836	6,302	1,652	70	3,544
青森	2,649	2,292	507	1,785	339	18	1,028
岩手	2,377	2,009	491	1,518	356	12	870
宮城	4,368	3,631	753	2,878	709	28	1,647
秋田	2,032	1,738	445	1,293	288	7	785
山形	2,285	1,943	440	1,503	332	11	782
福島	3,596	3,027	687	2,340	554	15	1,261
茨城	5,054	4,159	907	3,252	871	24	1,740
栃木	3,809	3,184	661	2,522	609	16	1,184
群馬	3,916	3,259	735	2,523	633	24	1,080
埼玉	12,593	10,176	1,925	8,251	2,333	84	4,445
千葉	10,804	8,734	1,753	6,981	2,007	62	3,792
東京	27,643	22,202	3,760	18,442	5,205	237	10,199
神奈川	16,349	13,300	2,235	11,064	2,934	116	6,390
新潟	4,185	3,478	812	2,666	688	19	1,539
富山	2,040	1,729	471	1,258	301	9	537
石川	2,240	1,910	546	1,364	308	22	600
福井	1,505	1,289	339	950	200	16	335
山梨	1,596	1,331	311	1,020	255	9	546
長野	3,766	3,134	695	2,439	611	21	1,250
岐阜	4,043	3,333	605	2,727	679	31	1,299
静岡	6,904	5,766	1,113	4,653	1,110	28	2,454
愛知	14,643	11,941	2,066	9,875	2,563	139	4,439
三重	3,604	3,024	609	2,415	553	27	1,094
滋賀	2,452	2,029	435	1,594	404	20	809
京都	5,183	4,333	966	3,367	801	49	1,333
大阪	20,046	16,256	3,328	12,928	3,499	290	5,648
兵庫	11,557	9,620	1,979	7,641	1,835	103	3,811
奈良	2,670	2,211	482	1,729	431	29	749
和歌山	2,173	1,846	402	1,443	301	26	541
鳥取	1,174	996	265	731	170	8	367
島根	1,428	1,234	319	915	184	11	500
岡山	4,041	3,398	817	2,582	616	27	1,166
広島	6,397	5,387	1,220	4,167	961	49	2,097
山口	3,323	2,859	820	2,039	445	19	1,070
徳島	1,817	1,545	443	1,102	256	15	440
香川	2,246	1,908	435	1,474	325	13	677
愛媛	3,124	2,656	663	1,993	438	29	811
高知	1,719	1,492	521	971	215	12	475
福岡	12,167	10,103	2,697	7,406	1,952	112	3,907
佐賀	2,069	1,773	488	1,286	282	15	721
長崎	3,391	2,920	863	2,057	453	19	1,046
熊本	4,307	3,704	1,090	2,613	577	27	1,242
大分	2,612	2,267	675	1,592	325	20	817
宮崎	2,478	2,130	581	1,549	326	22	821
鹿児島	3,993	3,448	1,106	2,343	517	28	1,179
沖縄	2,548	2,146	618	1,528	379	23	817

注1. 医療機関所在地の都道府県で、都道府県別の分類を行っている。

注2. 診療実日数を取りまとめている。調剤については、処方せん枚数を取りまとめている。

注3. 総計については、調剤の処方せん枚数を含めずに計上している。

表30-2 都道府県別受診延日数の伸び率（対前年同期比）

（単位：％）

	総計	医科計		歯科	訪問看護療養	調剤	
		医科入院	医科入院外				
全国計	▲ 0.1	▲ 0.3	0.5	▲ 0.5	0.1	15.9	1.1
北海道	▲ 0.3	▲ 0.3	0.8	▲ 0.8	▲ 0.3	10.5	▲ 0.1
青森	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 1.8	6.5	0.1
岩手	▲ 1.2	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 1.1	11.5	1.6
宮城	▲ 0.0	▲ 0.1	1.1	▲ 0.4	▲ 0.2	16.7	0.2
秋田	▲ 1.7	▲ 1.9	▲ 1.4	▲ 2.1	▲ 0.8	8.3	▲ 1.4
山形	▲ 1.2	▲ 1.3	▲ 0.0	▲ 1.6	▲ 0.9	12.9	▲ 0.4
福島	▲ 1.0	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 1.3	▲ 0.4	12.3	0.2
茨城	▲ 0.1	▲ 0.2	0.4	▲ 0.3	▲ 0.2	17.1	0.7
栃木	▲ 0.5	▲ 0.7	0.7	▲ 1.0	0.4	15.8	1.3
群馬	▲ 0.5	▲ 0.5	0.1	▲ 0.6	▲ 0.7	10.0	2.1
埼玉	0.7	0.6	1.4	0.4	0.7	18.8	2.2
千葉	0.5	0.4	1.0	0.2	0.6	14.2	1.4
東京	0.8	0.7	0.8	0.7	0.3	16.0	1.8
神奈川	0.6	0.6	1.3	0.4	0.4	18.2	1.4
新潟	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 0.1	▲ 2.0	▲ 1.6	15.2	▲ 0.7
富山	▲ 1.2	▲ 1.3	0.9	▲ 2.1	▲ 1.1	15.7	▲ 0.5
石川	▲ 1.3	▲ 1.5	0.3	▲ 2.2	▲ 1.7	20.7	0.3
福井	▲ 2.2	▲ 2.5	▲ 0.4	▲ 3.3	▲ 1.3	10.8	▲ 0.8
山梨	0.1	0.1	1.3	▲ 0.3	▲ 0.0	11.2	1.6
長野	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.7	0.0	3.4	0.9
岐阜	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.0	12.9	0.8
静岡	▲ 0.0	▲ 0.1	1.2	▲ 0.4	0.2	13.8	1.0
愛知	0.3	0.1	0.9	▲ 0.0	0.4	17.6	2.0
三重	▲ 0.0	▲ 0.1	1.1	▲ 0.4	▲ 0.4	12.9	1.2
滋賀	0.6	0.5	0.3	0.6	0.5	10.6	3.2
京都	0.0	▲ 0.1	0.7	▲ 0.4	▲ 0.1	17.0	2.9
大阪	0.3	▲ 0.1	0.7	▲ 0.3	0.6	21.4	2.0
兵庫	0.1	▲ 0.1	1.7	▲ 0.5	0.4	15.1	1.2
奈良	0.4	0.4	2.8	▲ 0.2	▲ 0.6	16.8	2.4
和歌山	▲ 0.6	▲ 0.8	0.7	▲ 1.2	▲ 0.6	13.9	2.2
鳥取	▲ 0.7	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 1.0	0.3	13.8	0.3
島根	▲ 0.8	▲ 0.8	0.9	▲ 1.4	▲ 1.3	6.4	0.6
岡山	▲ 0.2	▲ 0.3	1.9	▲ 0.9	▲ 0.1	15.2	0.8
広島	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 0.1	▲ 1.6	0.1	9.0	▲ 0.2
山口	▲ 1.1	▲ 1.3	0.2	▲ 1.9	▲ 0.2	15.4	▲ 0.9
徳島	▲ 1.0	▲ 1.3	0.1	▲ 1.9	0.1	12.0	0.7
香川	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 0.2	▲ 1.2	0.2	20.7	0.9
愛媛	▲ 1.3	▲ 1.5	▲ 0.5	▲ 1.8	▲ 0.5	9.0	1.7
高知	▲ 1.1	▲ 1.2	0.5	▲ 2.1	▲ 0.9	16.0	▲ 0.2
福岡	▲ 0.3	▲ 0.5	0.5	▲ 0.9	0.3	16.1	0.0
佐賀	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 0.2	▲ 1.4	0.0	17.5	▲ 0.7
長崎	▲ 1.4	▲ 1.7	▲ 0.1	▲ 2.3	▲ 0.4	15.8	▲ 0.7
熊本	0.2	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.1	1.9	21.1	0.3
大分	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 0.1	▲ 1.5	▲ 0.1	17.8	0.1
宮崎	▲ 0.9	▲ 1.2	▲ 0.9	▲ 1.3	0.0	15.2	▲ 0.5
鹿児島	▲ 0.7	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 1.3	0.4	8.3	0.6
沖縄	0.9	0.7	0.0	1.0	0.8	23.5	2.0

表31-1 1日当たり医療費

(単位：円)

	総計	医科計		歯科	調剤	訪問看護 療養	(参考)	
		医科入院	医科入院外				医科入院外 +調剤	
全国計	16,511	14,803	36,169	8,731	6,978	9,195	11,128	13,403
北海道	19,472	17,475	34,329	9,890	7,551	10,873	11,101	16,004
青森	16,709	13,913	33,866	8,250	7,103	9,500	10,943	13,722
岩手	17,064	14,486	32,406	8,694	7,415	9,974	11,706	14,410
宮城	16,782	14,648	36,994	8,802	6,786	9,114	10,672	14,016
秋田	17,804	14,723	33,023	8,425	7,653	10,602	11,107	14,859
山形	16,481	14,419	35,093	8,372	6,938	9,240	11,124	13,182
福島	16,842	14,597	34,205	8,844	6,730	9,897	11,035	14,178
茨城	16,783	14,652	34,957	8,986	6,693	10,220	11,341	14,454
栃木	16,111	14,677	35,422	9,237	6,322	8,958	11,245	13,444
群馬	16,223	15,068	35,547	9,102	6,214	9,462	11,270	13,152
埼玉	15,504	13,686	36,844	8,281	6,524	8,956	11,219	13,107
千葉	16,459	14,662	38,383	8,705	6,829	9,325	11,021	13,770
東京	16,378	14,629	43,086	8,827	6,792	8,827	10,845	13,709
神奈川	16,044	13,849	41,818	8,199	7,069	8,780	11,094	13,269
新潟	16,727	14,645	33,803	8,807	7,076	9,084	10,922	14,053
富山	17,242	15,904	33,494	9,312	6,661	10,331	11,553	13,724
石川	17,897	16,298	33,668	9,338	6,918	10,941	12,079	14,150
福井	17,241	16,069	34,055	9,658	6,985	10,933	10,995	13,509
山梨	16,414	14,296	33,669	8,393	6,766	9,743	11,632	13,612
長野	17,665	15,732	39,062	9,087	6,680	10,321	11,548	14,375
岐阜	15,625	13,978	37,846	8,681	6,978	8,851	11,495	12,896
静岡	16,474	14,674	38,225	9,043	6,512	8,797	11,126	13,681
愛知	15,603	14,168	39,664	8,835	7,232	8,799	12,208	12,791
三重	15,286	13,663	34,648	8,369	6,807	8,866	11,546	12,385
滋賀	16,813	15,025	38,720	8,561	6,697	9,673	11,161	13,469
京都	17,420	16,040	39,519	9,306	7,213	10,867	10,648	13,607
大阪	16,290	14,986	38,940	8,820	7,569	9,445	10,657	12,946
兵庫	16,377	14,570	38,177	8,457	7,427	9,017	11,015	12,954
奈良	16,957	16,114	38,442	9,884	6,681	8,637	10,782	13,625
和歌山	16,220	14,868	35,624	9,086	7,041	9,954	11,246	12,819
鳥取	17,650	15,878	35,296	8,852	7,130	9,827	11,042	13,789
島根	17,379	15,126	34,227	8,477	7,251	9,429	10,715	13,629
岡山	17,333	16,161	37,130	9,529	7,604	8,699	10,776	13,460
広島	16,152	14,273	34,139	8,459	7,484	8,921	11,004	12,948
山口	16,188	14,360	30,147	8,014	6,924	8,822	11,444	12,645
徳島	16,499	15,320	30,513	9,212	7,274	9,697	11,087	13,085
香川	16,192	14,254	33,941	8,449	7,467	9,736	11,636	12,920
愛媛	16,184	14,913	32,710	8,994	6,508	9,577	11,009	12,890
高知	18,378	16,650	30,818	9,057	7,139	10,710	11,010	14,292
福岡	16,168	14,902	33,542	8,113	6,693	8,144	11,414	12,410
佐賀	15,248	13,464	29,613	7,339	6,501	7,883	11,155	11,763
長崎	16,043	14,263	29,731	7,778	6,915	9,011	10,925	12,359
熊本	16,010	14,695	29,504	8,516	6,493	8,441	11,337	12,528
大分	17,383	15,551	31,231	8,907	6,879	9,405	11,426	13,736
宮崎	16,021	14,198	29,696	8,389	6,862	8,497	11,040	12,892
鹿児島	16,224	14,911	28,603	8,448	6,236	8,333	11,301	12,641
沖縄	18,188	16,783	35,629	9,164	6,910	9,098	11,781	14,029

注1. 医療機関所在地の都道府県で、都道府県別の分類を行っている。

注2. 1日当たり医療費とは、診療実日数当たりの医療費である。

調剤は、処方せん1枚当たりの医療費。

「(参考) 医科入院外+調剤」では、医科入院外及び調剤の医療費を医科入院外の受診延日数で除して得た値。

注3. 医療費には、入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額を含んでいる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

表31-2 1日当たり医療費の伸び率（対前年同期比）

（単位：％）

	総計	医科計		歯科	調剤	訪問看護 療養	(参考) 医科入院外 +調剤	
		医科入院	医科入院外					
全国計	2.4	2.4	2.0	2.1	1.3	1.8	0.4	2.6
北海道	2.4	2.5	1.8	2.4	0.6	2.4	0.7	2.7
青森	3.1	3.0	2.1	3.1	1.2	1.6	1.2	3.5
岩手	2.4	1.9	2.2	1.3	0.2	2.1	2.9	2.8
宮城	2.4	2.4	1.3	2.6	0.9	2.8	▲ 0.6	2.9
秋田	2.2	2.2	1.6	2.6	1.2	2.2	▲ 0.7	2.7
山形	3.1	3.3	2.7	2.8	1.2	2.4	▲ 0.8	3.1
福島	2.3	2.3	2.3	1.9	1.3	1.4	0.4	2.3
茨城	2.3	2.4	2.0	2.3	1.4	1.4	0.6	2.4
栃木	2.5	2.3	1.7	1.9	0.7	2.7	▲ 0.6	2.9
群馬	2.1	1.9	1.7	1.6	0.8	0.9	0.3	2.3
埼玉	2.6	2.7	2.5	2.3	0.5	1.8	▲ 0.1	2.8
千葉	2.4	2.5	2.1	2.2	1.5	1.6	0.4	2.4
東京	2.0	2.0	1.9	2.0	1.5	1.3	0.1	2.1
神奈川	2.4	2.4	2.0	2.3	1.8	1.8	1.2	2.4
新潟	2.8	2.8	1.9	2.5	1.3	2.4	▲ 0.3	3.0
富山	3.4	3.5	2.2	3.1	1.7	2.8	1.8	3.6
石川	2.6	2.6	1.7	2.1	1.4	1.3	5.0	2.7
福井	3.8	3.9	2.9	3.1	1.2	3.6	0.2	3.9
山梨	1.6	1.6	1.1	1.1	0.8	0.6	▲ 0.4	1.6
長野	2.0	1.8	1.5	1.9	1.4	1.8	▲ 0.3	2.5
岐阜	2.4	2.2	2.6	1.9	1.6	2.5	0.7	2.6
静岡	2.3	2.4	1.8	2.0	1.1	1.5	▲ 0.0	2.3
愛知	2.4	2.3	1.9	2.2	1.6	2.0	1.1	2.7
三重	2.5	2.2	1.7	1.8	2.0	2.4	0.5	2.5
滋賀	1.9	1.6	1.8	1.5	0.9	1.2	0.2	2.3
京都	2.6	2.6	2.4	2.1	1.3	0.3	▲ 0.6	2.6
大阪	2.3	2.3	2.1	1.9	1.3	1.5	0.9	2.5
兵庫	2.6	2.8	1.9	2.3	1.4	1.6	▲ 0.4	2.7
奈良	2.9	2.9	1.5	2.5	1.7	1.3	▲ 0.8	2.9
和歌山	2.0	1.4	1.2	0.5	1.8	2.4	▲ 0.7	2.0
鳥取	1.4	1.5	1.1	2.1	1.0	0.5	0.0	2.0
島根	2.0	1.5	0.8	0.8	▲ 0.0	2.8	▲ 0.6	2.3
岡山	2.2	2.2	1.2	1.4	1.6	1.8	0.6	2.0
広島	2.5	2.6	2.0	2.3	1.1	2.6	▲ 0.3	2.9
山口	2.3	2.7	1.7	2.3	0.7	1.4	1.7	2.4
徳島	2.8	2.9	2.2	2.5	0.9	2.0	0.6	3.2
香川	3.0	2.9	2.9	2.3	1.5	2.6	1.2	3.1
愛媛	2.6	2.2	2.0	1.6	1.2	2.5	0.4	2.9
高知	2.6	2.7	1.7	2.3	0.6	2.1	0.9	3.0
福岡	2.3	2.3	1.7	2.1	1.5	2.6	0.1	2.6
佐賀	2.1	2.7	2.0	2.8	1.0	0.4	▲ 1.9	2.2
長崎	2.7	2.7	1.7	2.3	2.2	2.9	0.4	3.1
熊本	2.3	2.6	2.9	2.3	1.5	2.0	▲ 0.0	2.4
大分	2.6	2.9	2.2	2.9	0.6	1.2	0.2	2.8
宮崎	2.4	2.7	2.4	2.7	0.3	1.9	0.4	2.7
鹿児島	2.7	2.7	2.7	2.1	0.8	2.1	0.4	2.7
沖縄	2.1	1.7	2.5	1.4	1.0	3.5	1.1	2.4

IV 【参考】 推計平均在院日数等

	推計新規入院件数		推計平均在院日数		1日当たり医療費 (医科入院)		推計1入院当たり 医療費	
	(万件)	(対前年同期比) (%)	(日)	(対前年同期比) (%)	(円)	(対前年同期比) (%)	(万円)	(対前年同期比) (%)
全国計	1,568.8	1.2	29.9	▲ 0.7	36,169	2.0	108.2	1.3
北海道	82.8	1.3	34.3	▲ 0.5	34,329	1.8	117.6	1.3
青森	16.0	0.4	31.6	▲ 1.3	33,866	2.1	107.0	0.8
岩手	15.6	0.4	31.5	▲ 1.4	32,406	2.2	102.1	0.8
宮城	27.9	1.8	27.0	▲ 0.7	36,994	1.3	100.0	0.6
秋田	13.0	▲ 0.7	34.2	▲ 0.6	33,023	1.6	113.0	0.9
山形	14.3	0.6	30.7	▲ 0.6	35,093	2.7	107.6	2.1
福島	23.0	1.0	29.9	▲ 1.7	34,205	2.3	102.3	0.5
茨城	31.2	1.0	29.1	▲ 0.6	34,957	2.0	101.6	1.4
栃木	21.8	1.1	30.3	▲ 0.4	35,422	1.7	107.4	1.3
群馬	24.4	0.9	30.2	▲ 0.8	35,547	1.7	107.2	0.9
埼玉	66.6	2.1	28.9	▲ 0.7	36,844	2.5	106.6	1.8
千葉	65.0	1.3	27.0	▲ 0.2	38,383	2.1	103.6	1.9
東京	158.7	1.4	23.7	▲ 0.6	43,086	1.9	102.1	1.3
神奈川	93.3	2.1	24.0	▲ 0.8	41,818	2.0	100.2	1.2
新潟	25.4	0.3	32.0	▲ 0.4	33,803	1.9	108.1	1.5
富山	14.4	0.9	32.7	▲ 0.0	33,494	2.2	109.4	2.1
石川	16.4	0.1	33.3	0.2	33,668	1.7	112.1	1.9
福井	10.7	0.3	31.7	▲ 0.7	34,055	2.9	108.1	2.2
山梨	9.9	1.7	31.4	▲ 0.4	33,669	1.1	105.9	0.7
長野	26.1	▲ 0.2	26.6	▲ 0.2	39,062	1.5	103.9	1.3
岐阜	23.4	▲ 0.4	25.9	▲ 0.5	37,846	2.6	97.9	2.1
静岡	39.3	0.9	28.3	0.3	38,225	1.8	108.1	2.1
愛知	82.3	1.2	25.1	▲ 0.3	39,664	1.9	99.6	1.5
三重	20.2	0.3	30.2	0.9	34,648	1.7	104.6	2.6
滋賀	15.8	1.5	27.5	▲ 1.2	38,720	1.8	106.6	0.6
京都	33.5	1.4	28.8	▲ 0.6	39,519	2.4	113.8	1.8
大阪	118.1	2.4	28.2	▲ 1.7	38,940	2.1	109.8	0.4
兵庫	68.9	1.6	28.7	0.0	38,177	1.9	109.6	2.0
奈良	17.3	2.8	27.9	▲ 0.0	38,442	1.5	107.2	1.4
和歌山	13.0	2.7	31.0	▲ 1.9	35,624	1.2	110.5	▲ 0.7
鳥取	8.3	▲ 1.3	31.8	0.4	35,296	1.1	112.2	1.5
島根	9.6	1.0	33.2	▲ 0.2	34,227	0.8	113.5	0.6
岡山	28.5	1.6	28.7	0.3	37,130	1.2	106.5	1.5
広島	37.8	0.2	32.3	▲ 0.4	34,139	2.0	110.2	1.6
山口	19.3	0.4	42.4	▲ 0.2	30,147	1.7	128.0	1.6
徳島	11.3	1.0	39.3	▲ 0.9	30,513	2.2	120.1	1.3
香川	13.7	0.9	31.7	▲ 1.0	33,941	2.9	107.6	1.9
愛媛	20.3	▲ 0.1	32.7	▲ 0.3	32,710	2.0	106.9	1.6
高知	12.0	0.9	43.5	▲ 0.4	30,818	1.7	133.9	1.3
福岡	75.3	1.0	35.8	▲ 0.5	33,542	1.7	120.2	1.1
佐賀	11.9	0.4	40.9	▲ 0.6	29,613	2.0	121.1	1.4
長崎	22.7	0.8	38.1	▲ 1.0	29,731	1.7	113.2	0.7
熊本	27.7	0.2	39.4	▲ 0.7	29,504	2.9	116.2	2.3
大分	20.0	▲ 0.0	33.7	▲ 0.0	31,231	2.2	105.3	2.2
宮崎	16.3	1.2	35.7	▲ 2.0	29,696	2.4	106.1	0.3
鹿児島	26.3	1.4	42.0	▲ 1.7	28,603	2.7	120.2	0.9
沖縄	19.8	1.8	31.1	▲ 1.7	35,629	2.5	110.9	0.7

- 注1. 都道府県別概算医療費は医療機関所在地の都道府県で分類を行っている。
注2. 医療費には入院時食事療養及び入院時生活療養の費用額が含まれる。
注3. 推計平均在院日数は入院の1件当たり日数から算定した値である。
注4. 推計新規入院件数は入院受診延日数を推計平均在院日数で除して得た値である。
注5. 推計1入院当たり医療費は推計平均在院日数に1日当たり医療費（医科入院）を乗じて得た値である。

報道関係者 各位

平成 30 年 9 月 21 日

【照会先】 保険局調査課

課長 山内 孝一郎 (内線 : 3291)

数理企画官 仲津留 隆 (内線 : 3293)

担当係 医療機関医療費係 (内線 : 3298)

電話 : 03-5253-1111 (代表)

03-3595-2579 (直通)

「平成 29 年度 調剤医療費 (電算処理分) の動向」を公表します

厚生労働省では、毎月、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に把握するために、電算処理分のレセプトを集計し、「調剤医療費 (電算処理分) の動向」として公表しています。

このたび、平成 29 年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

【調査結果のポイント】

- 平成 29 年度の調剤医療費 (電算処理分に限る。以下同様。) は 7 兆 6,664 億円 (伸び率+3.1%) であり、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 9,187 円 (伸び率+1.9%) であった。
その内訳は、技術料が 1 兆 9,122 億円 (伸び率+3.4%)、薬剤料が 5 兆 7,413 億円 (伸び率+2.9%)、特定保険医療材料料が 130 億円 (伸び率+1.6%) であり、薬剤料のうち、後発医薬品が 1 兆 92 億円 (伸び率+16.9%) であった。【表 1、表 2】
- 処方せん 1 枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75 歳以上では 11,173 円と、0 歳以上 5 歳未満の 3,275 円の約 3.41 倍であった。【表 3】
- 後発医薬品割合は、平成 29 年度末で数量ベース (新指標) が 73.0% (伸び幅+4.4%)、数量ベース (旧指標) が 50.2% (伸び幅+4.8%)、薬剤料ベースが 19.0% (伸び幅+3.0%)、後発医薬品調剤率が 70.8% (伸び幅+3.4%) であった。【表 4】
- 内服薬の処方せん 1 枚当たり薬剤料の伸び率は+0.8%となっており、この伸び率を「処方せん 1 枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「1 種類当たり投薬日数の伸び率」、「1 種類 1 日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々▲1.0%、+2.1%、▲0.4%であった。【表 5】
- 平成 29 年度の調剤医療費を処方せん発行元医療機関別にみると、医科では病院が 3 兆 1,372 億円 (伸び率+2.0%)、診療所が 4 兆 5,048 億円 (伸び率+3.8%) であり、平成 29 年度末の後発医薬品割合は、数量ベース (新指標) で、病院が 73.3% (伸び幅+4.3%)、診療所が 72.8% (伸び幅+4.4%) であった。また、後発医薬品割合 (数量ベース、新指標) を制度別でみた場合、最も高かったのは公費の 76.8% (伸び幅+3.4%)、もっとも低かったのが後期高齢者で 70.7% (伸び幅+4.3%) であった。【表 1 4、表 1 5】
- 平成 29 年度末の後発医薬品割合を、数量ベース (新指標) の算出対象となる医薬品について、薬効大分類別にみると、薬効大分類別の構成割合が最も大きい循環器官用薬は 74.1%、次いで大きい消化器官用薬は 83.6%であった。【表 1 6】

「平成 29 年度 調剤医療費 (電算処理分) の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス (<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/database/>)

調剤医療費(電算処理分)の動向の概要 ～平成29年度版～

1. 調剤医療費の全数と電算処理分の比較

平成29年度の調剤医療費(電算処理分に限る。以下同様。)は7兆6,664億円(対前年度同期比(伸び率という。以下同様)+3.1%)で、処方せん1枚当たり調剤医療費は9,187円(+1.9%)であった。

なお、電算処理割合は、平成21年度以降、医療費ベース、処方せん枚数ベースともに99%に達しており、処方せん1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1%程度と小さい。

表1 調剤医療費総額、処方せん枚数及び処方せん1枚当たり調剤医療費

		実数							対前年度比(%)					
		平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
全数	調剤医療費(億円)	65,601	66,431	70,380	71,987	78,746	74,953	77,129	1.3	5.9	2.3	9.4	▲ 4.8	2.9
	処方せん枚数(万枚)	77,851	78,986	79,430	80,831	82,372	82,999	83,886	1.5	0.6	1.8	1.9	0.8	1.1
	1枚当たり調剤医療費(円)	8,426	8,410	8,861	8,906	9,560	9,031	9,195	▲ 0.2	5.4	0.5	7.3	▲ 5.5	1.8
電算 処理 分	調剤医療費(億円)	65,133	65,902	69,933	71,515	78,192	74,395	76,664	1.2	6.1	2.3	9.3	▲ 4.9	3.1
	電算化率(%)	99.3	99.2	99.4	99.3	99.3	99.3	99.4	—	—	—	—	—	—
	処方せん枚数(万枚)	77,289	78,452	78,958	80,359	81,912	82,527	83,445	1.5	0.6	1.8	1.9	0.8	1.1
	電算化率(%)	99.3	99.3	99.4	99.4	99.4	99.4	99.5	—	—	—	—	—	—
	1枚当たり調剤医療費(円)	8,427	8,400	8,857	8,899	9,546	9,015	9,187	▲ 0.3	5.4	0.5	7.3	▲ 5.6	1.9
	電算処理分/全数	1.000	0.999	1.000	0.999	0.999	0.998	0.999	—	—	—	—	—	—

2. 調剤医療費の内訳

調剤医療費の内訳は、技術料が1兆9,122億円(伸び率+3.4%)、薬剤料が5兆7,413億円(+2.9%)で、特定保険医療材料料が130億円(+1.6%)であった。

処方せん1枚当たり調剤医療費は9,187円(伸び率+1.9%)で、その内訳は、技術料が2,292円(+2.3%)、薬剤料が6,880円(+1.8%)で、特定保険医療材料料が16円(+0.5%)であった。

構成割合は技術料が24.9%、薬剤料が74.9%、特定保険医療材料料が0.2%であった。

表2-1 調剤医療費の内訳(総額)

	実数(億円)							対前年度比(%)					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
調剤医療費	65,133	65,902	69,933	71,515	78,192	74,395	76,664	1.2	6.1	2.3	9.3	▲4.9	3.1
技術料	16,435	17,020	17,371	17,682	18,283	18,490	19,122	3.6	2.1	1.8	3.4	1.1	3.4
調剤技術料	13,530	13,868	14,205	14,572	15,122	14,834	15,423	2.5	2.4	2.6	3.8	▲1.9	4.0
調剤基本料	4,509	4,738	4,897	4,988	5,336	5,055	5,478	5.1	3.4	1.9	7.0	▲5.3	8.4
調剤料	7,730	7,915	8,065	8,257	8,425	8,415	8,554	2.4	1.9	2.4	2.0	▲0.1	1.7
加算料	1,291	1,215	1,243	1,327	1,361	1,364	1,391	▲5.9	2.3	6.7	2.6	0.2	2.0
薬学管理料	2,905	3,152	3,166	3,110	3,161	3,656	3,699	8.5	0.4	▲1.8	1.6	15.7	1.2
薬剤料	48,590	48,771	52,444	53,711	59,783	55,778	57,413	0.4	7.5	2.4	11.3	▲6.7	2.9
内服薬薬剤料	40,881	40,729	43,755	44,460	49,762	45,838	46,712	▲0.4	7.4	1.6	11.9	▲7.9	1.9
屯服薬他薬剤料	369	368	382	384	396	378	381	▲0.2	3.9	0.4	3.1	▲4.4	0.9
注射薬薬剤料	1,555	1,719	1,959	2,208	2,461	2,563	2,884	10.5	14.0	12.7	11.5	4.1	12.5
外用薬薬剤料	5,784	5,955	6,348	6,660	7,164	6,998	7,436	2.9	6.6	4.9	7.6	▲2.3	6.3
(再掲)後発医薬品薬剤料	4,203	4,958	5,999	7,195	8,502	8,636	10,092	18.0	21.0	19.9	18.2	1.6	16.9
特定保険医療材料料	108	112	118	122	126	128	130	1.0	5.4	3.6	3.8	0.9	1.6

注1)「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

注2)「調剤基本料」には、基準調剤加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注3)「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」もしくは「一包」である薬剤をいう。

注4)「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注5) 調剤医療費及び処方せん枚数(受付回数)の電算化率が99.0%を超えた平成21年度以降を公表の対象範囲としている。

表2-2 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

	実数(円)							対前年度比(%)					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
調剤医療費	8,427	8,400	8,857	8,899	9,546	9,015	9,187	▲0.3	5.4	0.5	7.3	▲5.6	1.9
技術料	2,126	2,169	2,200	2,200	2,232	2,240	2,292	2.0	1.4	0.0	1.4	0.4	2.3
構成割合(%)	25.2	25.8	24.8	24.7	23.4	24.9	24.9	—	—	—	—	—	—
調剤技術料	1,751	1,768	1,799	1,813	1,846	1,797	1,848	1.0	1.8	0.8	1.8	▲2.6	2.8
調剤基本料	583	604	620	621	651	612	656	3.5	2.7	0.1	5.0	▲6.0	7.2
調剤料	1,000	1,009	1,021	1,028	1,029	1,020	1,025	0.9	1.2	0.6	0.1	▲0.9	0.5
加算料	167	155	157	165	166	165	167	▲7.3	1.7	4.9	0.6	▲0.5	0.8
薬学管理料	376	402	401	387	386	443	443	6.9	▲0.2	▲3.5	▲0.3	14.8	0.1
薬剤料	6,287	6,217	6,642	6,684	7,299	6,759	6,880	▲1.1	6.8	0.6	9.2	▲7.4	1.8
構成割合(%)	74.6	74.0	75.0	75.1	76.5	75.0	74.9	—	—	—	—	—	—
内服薬薬剤料	5,289	5,192	5,542	5,533	6,075	5,554	5,598	▲1.8	6.7	▲0.2	9.8	▲8.6	0.8
屯服薬他薬剤料	48	47	48	48	48	46	46	▲1.7	3.2	▲1.4	1.2	▲5.1	▲0.3
注射薬薬剤料	201	219	248	275	300	311	346	8.9	13.2	10.7	9.4	3.4	11.3
外用薬薬剤料	748	759	804	829	875	848	891	1.4	5.9	3.1	5.5	▲3.0	5.1
(再掲)後発医薬品薬剤料	544	632	760	895	1,038	1,046	1,209	16.2	20.2	17.9	15.9	0.8	15.6
特定保険医療材料料	14	14	15	15	15	15	16	1.8	4.7	1.8	1.8	0.1	0.5
構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	—	—

3. 年齢階級別の状況

処方せん1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75歳以上では11,173円と、0歳以上5歳未満の3,275円の約3.41倍となっていた。

表3 年齢階級別処方せん1枚当たり調剤医療費

	実数(円)							対前年度比(%)						
	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	
総数	8,427	8,400	8,857	8,899	9,546	9,015	9,187	▲ 0.3	5.4	0.5	7.3	▲ 5.6	1.9	
0歳以上5歳未満	3,206	3,200	3,255	3,245	3,328	3,250	3,275	▲ 0.2	1.7	▲ 0.3	2.5	▲ 2.3	0.7	
5歳以上10歳未満	4,451	4,445	4,608	4,626	4,761	4,605	4,725	▲ 0.2	3.7	0.4	2.9	▲ 3.3	2.6	
10歳以上15歳未満	5,225	5,289	5,624	5,688	5,869	5,742	6,024	1.2	6.3	1.1	3.2	▲ 2.2	4.9	
15歳以上20歳未満	5,512	5,526	5,785	5,883	6,058	5,937	6,261	0.3	4.7	1.7	3.0	▲ 2.0	5.5	
20歳以上25歳未満	5,585	5,600	5,846	5,880	6,063	5,980	6,230	0.3	4.4	0.6	3.1	▲ 1.4	4.2	
25歳以上30歳未満	5,909	5,940	6,165	6,198	6,439	6,290	6,544	0.5	3.8	0.5	3.9	▲ 2.3	4.0	
30歳以上35歳未満	6,290	6,323	6,566	6,606	6,897	6,734	6,930	0.5	3.8	0.6	4.4	▲ 2.4	2.9	
35歳以上40歳未満	6,939	6,966	7,282	7,303	7,617	7,410	7,585	0.4	4.5	0.3	4.3	▲ 2.7	2.4	
40歳以上45歳未満	7,719	7,761	8,117	8,158	8,592	8,347	8,467	0.5	4.6	0.5	5.3	▲ 2.9	1.4	
45歳以上50歳未満	8,231	8,261	8,673	8,729	9,354	9,059	9,185	0.4	5.0	0.7	7.2	▲ 3.2	1.4	
50歳以上55歳未満	8,704	8,668	9,053	9,069	9,888	9,390	9,487	▲ 0.4	4.4	0.2	9.0	▲ 5.0	1.0	
55歳以上60歳未満	9,180	9,119	9,526	9,530	10,434	9,816	9,860	▲ 0.7	4.5	0.1	9.5	▲ 5.9	0.4	
60歳以上65歳未満	9,537	9,452	9,880	9,874	10,775	10,063	10,131	▲ 0.9	4.5	▲ 0.1	9.1	▲ 6.6	0.7	
65歳以上70歳未満	9,767	9,708	10,182	10,178	11,124	10,370	10,446	▲ 0.6	4.9	▲ 0.0	9.3	▲ 6.8	0.7	
70歳以上75歳未満	9,981	9,870	10,366	10,434	11,409	10,614	10,763	▲ 1.1	5.0	0.7	9.3	▲ 7.0	1.4	
75歳以上	10,541	10,427	10,978	11,010	11,730	10,948	11,173	▲ 1.1	5.3	0.3	6.5	▲ 6.7	2.1	

4. 後発医薬品割合の推移及び後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

平成25年4月に公表された「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」に基づく後発医薬品割合(数量ベース、新指標)では、平成29年度末の後発医薬品割合は73.0%(対前年同期差(伸び幅という。以下同様)+4.4%)であった。数量ベース(旧指標)は50.2%(+4.8%)、薬剤料ベースは19.0%(+3.0%)、後発医薬品調剤率は70.8%(+3.4%)であった。

年度毎の平均でみると、平成29年度の後発医薬品割合は数量ベース(新指標)が70.2%(+3.4%)、数量ベース(旧指標)が47.7%(+3.2%)、薬剤料ベースが17.6%(+2.1%)、後発医薬品調剤率が69.4%(+2.4%)であった。

後発医薬品割合の階級別に保険薬局数の構成割合をみると、数量ベース(新指標)で後発医薬品割合が65%以上の薬局数は平成29年4月で69.9%であったところ、平成30年3月では76.3%となっており、うち75%以上の薬局数は平成29年4月で39.3%であったところ、平成30年3月では56.8%となっていた。

表4-1 平成29年度における後発医薬品割合

(単位:%)

	平成28年度		平成29年度											
	4月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
数量ベース(新指標)	64.8	68.6	68.8	69.0	69.2	68.6	69.1	69.6	69.4	70.2	70.9	71.9	72.5	73.0
数量ベース(旧指標)	43.1	45.4	45.7	45.8	46.0	46.4	46.8	47.3	48.1	48.3	48.6	49.4	49.7	50.2
薬剤料ベース	14.6	16.1	16.2	16.2	16.4	16.8	16.9	17.5	18.1	18.3	18.4	18.4	18.6	19.0
後発医薬品調剤率	65.7	67.4	67.7	67.6	67.3	67.4	68.0	68.7	70.0	70.3	70.7	72.2	71.7	70.8

表4-2 年度毎にみた後発医薬品割合

(単位:%)

	実数							対前年度差						
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
数量ベース(新指標)	-	-	47.9	56.4	60.1	66.8	70.2	・	・	8.5	3.7	6.8	3.4	
数量ベース(旧指標)	23.4	28.7	31.1	37.0	40.2	44.5	47.7	5.2	2.4	5.9	3.2	4.3	3.2	
薬剤料ベース	8.6	10.2	11.4	13.4	14.2	15.5	17.6	1.5	1.3	2.0	0.8	1.3	2.1	
後発医薬品調剤率	48.6	52.6	55.0	60.8	63.1	67.0	69.4	4.1	2.3	5.8	2.3	3.9	2.4	

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 「新指標」は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。その際、新たに後発医薬品が販売される先発医薬品は、平成26年度より、薬価収載の翌月(平成25年度は薬価収載月(6月と12月))以降、医療課長通知*に基づき算出式の分母に算入することとしている。そのため、算出式の分母となる医薬品数量が一時に増え、新指標による後発医薬品割合が低くなることもある。

*厚生労働省ホームページ「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について」中の「5. その他(各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報)」を参照。

注3) 「後発医薬品調剤率」とは、全処方せん受付回数に対する後発医薬品を調剤した処方せん受付回数の割合をいう。

注4) 旧指標とは、平成24年度までの後発医薬品割合(数量ベース)の算出方法をいう。

注5) 旧指標による算出では、平成22年4月以降は、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤を除外し、平成24年4月以降は、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤を除外している。

注6) 「・」は算出できないものを示す。

表4-3 後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

(単位:%)

	平成28年度		平成29年度											
	4月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
割合	10%未満	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	10%以上 20%未満	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4
	20%以上 30%未満	2.7	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.3	1.2	1.2
	30%以上 40%未満	5.6	4.2	4.0	4.0	3.8	3.9	3.8	3.6	3.7	3.5	3.3	3.1	3.0
	40%以上 50%未満	9.4	7.2	7.0	7.0	6.9	7.0	6.7	6.5	6.6	6.1	5.9	5.5	5.3
	50%以上 60%未満	12.1	10.2	10.2	10.0	9.9	10.1	9.9	9.7	9.6	9.5	9.2	8.7	8.7
	60%以上 65%未満	9.5	6.5	6.4	6.5	6.4	6.8	6.5	6.1	6.1	5.7	5.6	5.4	5.4
	65%以上 70%未満	16.0	13.2	13.1	13.0	12.8	14.2	13.5	12.5	12.9	11.5	10.1	8.6	8.0
	70%以上 75%未満	16.8	17.7	17.5	17.5	17.5	17.2	17.2	17.3	17.2	17.1	16.7	15.5	13.8
	75%以上 80%未満	14.6	18.0	18.5	18.7	19.0	19.6	19.7	19.7	20.2	20.2	20.0	19.9	20.2
80%以上 90%未満	11.0	18.5	18.8	19.0	19.4	17.3	18.6	20.3	19.6	22.1	24.7	28.5	30.5	
90%以上	1.1	1.9	2.0	2.0	1.9	1.7	1.8	2.0	1.8	2.2	2.5	3.0	3.4	
合計	65%未満	40.5	30.7	30.1	29.9	29.4	30.1	29.3	28.2	28.2	27.0	25.9	24.5	24.0
	65%以上	59.5	69.3	69.9	70.1	70.6	69.9	70.7	71.8	71.8	73.0	74.1	75.5	76.0
	65%以上 75%未満	32.8	30.9	30.6	30.4	30.4	31.4	30.7	29.8	30.1	28.6	26.8	24.1	21.8
	75%以上	26.7	38.4	39.3	39.7	40.2	38.5	40.0	42.0	41.7	44.5	47.2	51.4	54.1

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

5. 内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料5,590円を、処方せん1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.81、23.6日、84円となっていた。

また、内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率+0.8%を、処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率、1種類当たり投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々▲1.0%、+2.1%、▲0.4%となっていた。

表5 内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数							対前年度比(%)					
	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料(円)	5,283	5,180	5,528	5,526	6,068	5,548	5,590	▲ 1.9	6.7	▲ 0.0	9.8	▲ 8.6	0.8
処方せん1枚当たり薬剤種類数	2.90	2.90	2.90	2.88	2.86	2.83	2.81	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.0
1種類当たり投薬日数(日)	20.5	21.1	21.8	22.3	22.8	23.1	23.6	3.1	3.5	2.3	1.9	1.5	2.1
1種類1日当たり薬剤料(円)	89	85	87	86	93	85	84	▲ 4.7	3.2	▲ 1.9	8.6	▲ 9.1	▲ 0.4

6-1. 薬効分類別の状況(1)(内服薬薬剤料総額)

内服薬の薬剤料(総額)を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が9,759億円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が8,147億円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が+10.8%と最も高く、化学療法剤が▲23.7%と最も低い。

後発医薬品については、循環器官用薬が2,732億円と最も高く、次いで消化器官用薬が1,333億円となっている。伸び率は、循環器官用薬が+28.2%と最も高く、ビタミン剤が▲1.5%と最も低い。

表6-1 内服薬 薬効分類別 薬剤料

	総額(億円)			後発医薬品(億円)(再掲)			対前年度比(%)		後発医薬品(再掲)	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度
内服薬 総数	49,707	45,784	46,645	7,568	7,654	8,977	▲7.9	1.9	1.1	17.3
11 中枢神経系用薬	7,937	7,666	8,147	826	883	1,002	▲3.4	6.3	7.0	13.4
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	592	539	545	139	144	155	▲9.0	1.2	3.5	7.7
114 解熱鎮痛消炎剤	989	991	1,031	106	119	129	0.2	4.0	12.1	9.2
116 抗パーキンソン剤	684	690	709	28	34	45	0.9	2.7	21.4	32.3
117 精神神経用剤	2,607	2,516	2,679	211	272	329	▲3.5	6.5	29.2	20.8
119 その他中枢神経系用薬	2,422	2,286	2,448	303	270	292	▲5.6	7.1	▲11.0	8.5
21 循環器官用薬	11,011	9,935	9,759	2,170	2,130	2,732	▲9.8	▲1.8	▲1.9	28.2
212 不整脈用剤	511	443	431	104	111	127	▲13.3	▲2.8	7.2	13.7
214 血圧降下剤	4,953	4,354	4,036	661	692	1,039	▲12.1	▲7.3	4.6	50.3
217 血管拡張剤	1,298	1,082	1,072	648	598	642	▲16.7	▲0.9	▲7.8	7.4
218 高脂血症用剤	2,858	2,653	2,645	610	558	730	▲7.2	▲0.3	▲8.5	30.8
22 呼吸器官用薬	483	448	435	160	178	189	▲7.2	▲2.9	11.3	6.2
23 消化器官用薬	4,150	3,902	4,132	1,307	1,285	1,333	▲6.0	5.9	▲1.7	3.7
232 消化性潰瘍用剤	2,872	2,635	2,781	916	859	883	▲8.2	5.5	▲6.2	2.8
239 その他の消化器官用薬	586	544	579	86	109	120	▲7.1	6.4	25.9	10.1
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	1,356	1,316	1,367	128	129	137	▲3.0	3.9	0.9	5.9
31 ビタミン剤	933	927	971	303	276	272	▲0.7	4.8	▲9.0	▲1.5
32 滋養強壮薬	513	502	514	32	35	39	▲2.1	2.4	10.1	10.2
325 蛋白アミノ酸製剤	439	427	435	16	16	17	▲2.9	1.8	1.3	8.9
33 血液・体液用薬	3,548	3,243	3,456	653	727	809	▲8.6	6.6	11.3	11.3
39 その他の代謝性医薬品	6,365	6,330	6,807	693	660	754	▲0.6	7.5	▲4.7	14.2
396 糖尿病用剤	3,133	3,158	3,416	268	212	241	0.8	8.2	▲20.8	13.6
399 他に分類されない代謝性医薬品	2,555	2,537	2,734	315	349	401	▲0.7	7.8	10.7	14.9
42 腫瘍用薬	2,821	2,906	3,221	272	259	323	3.0	10.8	▲4.6	24.4
422 代謝拮抗剤	425	392	350	5	5	42	▲7.9	▲10.7	1.6	691.2
429 その他の腫瘍用薬	2,332	2,453	2,811	266	254	279	5.2	14.6	▲4.5	10.0
44 アレルギー用薬	2,871	2,523	2,487	562	623	819	▲12.1	▲1.4	10.8	31.5
52 漢方製剤	1,106	1,114	1,170	-	-	-	0.7	5.1	-	-
61 抗生物質製剤	888	772	711	212	215	223	▲13.1	▲7.9	1.7	3.6
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	415	354	321	85	88	92	▲14.8	▲9.1	3.3	5.3
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	351	287	251	116	113	110	▲18.3	▲12.7	▲2.2	▲2.9
62 化学療法剤	4,751	3,229	2,463	189	173	205	▲32.0	▲23.7	▲8.2	18.4
624 合成抗菌剤	404	336	303	80	71	73	▲16.9	▲9.8	▲11.0	2.4
625 抗ウイルス剤	4,139	2,706	1,969	50	49	75	▲34.6	▲27.2	▲2.1	53.9

注1) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

注2) 「-」は0を意味する。

6-2. 薬効分類別の状況(2)(内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が1,169円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が976円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が+9.6%と最も高く、化学療法剤が▲24.5%と最も低い。

表6-2 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)					
	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
内服薬 総数	5,283	5,180	5,528	5,526	6,068	5,548	5,590	▲ 1.9	6.7	▲ 0.0	9.8	▲ 8.6	0.8
11 中枢神経系用薬	792	815	895	923	969	929	976	2.9	9.8	3.1	5.0	▲ 4.1	5.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	88	83	84	74	72	65	65	▲ 5.6	0.5	▲ 11.6	▲ 2.2	▲ 9.7	0.1
114 解熱鎮痛消炎剤	97	99	110	116	121	120	124	1.9	10.6	6.2	3.7	▲ 0.5	2.9
116 抗パーキンソン剤	70	71	76	80	84	84	85	0.8	7.0	5.1	4.8	0.1	1.5
117 精神神経用剤	276	281	300	306	318	305	321	1.8	6.9	2.1	4.0	▲ 4.2	5.3
119 その他中枢神経系用薬	215	227	263	276	296	277	293	5.3	15.9	5.0	7.1	▲ 6.3	5.9
21 循環器官用薬	1,471	1,382	1,445	1,347	1,344	1,204	1,169	▲ 6.0	4.6	▲ 6.8	▲ 0.2	▲ 10.4	▲ 2.9
212 不整脈用剤	78	71	71	65	62	54	52	▲ 9.2	0.9	▲ 9.3	▲ 3.4	▲ 13.9	▲ 3.8
214 血圧降下剤	688	654	683	629	605	528	484	▲ 4.9	4.4	▲ 8.0	▲ 3.8	▲ 12.8	▲ 8.3
217 血管拡張剤	226	195	193	165	159	131	128	▲ 13.8	▲ 1.1	▲ 14.7	▲ 3.8	▲ 17.3	▲ 2.0
218 高脂血症用剤	358	335	357	336	349	321	317	▲ 6.5	6.5	▲ 5.9	4.0	▲ 7.9	▲ 1.4
22 呼吸器官用薬	70	64	63	58	59	54	52	▲ 8.4	▲ 2.0	▲ 7.5	1.2	▲ 7.9	▲ 3.9
23 消化器官用薬	517	485	519	494	507	473	495	▲ 6.4	7.2	▲ 4.8	2.5	▲ 6.7	4.7
232 消化性潰瘍用剤	379	346	371	342	351	319	333	▲ 8.8	7.3	▲ 7.7	2.4	▲ 8.9	4.4
239 その他の消化器官用薬	71	70	73	72	72	66	69	▲ 0.5	4.4	▲ 1.8	▲ 0.7	▲ 7.8	5.2
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	149	147	156	160	166	159	164	▲ 1.3	5.9	2.4	3.7	▲ 3.7	2.8
31 ビタミン剤	100	98	107	109	114	112	116	▲ 1.8	9.0	2.5	4.2	▲ 1.4	3.7
32 滋養強壮薬	65	62	64	62	63	61	62	▲ 4.7	2.6	▲ 2.2	0.3	▲ 2.8	1.3
325 蛋白アミノ酸製剤	57	55	56	54	54	52	52	▲ 4.6	2.3	▲ 3.5	▲ 0.6	▲ 3.6	0.7
33 血液・体液用薬	342	350	392	414	433	393	414	2.3	12.0	5.6	4.6	▲ 9.3	5.4
39 その他の代謝性医薬品	599	630	711	727	777	767	816	5.2	12.8	2.2	6.9	▲ 1.3	6.4
396 糖尿病用剤	261	287	340	351	382	383	409	10.1	18.4	3.2	9.1	0.0	7.0
399 他に分類されない代謝性医薬品	266	271	293	296	312	307	328	1.6	8.3	1.1	5.3	▲ 1.5	6.6
42 腫瘍用薬	264	264	281	304	344	352	386	▲ 0.2	6.7	8.1	13.2	2.2	9.6
422 代謝拮抗剤	65	61	60	54	52	47	42	▲ 5.3	▲ 1.0	▲ 11.3	▲ 3.2	▲ 8.6	▲ 11.7
429 その他の腫瘍用薬	191	194	213	242	285	297	337	1.6	9.4	14.0	17.5	4.4	13.3
44 アレルギー用薬	372	357	353	341	351	306	298	▲ 4.3	▲ 1.0	▲ 3.3	2.7	▲ 12.8	▲ 2.5
52 漢方製剤	111	118	125	130	135	135	140	6.1	5.5	4.4	3.7	▲ 0.1	3.9
61 抗生物質製剤	140	125	123	111	108	93	85	▲ 10.9	▲ 1.6	▲ 9.2	▲ 2.7	▲ 13.8	▲ 8.9
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	63	57	56	52	51	43	39	▲ 9.8	▲ 2.7	▲ 7.0	▲ 1.9	▲ 15.4	▲ 10.1
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	65	56	52	43	43	35	30	▲ 14.1	▲ 7.7	▲ 16.4	▲ 0.8	▲ 18.9	▲ 13.7
62 化学療法剤	187	180	186	227	580	391	295	▲ 3.6	3.2	22.2	155.1	▲ 32.5	▲ 24.5
624 合成抗菌剤	57	57	55	52	49	41	36	0.0	▲ 2.3	▲ 5.6	▲ 5.7	▲ 17.6	▲ 10.8
625 抗ウイルス剤	94	92	99	148	505	328	236	▲ 2.5	8.0	48.4	242.5	▲ 35.1	▲ 28.0

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

7. 薬効分類別の状況(3)(内服薬 処方せん1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.60と最も多く、次いで中枢神経系用薬が0.45となっている。伸び率は、漢方製剤が+3.1%で最も高く、抗生物質製剤が▲9.1%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤種類数

	実数							対前年度比(%)						
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
内服薬 総数	2.90	2.90	2.90	2.88	2.86	2.83	2.81	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.0	
11 中枢神経系用薬	0.46	0.46	0.47	0.46	0.46	0.45	0.45	▲ 0.1	1.5	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.7	0.1	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	0.14	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	▲ 1.8	0.1	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 2.4	▲ 1.8	
114 解熱鎮痛消炎剤	0.10	0.10	0.10	0.11	0.11	0.10	0.10	0.5	1.0	0.5	▲ 0.0	▲ 1.0	0.1	
116 抗パーキンソン剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	▲ 2.0	0.5	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 2.0	▲ 2.4	
117 精神神経用剤	0.13	0.12	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12	▲ 1.8	0.7	▲ 1.9	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 0.1	
119 その他中枢神経系用薬	0.02	0.03	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	22.6	17.0	12.3	9.8	8.7	8.1	
21 循環器官用薬	0.62	0.62	0.62	0.61	0.61	0.60	0.60	▲ 0.3	1.2	▲ 1.4	▲ 1.5	▲ 0.3	▲ 0.4	
212 不整脈用剤	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	1.2	3.7	1.8	1.4	2.6	2.5	
214 血圧降下剤	0.22	0.22	0.22	0.21	0.21	0.21	0.20	0.1	0.8	▲ 2.5	▲ 2.3	▲ 1.1	▲ 1.4	
217 血管拡張剤	0.16	0.15	0.15	0.15	0.14	0.14	0.14	▲ 2.5	▲ 0.7	▲ 2.4	▲ 2.3	▲ 0.6	▲ 0.6	
218 高脂血症用剤	0.12	0.13	0.13	0.14	0.14	0.14	0.14	2.7	4.5	1.5	1.2	1.6	1.3	
22 呼吸器官用薬	0.27	0.27	0.26	0.26	0.26	0.27	0.25	▲ 1.3	▲ 3.0	▲ 0.3	1.5	1.2	▲ 4.1	
23 消化器官用薬	0.48	0.49	0.48	0.48	0.47	0.46	0.45	0.8	▲ 0.7	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 2.3	
232 消化性潰瘍用剤	0.25	0.25	0.25	0.24	0.24	0.23	0.23	▲ 0.4	0.2	▲ 2.0	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 2.3	
239 その他の消化器官用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	4.3	▲ 2.5	▲ 2.6	▲ 2.4	▲ 1.3	▲ 2.7	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	2.4	1.9	2.2	1.5	0.9	0.6	
31 ビタミン剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	▲ 5.5	0.6	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 0.9	0.1	
32 滋養強壮薬	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	▲ 1.7	0.9	1.6	1.0	2.3	1.9	
325 蛋白アミノ酸製剤	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	3.8	3.7	1.1	1.2	2.9	2.3	
33 血液・体液用薬	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.5	1.7	▲ 0.1	▲ 0.5	1.2	0.1	
39 その他の代謝性医薬品	0.21	0.22	0.23	0.23	0.23	0.22	0.22	1.5	3.6	2.2	▲ 0.6	▲ 4.8	0.9	
396 糖尿病用剤	0.10	0.10	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12	4.9	7.1	5.5	1.5	0.8	1.3	
399 他に分類されない代謝性医薬品	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.9	0.9	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 1.1	▲ 1.0	
42 腫瘍用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	▲ 2.0	1.2	1.3	1.4	0.9	0.9	
422 代謝拮抗剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	▲ 6.1	▲ 2.2	▲ 4.5	▲ 4.1	▲ 3.9	▲ 3.4	
429 その他の腫瘍用薬	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.4	3.1	4.6	4.4	3.2	2.7	
44 アレルギー用薬	0.21	0.21	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	▲ 0.3	▲ 3.5	1.1	▲ 1.1	▲ 0.1	1.3	
52 漢方製剤	0.07	0.07	0.07	0.08	0.08	0.08	0.08	7.4	3.5	3.6	3.1	3.0	3.1	
61 抗生物質製剤	0.13	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	0.10	▲ 4.0	▲ 4.0	▲ 2.0	▲ 0.8	▲ 4.3	▲ 9.1	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06	▲ 2.9	▲ 2.0	▲ 0.8	▲ 1.2	▲ 5.7	▲ 7.1	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	▲ 6.3	▲ 7.3	▲ 4.3	0.9	▲ 3.3	▲ 13.0	
62 化学療法剤	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	1.1	▲ 2.2	0.2	1.6	▲ 3.1	▲ 2.5	
624 合成抗菌剤	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	6.4	▲ 3.8	▲ 1.3	3.0	▲ 2.5	▲ 8.8	
625 抗ウイルス剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	▲ 11.8	0.1	8.2	3.3	▲ 7.0	13.1	

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

8. 薬効分類別の状況(4)(内服薬1種類当たり投薬日数)

内服薬の1種類当たり投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の41.3日であり、最も短いのは抗生物質製剤の6.7日である。伸び率は、アレルギー用薬が+3.8%で最も高く、血液・体液用薬が+0.2%で最も低い。

表8 内服薬薬効分類別1種類当たり投薬日数

	実数(日)							対前年度比(%)						
	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	
内服薬 総数	20.5	21.1	21.8	22.3	22.8	23.1	23.6	3.1	3.5	2.3	1.9	1.5	2.1	
11 中枢神経系用薬	19.6	20.3	20.8	21.4	21.7	21.9	22.1	3.4	2.7	2.6	1.8	0.8	0.9	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	21.5	22.1	22.5	23.0	23.4	23.6	23.9	2.5	2.0	2.2	1.8	1.1	0.9	
114 解熱鎮痛消炎剤	13.8	14.3	14.8	15.3	15.6	15.9	16.2	3.5	4.1	3.3	2.0	1.4	2.1	
116 抗パーキンソン剤	24.9	25.4	25.7	26.5	27.2	27.5	27.8	1.9	1.4	3.1	2.4	1.1	1.3	
117 精神神経用剤	22.3	22.9	23.3	23.8	24.2	24.1	23.9	2.4	1.9	2.0	1.7	▲ 0.4	▲ 0.9	
119 その他中枢神経系用薬	21.0	23.0	23.8	24.5	24.7	25.0	25.3	9.9	3.4	2.9	1.1	1.0	1.0	
21 循環器官用薬	28.6	29.4	30.1	30.8	31.4	31.8	32.3	3.0	2.4	2.2	2.2	1.2	1.5	
212 不整脈用剤	29.1	30.1	30.8	31.5	32.2	32.6	33.0	3.2	2.4	2.2	2.1	1.2	1.3	
214 血圧降下剤	29.4	30.3	31.1	31.7	32.5	32.9	33.4	3.1	2.6	2.2	2.2	1.2	1.6	
217 血管拡張剤	28.7	29.5	30.2	30.9	31.5	31.9	32.4	2.7	2.4	2.1	2.1	1.1	1.5	
218 高脂血症用剤	30.3	31.2	31.9	32.6	33.4	33.8	34.3	3.1	2.2	2.2	2.3	1.2	1.7	
22 呼吸器官用薬	7.9	8.0	8.2	8.3	8.3	8.3	8.5	1.7	2.1	1.3	0.9	▲ 0.1	1.8	
23 消化器官用薬	20.7	21.1	21.9	22.5	22.9	23.2	23.7	1.5	4.0	2.6	1.8	1.3	2.2	
232 消化性潰瘍用剤	22.3	22.9	23.6	24.2	24.6	25.0	25.4	2.6	3.2	2.5	1.6	1.7	1.7	
239 その他の消化器官用薬	19.5	19.2	20.3	21.0	21.5	21.5	22.2	▲ 1.3	5.6	3.5	2.1	0.3	2.8	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	29.4	30.1	31.1	31.7	32.5	33.0	33.4	2.3	3.3	1.8	2.6	1.5	1.2	
31 ビタミン剤	24.0	24.9	25.7	26.4	27.0	27.4	27.9	3.8	3.0	2.6	2.5	1.6	1.7	
32 滋養強壮薬	23.9	24.4	24.8	25.4	25.9	26.1	26.4	1.7	1.9	2.5	2.1	0.6	1.0	
325 蛋白アミノ酸製剤	19.9	20.0	20.2	20.5	20.7	20.4	20.3	0.9	0.9	1.4	0.7	▲ 1.2	▲ 0.3	
33 血液・体液用薬	25.2	25.8	26.4	26.7	27.0	26.9	26.9	2.5	2.2	1.2	1.0	▲ 0.5	0.2	
39 その他の代謝性医薬品	23.8	24.8	25.7	26.3	27.3	28.9	29.4	4.4	3.6	2.3	4.0	5.7	1.7	
396 糖尿病用剤	30.1	31.1	31.8	31.9	32.8	33.3	33.7	3.4	2.2	0.4	2.8	1.4	1.2	
399 他に分類されない代謝性医薬品	14.7	14.6	14.7	14.9	15.3	15.5	15.8	▲ 0.8	0.5	1.9	2.5	1.5	1.9	
42 腫瘍用薬	36.4	37.5	38.5	38.8	39.5	40.6	41.3	3.0	2.6	0.8	2.0	2.7	1.8	
422 代謝拮抗剤	20.0	20.1	20.0	19.9	20.1	20.2	20.3	0.2	▲ 0.3	▲ 0.2	0.7	0.7	0.2	
429 その他の腫瘍用薬	45.9	47.0	47.9	47.6	47.8	48.7	49.1	2.4	2.1	▲ 0.8	0.6	1.7	0.9	
44 アレルギー用薬	14.4	15.1	15.6	16.2	16.7	17.1	17.7	4.9	3.2	3.7	2.9	2.3	3.8	
52 漢方製剤	19.1	19.7	20.2	20.5	20.8	20.8	21.0	3.0	2.7	1.5	1.1	0.3	0.9	
61 抗生物質製剤	5.9	6.1	6.2	6.3	6.4	6.5	6.7	2.5	2.9	1.6	1.1	0.6	3.1	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.5	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8	1.2	1.4	1.0	1.9	0.1	1.2	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	7.2	7.5	7.8	8.0	8.0	8.0	8.5	4.0	4.7	2.6	0.2	▲ 0.0	5.4	
62 化学療法剤	9.4	9.5	9.9	10.1	10.2	10.3	10.6	1.0	3.9	2.0	1.0	1.2	2.7	
624 合成抗菌剤	5.2	5.2	5.3	5.3	5.4	5.4	5.4	▲ 0.4	1.4	0.8	0.6	▲ 0.1	1.4	
625 抗ウイルス剤	9.1	10.1	10.6	11.0	12.0	12.1	11.3	11.5	5.2	4.0	8.5	1.2	▲ 7.3	

注)表示していない項目(薬効)がある。

9. 薬効分類別の状況(5)(内服薬1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の1,582円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の24円であった。

伸び率は、腫瘍用薬が+6.8%で最も高く、化学療法剤が▲24.6%で最も低い。

表9 内服薬薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)					
	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
内服薬 総数	89	85	87	86	93	85	84	▲ 4.7	3.2	▲ 1.9	8.6	▲ 9.1	▲ 0.4
11 中枢神経系用薬	88	88	92	94	97	93	97	▲ 0.4	5.3	1.6	4.0	▲ 4.3	4.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	30	28	28	25	25	23	23	▲ 6.2	▲ 1.5	▲ 10.0	▲ 0.5	▲ 8.5	1.0
114 解熱鎮痛消炎剤	68	67	71	72	73	73	73	▲ 2.0	5.1	2.2	1.8	▲ 0.8	0.7
116 抗パーキンソン剤	159	161	169	178	187	189	194	0.9	4.9	5.4	5.5	1.1	2.6
117 精神神経用剤	97	99	103	105	109	107	113	1.2	4.1	2.0	3.9	▲ 2.1	6.3
119 その他中枢神経系用薬	415	325	311	283	273	233	226	▲ 21.8	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 3.5	▲ 14.7	▲ 3.1
21 循環器官用薬	83	76	77	71	71	63	60	▲ 8.4	0.9	▲ 7.5	▲ 0.9	▲ 11.2	▲ 4.0
212 不整脈用剤	96	83	79	69	64	53	49	▲ 13.1	▲ 5.0	▲ 12.8	▲ 6.7	▲ 17.1	▲ 7.4
214 血圧降下剤	109	100	101	93	90	78	72	▲ 7.8	0.9	▲ 7.7	▲ 3.6	▲ 12.9	▲ 8.5
217 血管拡張剤	51	44	43	36	35	29	28	▲ 13.9	▲ 2.7	▲ 14.4	▲ 3.6	▲ 17.7	▲ 2.9
218 高脂血症用剤	95	84	83	76	76	68	65	▲ 11.7	▲ 0.4	▲ 9.3	0.4	▲ 10.4	▲ 4.3
22 呼吸器官用薬	33	30	30	27	27	25	24	▲ 8.7	▲ 1.0	▲ 8.4	▲ 1.2	▲ 8.8	▲ 1.6
23 消化器官用薬	52	47	49	46	47	44	47	▲ 8.6	3.7	▲ 5.6	2.5	▲ 6.0	4.9
232 消化性潰瘍用剤	68	61	63	58	59	55	58	▲ 10.7	3.8	▲ 8.1	2.8	▲ 7.8	5.0
239 その他の消化器官用薬	92	89	90	88	87	81	86	▲ 3.3	1.4	▲ 2.7	▲ 0.4	▲ 6.8	5.1
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	141	133	134	132	131	123	125	▲ 5.7	0.6	▲ 1.5	▲ 0.5	▲ 6.0	1.0
31 ビタミン剤	40	40	42	42	43	42	43	0.0	5.1	0.4	2.6	▲ 2.1	1.8
32 滋養強壮薬	110	105	105	98	96	90	89	▲ 4.7	▲ 0.2	▲ 6.0	▲ 2.8	▲ 5.6	▲ 1.6
325 蛋白アミノ酸製剤	581	529	518	487	475	451	445	▲ 8.8	▲ 2.2	▲ 6.0	▲ 2.4	▲ 5.1	▲ 1.3
33 血液・体液用薬	97	97	104	109	113	102	107	▲ 0.7	7.8	4.4	4.1	▲ 9.9	5.0
39 その他の代謝性医薬品	118	117	123	120	124	122	126	▲ 0.8	5.1	▲ 2.2	3.4	▲ 2.0	3.7
396 糖尿病用剤	90	91	99	96	101	99	103	1.5	8.2	▲ 2.5	4.5	▲ 2.1	4.4
399 他に分類されない代謝性医薬品	331	336	358	362	377	370	391	1.5	6.7	1.0	4.2	▲ 1.9	5.6
42 腫瘍用薬	1,274	1,259	1,295	1,370	1,501	1,481	1,582	▲ 1.2	2.8	5.8	9.5	▲ 1.3	6.8
422 代謝拮抗剤	1,741	1,753	1,779	1,656	1,660	1,569	1,433	0.7	1.5	▲ 6.9	0.2	▲ 5.5	▲ 8.7
429 その他の腫瘍用薬	1,156	1,143	1,187	1,305	1,459	1,451	1,586	▲ 1.1	3.9	9.9	11.8	▲ 0.6	9.3
44 アレルギー用薬	123	113	112	103	104	89	82	▲ 8.5	▲ 0.6	▲ 7.7	0.9	▲ 14.7	▲ 7.3
52 漢方製剤	89	86	85	84	84	81	81	▲ 4.1	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 3.3	▲ 0.1
61 抗生物質製剤	187	169	169	154	149	134	130	▲ 9.4	▲ 0.4	▲ 8.8	▲ 3.0	▲ 10.4	▲ 2.8
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	199	182	179	166	162	145	138	▲ 8.2	▲ 2.0	▲ 7.2	▲ 2.6	▲ 10.4	▲ 4.4
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	178	157	149	127	125	105	99	▲ 11.9	▲ 4.9	▲ 14.9	▲ 1.8	▲ 16.1	▲ 5.9
62 化学療法剤	510	482	489	584	1,451	998	752	▲ 5.6	1.5	19.4	148.5	▲ 31.2	▲ 24.6
624 合成抗菌剤	458	433	433	411	375	317	306	▲ 5.6	0.2	▲ 5.1	▲ 8.9	▲ 15.4	▲ 3.5
625 抗ウイルス剤	1,234	1,223	1,254	1,653	5,052	3,482	2,388	▲ 0.9	2.5	31.8	205.5	▲ 31.1	▲ 31.4

注) 表示していない項目(薬効)がある。

10-1. 薬効分類別の状況(6)(内服薬 後発医薬品処方せん1枚当たり薬剤料)

後発医薬品の内服薬について、処方せん1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が327円と最も高く、次いで消化器官用薬が160円となっている。伸び率は、循環器官用薬が+26.8%で最も高く、ビタミン剤が▲2.6%で最も低い。

表10-1 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり後発医薬品薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)					
	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
内服薬 総数	477	564	679	794	924	927	1,076	18.0	20.6	16.8	16.4	0.4	16.0
11 中枢神経系用薬	30	54	74	88	101	107	120	83.5	36.5	18.9	14.1	6.2	12.2
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	6	9	13	15	17	17	19	54.9	38.5	21.0	10.8	2.7	6.5
114 解熱鎮痛消炎剤	7	8	9	12	13	14	16	15.5	14.3	25.9	8.5	11.2	8.0
116 抗パーキンソン剤	2	2	3	3	3	4	5	4.8	19.0	21.5	11.3	20.5	30.9
117 精神神経用剤	8	13	20	22	26	33	39	59.5	49.5	12.3	15.4	28.2	19.5
119 その他中枢神経系用薬	3	19	26	31	37	33	35	441.5	42.3	19.3	17.7	▲11.6	7.3
21 循環器官用薬	120	147	177	219	265	258	327	22.1	20.6	23.9	20.9	▲2.6	26.8
212 不整脈用剤	7	8	9	11	13	14	15	14.5	19.2	18.8	16.0	6.4	12.4
214 血圧降下剤	15	20	27	53	81	84	125	33.7	37.4	95.7	53.0	3.8	48.6
217 血管拡張剤	56	60	70	73	79	72	77	7.1	15.2	4.2	9.1	▲8.5	6.3
218 高脂血症用剤	28	45	56	67	74	68	87	60.2	24.8	18.4	11.9	▲9.2	29.3
22 呼吸器官用薬	10	12	13	17	19	22	23	20.7	10.1	32.8	12.4	10.5	5.1
23 消化器官用薬	95	111	130	146	160	156	160	17.3	16.8	12.4	9.0	▲2.4	2.6
232 消化性潰瘍用剤	65	79	92	102	112	104	106	20.0	16.8	11.4	9.3	▲6.9	1.7
239 その他の消化器官用薬	2	3	6	8	11	13	14	50.2	106.8	45.7	28.4	25.0	8.9
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	10	11	12	12	16	16	16	9.7	11.4	1.8	30.7	0.2	4.8
31 ビタミン剤	46	41	40	38	37	33	33	▲11.4	▲1.2	▲5.5	▲2.8	▲9.7	▲2.6
32 滋養強壮薬	3	3	3	3	4	4	5	6.5	9.5	16.2	13.0	9.3	9.0
325 蛋白アミノ酸製剤	1	1	2	2	2	2	2	0.2	9.7	4.7	11.4	0.5	7.7
33 血液・体液用薬	39	43	51	60	80	88	97	11.4	17.0	18.5	32.4	10.4	10.1
39 その他の代謝性医薬品	49	55	65	73	85	80	90	12.0	19.1	12.3	15.7	▲5.4	13.0
396 糖尿病用剤	23	26	28	28	33	26	29	11.0	8.3	▲1.7	18.3	▲21.4	12.4
399 他に分類されない代謝性医薬品	13	16	24	31	38	42	48	24.3	48.0	29.7	22.1	9.8	13.6
42 腫瘍用薬	18	20	27	28	33	31	39	10.2	33.9	3.8	19.5	▲5.3	23.0
422 代謝拮抗剤	0	0	0	1	1	1	5	▲24.4	7586.0	47.7	▲5.2	0.8	682.5
429 その他の腫瘍用薬	18	20	26	27	32	31	33	10.3	32.0	3.1	20.7	▲5.2	8.8
44 アレルギー用薬	27	34	50	61	69	75	98	24.7	48.6	21.3	12.4	10.0	30.0
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
61 抗生物質製剤	13	15	17	23	26	26	27	20.0	15.6	30.4	13.5	0.9	2.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4	5	6	9	10	11	11	38.7	18.6	41.3	14.7	2.5	4.1
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	8	9	10	13	14	14	13	12.6	14.4	25.8	13.0	▲2.9	▲4.0
62 化学療法剤	14	13	14	17	23	21	25	▲9.2	8.9	25.7	32.9	▲8.9	17.1
624 合成抗菌剤	4	4	3	4	10	9	9	▲15.2	▲5.1	26.4	130.3	▲11.7	1.3
625 抗ウイルス剤	2	1	2	5	6	6	9	▲24.4	60.7	149.6	13.1	▲2.9	52.2

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

10-2. 薬効分類別の状況(7)(内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、呼吸器官用薬の43.4%が最も高く、次いでアレルギー用薬の32.9%となっている。対前年度差は、アレルギー用薬が+8.2%で最も高く、ビタミン剤が▲1.8%で最も低い。

表10-2 内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)							対前年度差(%)						
	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	
内服薬 総数	9.0	10.9	12.3	14.4	15.2	16.7	19.2	1.8	1.4	2.1	0.9	1.5	2.5	
11 中枢神経系用薬	3.7	6.7	8.3	9.6	10.4	11.5	12.3	2.9	1.6	1.3	0.8	1.1	0.8	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	6.7	11.0	15.2	20.8	23.6	26.8	28.5	4.3	4.2	5.6	2.7	3.2	1.7	
114 解熱鎮痛消炎剤	7.4	8.3	8.6	10.2	10.7	12.0	12.5	1.0	0.3	1.6	0.5	1.3	0.6	
116 抗パーキンソン剤	2.9	3.0	3.4	3.9	4.1	5.0	6.4	0.1	0.3	0.5	0.2	0.8	1.4	
117 精神神経用剤	3.0	4.7	6.6	7.3	8.1	10.8	12.3	1.7	1.9	0.7	0.8	2.7	1.5	
119 その他中枢神経系用薬	1.6	8.2	10.0	11.4	12.5	11.8	11.9	6.6	1.9	1.4	1.1	▲ 0.7	0.2	
21 循環器官用薬	8.2	10.6	12.2	16.3	19.7	21.4	28.0	2.4	1.6	4.0	3.4	1.7	6.6	
212 不整脈用剤	8.7	10.9	12.9	16.9	20.4	25.2	29.4	2.3	2.0	4.0	3.4	4.8	4.2	
214 血圧降下剤	2.1	3.0	3.9	8.4	13.3	15.9	25.7	0.9	0.9	4.4	5.0	2.5	9.9	
217 血管拡張剤	24.9	30.9	36.1	44.0	49.9	55.2	59.9	6.0	5.1	8.0	5.9	5.3	4.7	
218 高脂血症用剤	7.8	13.4	15.8	19.8	21.3	21.0	27.6	5.6	2.3	4.1	1.5	▲ 0.3	6.6	
22 呼吸器官用薬	14.0	18.5	20.7	29.8	33.1	39.7	43.4	4.5	2.3	9.0	3.3	6.6	3.7	
23 消化器官用薬	18.4	23.0	25.1	29.6	31.5	32.9	32.3	4.6	2.1	4.5	1.9	1.4	▲ 0.7	
232 消化性潰瘍用剤	17.3	22.7	24.8	29.9	31.9	32.6	31.8	5.5	2.0	5.1	2.0	0.7	▲ 0.8	
239 その他の消化器官用薬	2.6	3.9	7.7	11.4	14.8	20.0	20.7	1.3	3.8	3.7	3.3	5.2	0.7	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	6.4	7.1	7.5	7.5	9.4	9.8	10.0	0.7	0.4	▲ 0.0	1.9	0.4	0.2	
31 ビタミン剤	46.2	41.6	37.7	34.8	32.4	29.7	28.0	▲ 4.5	▲ 3.9	▲ 3.0	▲ 2.3	▲ 2.7	▲ 1.8	
32 滋養強壮薬	3.9	4.4	4.7	5.5	6.2	7.0	7.5	0.5	0.3	0.9	0.7	0.8	0.5	
325 蛋白アミノ酸製剤	2.6	2.7	2.9	3.2	3.5	3.7	4.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	
33 血液・体液用薬	11.4	12.4	13.0	14.6	18.4	22.4	23.4	1.0	0.5	1.6	3.9	4.0	1.0	
39 その他の代謝性医薬品	8.1	8.7	9.1	10.1	10.9	10.4	11.1	0.5	0.5	0.9	0.8	▲ 0.5	0.6	
396 糖尿病用剤	9.0	9.1	8.3	7.9	8.6	6.7	7.1	0.1	▲ 0.8	▲ 0.4	0.7	▲ 1.8	0.3	
399 他に分類されない代謝性医薬品	4.9	6.1	8.3	10.6	12.3	13.7	14.6	1.1	2.2	2.3	1.7	1.4	0.9	
42 腫瘍用薬	6.9	7.6	9.5	9.1	9.6	8.9	10.0	0.7	1.9	▲ 0.4	0.5	▲ 0.7	1.1	
422 代謝拮抗剤	0.0	0.0	0.8	1.3	1.2	1.4	12.1	▲ 0.0	0.7	0.5	▲ 0.0	0.1	10.7	
429 その他の腫瘍用薬	9.4	10.2	12.3	11.1	11.4	10.3	9.9	0.8	2.1	▲ 1.2	0.3	▲ 1.0	▲ 0.4	
44 アレルギー用薬	7.3	9.5	14.3	17.9	19.6	24.7	32.9	2.2	4.8	3.6	1.7	5.1	8.2	
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
61 抗生物質製剤	9.0	12.1	14.2	20.4	23.8	27.9	31.3	3.1	2.1	6.2	3.4	4.1	3.5	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	6.1	9.4	11.5	17.5	20.5	24.8	28.7	3.3	2.1	6.0	3.0	4.3	3.9	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	11.9	15.6	19.3	29.0	33.0	39.5	44.0	3.7	3.7	9.7	4.0	6.5	4.4	
62 化学療法剤	7.5	7.0	7.4	7.6	4.0	5.4	8.3	▲ 0.4	0.4	0.2	▲ 3.7	1.4	3.0	
624 合成抗菌剤	7.3	6.2	6.0	8.1	19.7	21.1	24.0	▲ 1.1	▲ 0.2	2.0	11.6	1.4	2.9	
625 抗ウイルス剤	1.9	1.5	2.2	3.6	1.2	1.8	3.8	▲ 0.4	0.7	1.5	▲ 2.4	0.6	2.0	

注)表示していない項目(薬効)がある。

11. 都道府県別の状況(1)(調剤医療費の内訳)

調剤医療費の内訳を都道府県別にみると、処方せん1枚当たり調剤医療費が最も高い石川県では、技術料の割合が22.7%、薬剤料の割合が77.1%となっていた。一方、最も低い佐賀県では技術料の割合が29.0%、薬剤料の割合が70.9%となっていた。

薬剤料全体の伸び率が+2.9%(最高:沖縄県+6.4%、最低:佐賀県▲0.8%)であるのに対し、後発医薬品の伸び率は+16.9%(最高:徳島県+20.9%、最低:鹿児島県+13.3%)であった。

表11-1 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳

平成29年度

	総 額 (単位:億円)								処方せん1枚当たり (単位:円)				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合 (%)	薬剤料	後発医薬品	構成割合 (%)	特定保険医療材料	構成割合 (%)	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料		
全 国	76,664	19,122	24.9	57,413	10,092	74.9	130	0.2	9,187	2,292	6,880	1,209	16
北海道	3,837	852	22.2	2,979	560	77.6	6	0.2	10,885	2,417	8,451	1,590	17
青 森	971	238	24.5	731	136	75.3	2	0.2	9,492	2,324	7,147	1,334	20
岩 手	861	203	23.6	656	137	76.2	1	0.1	9,961	2,354	7,593	1,584	15
宮 城	1,491	374	25.1	1,114	208	74.7	3	0.2	9,108	2,285	6,807	1,272	16
秋 田	828	187	22.6	639	118	77.2	2	0.2	10,596	2,399	8,176	1,516	21
山 形	718	182	25.4	534	104	74.4	2	0.2	9,218	2,338	6,860	1,338	20
福 島	1,242	299	24.1	941	171	75.8	2	0.1	9,893	2,384	7,497	1,366	12
茨 城	1,768	402	22.7	1,363	236	77.1	3	0.2	10,210	2,321	7,872	1,366	17
栃 木	1,052	263	25.0	788	145	74.8	2	0.1	8,934	2,235	6,686	1,233	13
群 馬	1,014	246	24.3	766	143	75.5	2	0.2	9,447	2,294	7,137	1,331	16
埼 玉	3,957	993	25.1	2,958	543	74.8	6	0.2	8,945	2,245	6,686	1,227	14
千 葉	3,517	847	24.1	2,663	474	75.7	7	0.2	9,325	2,246	7,062	1,258	17
東 京	8,947	2,238	25.0	6,694	1,063	74.8	14	0.2	8,825	2,208	6,603	1,048	14
神奈川	5,581	1,410	25.3	4,163	707	74.6	8	0.1	8,778	2,217	6,548	1,111	13
新 潟	1,391	356	25.6	1,033	204	74.2	3	0.2	9,073	2,320	6,735	1,333	18
富 山	551	129	23.4	421	78	76.4	1	0.2	10,310	2,411	7,876	1,453	22
石 川	650	148	22.7	501	87	77.1	1	0.2	10,906	2,479	8,408	1,461	20
福 井	363	81	22.2	281	51	77.5	1	0.3	10,902	2,422	8,444	1,525	36
山 梨	529	123	23.3	405	68	76.5	1	0.2	9,729	2,270	7,441	1,243	18
長 野	1,278	304	23.8	972	186	76.1	2	0.2	10,298	2,448	7,833	1,500	17
岐 阜	1,143	295	25.8	846	151	74.0	2	0.2	8,836	2,280	6,543	1,164	13
静 岡	2,147	555	25.9	1,589	293	74.0	3	0.2	8,790	2,273	6,502	1,198	14
愛 知	3,881	998	25.7	2,877	501	74.1	6	0.2	8,783	2,259	6,511	1,133	13
三 重	963	249	25.9	712	132	74.0	2	0.2	8,848	2,287	6,546	1,209	14
滋 賀	775	187	24.1	585	103	75.5	3	0.4	9,637	2,322	7,280	1,285	35
京 都	1,436	316	22.0	1,117	170	77.7	4	0.3	10,854	2,386	8,437	1,282	31
大 阪	5,298	1,311	24.8	3,978	638	75.1	9	0.2	9,454	2,340	7,098	1,138	16
兵 庫	3,419	876	25.6	2,538	423	74.2	5	0.1	9,007	2,308	6,686	1,113	13
奈 良	643	174	27.1	468	87	72.8	1	0.1	8,632	2,342	6,281	1,167	9
和歌山	534	126	23.7	406	64	76.1	1	0.3	9,928	2,351	7,552	1,196	25
鳥 取	359	88	24.4	271	47	75.4	1	0.2	9,810	2,391	7,401	1,296	18
島 根	468	122	26.1	345	67	73.7	1	0.2	9,416	2,457	6,940	1,340	19
岡 山	1,009	269	26.6	739	136	73.2	2	0.2	8,697	2,316	6,365	1,175	16
広 島	1,857	479	25.8	1,375	227	74.0	3	0.2	8,911	2,299	6,598	1,088	15
山 口	940	248	26.3	691	130	73.5	1	0.1	8,816	2,323	6,482	1,215	11
徳 島	423	103	24.3	320	47	75.5	1	0.2	9,686	2,353	7,316	1,082	18
香 川	655	158	24.1	495	79	75.6	2	0.4	9,723	2,339	7,348	1,180	36
愛 媛	772	185	24.0	585	99	75.8	1	0.2	9,563	2,295	7,250	1,228	18
高 知	506	114	22.6	391	64	77.3	1	0.1	10,714	2,419	8,283	1,362	12
福 岡	3,163	868	27.4	2,291	393	72.4	4	0.1	8,133	2,231	5,891	1,012	11
佐 賀	566	164	29.0	401	73	70.9	1	0.1	7,877	2,286	5,582	1,010	9
長 崎	938	244	26.0	693	128	73.9	2	0.2	9,001	2,338	6,649	1,224	15
熊 本	1,044	280	26.8	762	145	73.0	2	0.2	8,435	2,262	6,159	1,174	14
大 分	765	192	25.1	573	104	74.9	1	0.1	9,403	2,355	7,039	1,278	8
宮 崎	695	185	26.7	509	102	73.2	1	0.1	8,493	2,264	6,218	1,245	11
鹿 児 島	979	275	28.1	703	154	71.8	1	0.1	8,331	2,341	5,980	1,307	10
沖 縄	740	186	25.2	551	116	74.5	2	0.3	9,093	2,289	6,774	1,420	30

表11-2 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳 (対前年度比)

	総 額								処方せん1枚当たり				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合	薬剤料	後発医薬品	構成割合	特定保険 医療材料 料	構成割合	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険 医療材料 料		
全 国	3.1	3.4	0.1	2.9	16.9	▲ 0.1	1.6	▲ 0.0	1.9	2.3	1.8	15.6	0.5
北海道	2.5	2.5	0.0	2.4	15.0	▲ 0.0	5.8	0.0	2.5	2.5	2.5	15.0	5.9
青森	1.9	2.4	0.1	1.8	14.4	▲ 0.1	▲ 2.3	▲ 0.0	1.8	2.2	1.7	14.2	▲ 2.5
岩手	3.8	3.7	▲ 0.0	3.9	15.0	0.0	▲ 4.7	▲ 0.0	2.1	2.0	2.2	13.1	▲ 6.3
宮城	3.2	3.3	0.0	3.2	16.4	▲ 0.0	10.8	0.0	2.9	2.9	2.9	16.0	10.4
秋田	1.0	0.9	▲ 0.0	1.0	14.5	0.0	▲ 6.0	▲ 0.0	2.4	2.4	2.4	16.1	▲ 4.7
山形	2.1	1.9	▲ 0.0	2.2	13.6	0.1	▲ 3.1	▲ 0.0	2.5	2.3	2.6	13.9	▲ 2.7
福島	1.7	2.8	0.3	1.3	16.0	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 0.0	1.5	2.6	1.2	15.8	▲ 1.0
茨城	2.3	3.3	0.2	2.0	17.3	▲ 0.2	7.5	0.0	1.4	2.4	1.1	16.3	6.5
栃木	4.2	4.2	▲ 0.0	4.3	19.9	0.0	4.5	0.0	2.8	2.8	2.8	18.3	3.0
群馬	3.3	4.9	0.4	2.8	18.8	▲ 0.4	2.4	▲ 0.0	1.0	2.6	0.5	16.2	0.1
埼玉	4.3	4.7	0.1	4.1	18.7	▲ 0.1	3.2	▲ 0.0	1.9	2.4	1.8	16.1	0.9
千葉	3.1	3.7	0.1	2.9	18.0	▲ 0.1	1.5	▲ 0.0	1.7	2.3	1.5	16.4	0.1
東京	3.2	4.2	0.2	2.8	17.9	▲ 0.2	1.8	▲ 0.0	1.4	2.4	1.0	15.8	▲ 0.0
神奈川	3.3	3.8	0.1	3.1	18.2	▲ 0.1	4.0	0.0	1.9	2.3	1.7	16.6	2.6
新潟	1.8	1.5	▲ 0.1	1.8	15.0	0.0	8.4	0.0	2.4	2.2	2.5	15.7	9.1
富山	2.4	3.2	0.2	2.2	17.0	▲ 0.2	4.4	0.0	2.9	3.6	2.7	17.5	4.8
石川	2.1	3.2	0.2	1.8	17.2	▲ 0.2	▲ 1.7	▲ 0.0	1.6	2.7	1.2	16.6	▲ 2.2
福井	2.8	2.0	▲ 0.2	3.0	15.4	0.2	2.2	▲ 0.0	3.6	2.8	3.9	16.3	3.0
山梨	2.3	3.9	0.3	1.9	19.5	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 0.0	0.6	2.2	0.2	17.5	▲ 2.4
長野	3.0	3.2	0.0	3.0	14.1	▲ 0.0	▲ 5.7	▲ 0.0	2.0	2.1	1.9	12.9	▲ 6.7
岐阜	3.4	3.0	▲ 0.1	3.6	16.4	0.1	▲ 5.2	▲ 0.0	2.5	2.2	2.7	15.5	▲ 6.0
静岡	2.7	3.0	0.1	2.6	16.3	▲ 0.1	▲ 6.0	▲ 0.0	1.6	2.0	1.5	15.0	▲ 7.0
愛知	4.0	4.2	0.0	4.0	18.5	▲ 0.0	4.7	0.0	2.0	2.1	2.0	16.2	2.7
三重	3.7	3.8	0.0	3.7	17.4	▲ 0.0	4.3	0.0	2.5	2.6	2.4	15.9	3.1
滋賀	4.6	5.5	0.2	4.3	19.7	▲ 0.2	1.0	▲ 0.0	1.3	2.2	1.0	15.9	▲ 2.2
京都	3.6	5.5	0.4	3.1	19.3	▲ 0.4	2.6	▲ 0.0	0.5	2.4	0.0	15.8	▲ 0.4
大阪	3.6	4.1	0.1	3.5	17.4	▲ 0.1	▲ 3.6	▲ 0.0	1.6	2.0	1.4	15.1	▲ 5.5
兵庫	3.0	4.0	0.3	2.6	16.6	▲ 0.3	2.6	▲ 0.0	1.7	2.7	1.3	15.2	1.3
奈良	4.0	4.3	0.1	3.9	15.3	▲ 0.1	2.7	▲ 0.0	1.4	1.7	1.3	12.4	0.1
和歌山	4.9	4.9	▲ 0.0	4.9	20.5	▲ 0.0	10.4	0.0	2.5	2.5	2.5	17.7	7.9
鳥取	1.0	2.0	0.2	0.7	16.3	▲ 0.3	8.8	0.0	0.6	1.6	0.3	15.8	8.4
島根	3.6	2.2	▲ 0.4	4.1	14.5	0.4	▲ 3.2	▲ 0.0	3.0	1.6	3.5	13.9	▲ 3.7
岡山	2.7	3.0	0.1	2.6	15.9	▲ 0.1	2.1	▲ 0.0	1.8	2.1	1.7	15.0	1.2
広島	2.4	2.0	▲ 0.1	2.5	16.2	0.1	2.0	▲ 0.0	2.6	2.2	2.8	16.4	2.2
山口	0.7	1.0	0.1	0.5	15.1	▲ 0.1	▲ 1.6	▲ 0.0	1.5	1.9	1.4	16.1	▲ 0.7
徳島	2.9	3.5	0.1	2.8	20.9	▲ 0.1	▲ 3.6	▲ 0.0	2.3	2.8	2.1	20.1	▲ 4.2
香川	3.7	3.5	▲ 0.0	3.7	16.5	0.0	12.2	0.0	2.7	2.6	2.7	15.5	11.1
愛媛	4.5	4.4	▲ 0.0	4.5	18.9	0.0	9.9	0.0	2.7	2.6	2.7	17.0	8.1
高知	2.2	2.1	▲ 0.0	2.2	15.7	0.0	0.4	▲ 0.0	2.3	2.2	2.3	15.8	0.5
福岡	2.8	2.3	▲ 0.1	3.0	15.8	0.1	2.6	▲ 0.0	2.7	2.2	2.9	15.7	2.5
佐賀	▲ 0.1	1.6	0.5	▲ 0.8	15.0	▲ 0.5	8.9	0.0	0.5	2.2	▲ 0.2	15.7	9.6
長崎	2.4	1.5	▲ 0.2	2.7	14.7	0.3	▲ 7.6	▲ 0.0	3.0	2.1	3.4	15.4	▲ 7.0
熊本	2.5	2.0	▲ 0.1	2.6	14.1	0.1	3.1	0.0	2.1	1.6	2.3	13.7	2.7
大分	1.4	2.1	0.2	1.2	15.3	▲ 0.2	▲ 1.7	▲ 0.0	1.3	2.0	1.1	15.1	▲ 1.8
宮崎	1.6	1.5	▲ 0.0	1.6	13.6	0.0	▲ 2.0	▲ 0.0	2.0	1.9	2.0	14.0	▲ 1.6
鹿児島	2.9	2.3	▲ 0.1	3.1	13.3	0.2	▲ 18.3	▲ 0.0	2.2	1.7	2.5	12.6	▲ 18.8
沖縄	5.7	3.8	▲ 0.5	6.4	17.5	0.5	1.6	▲ 0.0	3.6	1.7	4.3	15.1	▲ 0.4

注)構成割合は対前年度差を示している。

12. 都道府県別の状況(2)(内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、福井県が7,096円と最も高く、処方せん1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、3.03、26.5日、88円となっていた。一方、佐賀県が4,575円と最も低く、3要素に分解すると、2.86、19.4日、83円となっていた。

表12 都道府県別 内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

平成29年度

	実 額				対前年度比 (単位:%)			
	処方せん1枚当たり薬剤料 (円)				処方せん1枚当たり薬剤料			
	処方せん1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数(日)	1種類1日当たり薬剤料(円)		処方せん1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数	1種類1日当たり薬剤料	
全 国	5,590	2.81	23.6	84	0.8	▲ 1.0	2.1	▲ 0.4
北海道	6,943	3.10	27.8	81	1.5	▲ 0.8	2.1	0.1
青 森	5,946	2.90	25.2	81	0.8	▲ 0.8	2.4	▲ 0.8
岩 手	6,335	2.87	28.0	79	1.5	▲ 0.7	1.4	0.8
宮 城	5,494	2.79	24.5	80	1.8	▲ 1.2	2.3	0.8
秋 田	6,795	3.04	28.0	80	1.8	▲ 1.1	2.0	1.0
山 形	5,677	2.76	25.2	81	1.7	▲ 0.4	2.0	0.1
福 島	6,228	2.98	25.8	81	0.2	▲ 1.1	2.1	▲ 0.8
茨 城	6,518	2.85	26.2	87	0.0	▲ 0.9	2.2	▲ 1.2
栃 木	5,541	2.82	23.5	84	1.9	▲ 0.9	3.2	▲ 0.3
群 馬	5,818	2.86	24.2	84	▲ 0.9	▲ 1.1	2.8	▲ 2.6
埼 玉	5,428	2.72	24.0	83	0.8	▲ 0.9	2.2	▲ 0.5
千 葉	5,749	2.67	25.3	85	0.5	▲ 0.8	2.3	▲ 0.9
東 京	5,297	2.67	22.7	87	▲ 0.0	▲ 1.2	1.6	▲ 0.3
神奈川	5,266	2.60	23.6	86	0.5	▲ 0.8	2.0	▲ 0.6
新 潟	5,487	2.64	26.5	79	1.6	▲ 1.1	2.1	0.6
富 山	6,519	2.83	27.1	85	2.0	▲ 0.1	2.3	▲ 0.2
石 川	6,985	3.05	26.4	87	0.3	▲ 1.0	2.2	▲ 0.9
福 井	7,096	3.03	26.5	88	3.4	▲ 0.4	2.6	1.3
山 梨	6,156	2.73	26.5	85	▲ 0.8	▲ 1.2	1.7	▲ 1.3
長 野	6,423	2.83	27.5	83	1.0	▲ 1.3	1.8	0.4
岐 阜	5,285	2.87	22.3	83	1.6	▲ 1.4	2.8	0.2
静 岡	5,236	2.68	24.0	82	0.5	▲ 1.1	2.1	▲ 0.4
愛 知	5,226	2.76	21.8	87	0.8	▲ 1.4	2.4	▲ 0.1
三 重	5,358	2.79	23.1	83	1.2	▲ 0.7	2.2	▲ 0.2
滋 賀	5,874	2.72	25.1	86	▲ 0.2	▲ 1.3	2.1	▲ 0.9
京 都	6,838	2.90	25.3	93	▲ 1.5	▲ 1.4	1.2	▲ 1.3
大 阪	5,728	2.94	21.9	89	0.5	▲ 0.9	1.4	▲ 0.1
兵 庫	5,329	2.73	22.6	86	▲ 0.1	▲ 0.8	1.9	▲ 1.3
奈 良	5,100	2.71	24.0	78	0.8	▲ 1.0	1.8	0.1
和歌山	6,165	2.93	24.4	86	1.7	▲ 0.1	2.3	▲ 0.5
鳥 取	6,204	2.88	23.7	91	▲ 0.9	▲ 1.1	1.9	▲ 1.6
島 根	5,770	3.02	23.7	81	2.3	▲ 1.4	2.7	1.1
岡 山	5,241	2.92	22.2	81	0.5	▲ 1.2	2.6	▲ 0.8
広 島	5,363	2.88	21.3	87	1.6	▲ 1.1	2.9	▲ 0.1
山 口	5,302	2.77	22.6	85	0.4	▲ 0.6	2.8	▲ 1.6
徳 島	6,050	3.00	22.3	90	0.9	▲ 1.0	2.1	▲ 0.2
香 川	5,978	2.81	23.0	92	2.0	▲ 0.9	2.5	0.5
愛 媛	5,898	2.74	24.2	89	1.5	▲ 0.4	2.9	▲ 1.0
高 知	6,944	3.08	26.1	87	1.6	▲ 0.6	2.2	▲ 0.0
福 岡	4,783	2.89	19.9	83	1.8	▲ 0.6	2.6	▲ 0.1
佐 賀	4,575	2.86	19.4	83	▲ 1.6	▲ 1.0	2.9	▲ 3.4
長 崎	5,378	3.02	22.4	80	2.7	▲ 0.7	2.5	0.9
熊 本	5,027	3.04	21.0	79	1.2	▲ 1.5	3.3	▲ 0.5
大 分	5,841	3.11	22.6	83	0.3	▲ 0.9	2.7	▲ 1.5
宮 崎	4,975	2.86	22.4	78	1.4	▲ 0.7	2.5	▲ 0.3
鹿 児 島	4,879	2.94	22.0	76	2.1	▲ 0.3	2.5	▲ 0.1
沖 縄	5,414	2.77	24.9	78	3.4	0.3	2.7	0.5

13. 都道府県別の状況(3)(後発医薬品割合)

平成29年度末における後発医薬品割合を都道府県別にみると、数量ベース(新指標)が最も高かったのは沖縄県の83.0%であった。また、薬剤料ベースが最も高かったのは鹿児島県の23.3%であった。一方、数量ベース(新指標)、薬剤料ベースが最も低かったのは徳島県であり、それぞれ65.3%、16.2%であった。

対前年同期差をみると、数量ベース(新指標)が最も高かったのは徳島県の+6.2%、薬剤料ベースが最も高かったのは新潟県の+3.5%であった。一方、数量ベース(新指標)が最も低かったのは沖縄県の+3.1%、薬剤料ベースが最も低かったのは愛媛県の+2.4%であった。

平成30年3月

表13 都道府県別 後発医薬品割合

(単位:%)

	後発医薬品割合			後発医薬品 調剤率	対前年同期差			
	数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース		数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース	後発医薬品 調剤率
全 国	73.0	50.2	19.0	70.8	4.4	4.8	3.0	3.4
北海道	74.2	51.7	20.1	74.6	4.2	4.7	2.9	3.7
青 森	74.3	51.9	19.9	73.7	3.9	4.5	2.8	2.9
岩 手	79.0	54.4	22.3	75.8	3.9	4.8	3.0	3.2
宮 城	76.1	51.4	20.2	73.6	4.8	5.1	3.1	3.2
秋 田	73.5	50.7	20.2	73.2	4.7	5.0	3.4	3.9
山 形	77.3	53.4	20.9	74.4	4.2	4.6	3.0	3.3
福 島	73.0	50.5	19.7	74.5	5.1	5.1	3.3	3.6
茨 城	72.2	49.6	18.7	69.8	4.1	4.5	3.0	3.2
栃 木	73.9	51.4	20.2	72.9	5.5	5.9	3.4	3.8
群 馬	76.5	53.1	20.0	73.0	4.3	5.1	3.1	3.4
埼 玉	74.1	51.5	20.1	71.3	4.3	5.0	3.3	3.3
千 葉	73.6	50.7	19.4	70.6	4.4	5.0	3.2	3.5
東 京	68.5	45.6	17.2	64.6	4.4	4.6	2.7	3.3
神奈川	71.3	48.6	18.4	66.7	4.2	4.8	3.0	3.4
新 潟	75.7	52.4	21.5	74.6	5.0	5.5	3.5	4.2
富 山	77.1	53.4	20.1	74.8	4.3	5.1	3.3	3.7
石 川	75.4	51.4	18.9	72.6	4.1	4.9	3.1	3.2
福 井	77.4	53.8	19.5	74.9	4.3	4.9	2.8	3.6
山 梨	66.8	45.3	17.4	63.4	5.2	5.3	2.6	3.4
長 野	76.8	53.2	20.4	72.8	4.2	4.9	2.9	3.2
岐 阜	71.8	49.4	19.6	72.2	4.5	4.9	3.0	3.6
静 岡	74.8	52.0	20.2	72.4	4.5	5.2	3.3	3.7
愛 知	73.8	50.3	19.2	72.8	4.8	5.2	3.2	3.8
三 重	74.7	52.3	20.0	72.4	4.4	5.2	2.9	3.1
滋 賀	73.5	51.4	19.5	71.9	4.2	4.8	3.4	3.4
京 都	70.1	48.1	16.5	68.3	4.2	4.7	2.5	3.6
大 阪	70.0	48.3	17.3	68.7	4.6	4.7	2.6	3.4
兵 庫	72.2	50.0	18.1	69.6	4.2	4.8	2.9	3.5
奈 良	71.9	50.9	20.3	69.4	4.1	4.7	3.1	3.5
和歌山	70.0	47.9	17.5	68.5	5.0	5.2	3.1	4.0
鳥 取	77.0	53.2	19.0	72.1	4.4	5.0	3.0	2.8
島 根	77.6	54.4	20.6	74.4	4.2	4.7	2.6	2.8
岡 山	75.2	52.1	19.7	73.0	4.3	4.8	2.7	3.1
広 島	70.9	48.1	18.0	70.7	4.6	4.8	2.9	3.7
山 口	75.5	52.8	20.2	74.5	4.2	4.8	3.2	3.3
徳 島	65.3	45.2	16.2	66.9	6.2	5.9	2.9	5.1
香 川	70.8	48.5	17.1	69.6	4.3	4.4	2.5	3.1
愛 媛	73.6	51.2	17.7	71.6	4.3	4.5	2.4	3.2
高 知	67.5	46.8	17.9	67.8	4.1	4.6	2.6	2.6
福 岡	73.7	50.5	18.6	72.6	4.3	4.7	3.0	3.3
佐 賀	75.6	52.5	19.8	74.7	5.0	5.4	3.4	3.7
長 崎	74.4	51.3	19.6	73.5	4.5	4.8	2.9	3.2
熊 本	75.2	52.9	20.3	76.5	3.8	4.2	2.6	2.7
大 分	73.6	51.6	19.7	73.7	4.7	5.0	3.1	3.2
宮 崎	78.1	54.9	21.3	76.8	4.1	4.8	2.9	3.0
鹿児島	80.7	57.7	23.3	78.8	4.1	4.9	3.0	3.0
沖 縄	83.0	60.3	22.3	80.8	3.1	4.1	3.1	2.1

14. 処方せん発行元医療機関別分析

調剤医療費を処方せん発行元医療機関別にみると、病院の3兆1,372億円に比べ、診療所が4兆5,048億円と高く、中でも内科が2兆3,867億円と最も高かった。また、処方せん1枚当たり調剤医療費は、診療所の7,039円に比べ、病院が16,809円と高く、中でも大学病院が28,572円と最も高かった。また、処方せん1枚当たり調剤医療費は、歯科病院が▲1.4%と減少した一方、その他は上昇した。

平成29年度末の後発医薬品割合(数量ベース、新指標)をみると、病院では73.3%、診療所では72.8%であった。医科の中で最も高かったのは産婦人科の78.0%であり、最も低かったのは大学病院の64.4%であった。医科の中で伸び幅が最も大きかったのは耳鼻咽喉科の+5.4%であり、最も小さかったのは眼科の+2.5%であった。

表14-1 調剤医療費の内訳(総額)

平成29年度

	実数	総額																					
		総数	医科																		歯科		
			病院	診療所								内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	病院	診療所	
大学病院	公的病院	法人病院		個人病院	200床未満	200床以上	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科												産婦人科
	調剤医療費(億円)	76,664	76,420	31,372	5,110	12,977	13,123	162	9,771	21,600	45,048	23,867	1,827	1,788	3,283	2,428	365	1,926	2,767	6,797	161	68	92
	処方せん枚数(受付回数)(万枚)	83,445	82,662	18,663	1,788	6,528	10,189	159	8,161	10,502	63,999	27,305	4,433	2,289	5,708	5,206	655	4,721	6,282	7,399	675	200	475
対前年度比(%)	調剤医療費(億円)	3.1	3.1	2.0	2.6	2.2	1.7	▲11.9	2.4	1.8	3.8	3.3	0.6	▲0.4	7.1	7.4	3.8	3.7	5.1	4.6	1.2	2.0	0.6
	処方せん枚数(受付回数)(万枚)	1.1	1.1	▲0.1	▲1.0	▲0.0	0.2	▲13.0	0.5	▲0.5	1.5	1.6	▲0.8	▲3.1	2.2	2.9	2.2	0.9	2.1	2.4	0.0	3.4	▲1.4

注) 「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

表14-2 後発医薬品割合

平成30年3月
(単位:%)

	実数	総額																					
		総数	医科																		歯科		
			病院	診療所								内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	病院	診療所	
大学病院	公的病院	法人病院		個人病院	200床未満	200床以上	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科												産婦人科
	数量ベース(新指標)	73.0	73.0	73.3	64.4	74.5	74.3	71.9	73.8	73.0	72.8	73.8	69.7	73.8	69.8	70.6	78.0	73.1	77.6	69.0	79.3	83.9	74.7
	薬剤料ベース	19.0	19.0	15.6	9.6	14.7	19.4	19.1	20.4	13.7	21.8	22.8	19.4	23.4	19.3	20.3	26.1	16.3	26.4	18.5	30.8	24.4	41.1
対前年	数量ベース(新指標)	4.4	4.4	4.3	4.9	4.3	4.2	2.7	4.6	4.1	4.4	4.5	3.9	4.3	4.6	4.3	5.2	2.5	5.4	3.7	4.5	4.5	4.3
	薬剤料ベース	3.0	3.0	2.4	1.4	2.2	3.1	2.2	3.2	2.0	3.4	4.1	4.5	3.5	1.3	1.3	12.5	0.5	2.4	2.5	3.8	3.5	4.0

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

表14-3 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

平成29年度

	総数																					
	内科																		歯科			
	病院	診療所																	病院	診療所		
		大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他						
調剤医療費	9,187	9,245	16,809	28,572	19,880	12,880	10,215	11,973	20,568	7,039	8,741	4,121	7,814	5,752	4,663	5,569	4,080	4,404	9,186	2,380	3,411	1,946
技術料	2,292	2,298	2,580	2,531	2,579	2,590	2,464	2,581	2,579	2,216	2,496	1,995	2,385	1,889	1,887	1,938	1,337	1,965	2,549	1,458	1,524	1,430
構成割合(%)	24.9	24.9	15.3	8.9	13.0	20.1	24.1	21.6	12.5	31.5	28.6	48.4	30.5	32.8	40.5	34.8	32.8	44.6	27.7	61.3	44.7	73.5
調剤技術料	1,848	1,856	2,131	2,064	2,126	2,147	2,013	2,146	2,120	1,775	2,069	1,508	1,958	1,453	1,426	1,491	896	1,501	2,108	993	1,066	962
調剤基本料	656	656	637	583	647	641	632	647	630	662	670	656	665	657	628	685	649	668	664	671	628	688
調剤料	1,025	1,031	1,263	1,306	1,250	1,264	1,198	1,262	1,263	964	1,232	576	1,152	763	557	746	241	732	1,264	317	424	271
加算料	167	168	231	174	229	242	183	237	226	150	167	276	141	33	241	60	6	101	180	5	13	2
薬学管理料	443	443	449	467	453	443	451	436	459	441	427	488	427	436	461	447	441	463	441	465	458	468
薬剤料	6,880	6,931	14,183	25,937	17,234	10,264	7,738	9,369	17,923	4,816	6,232	2,125	5,425	3,860	2,776	3,630	2,743	2,440	6,634	921	1,883	517
構成割合(%)	74.9	75.0	84.4	90.8	86.7	79.7	75.8	78.3	87.1	68.4	71.3	51.6	69.4	67.1	59.5	65.2	67.2	55.4	72.2	38.7	55.2	26.5
内服薬	5,598	5,639	11,859	20,558	14,459	8,750	6,455	7,943	14,902	3,826	5,342	1,407	4,654	2,825	1,261	3,198	206	1,853	6,040	763	1,561	428
屯服薬他	46	46	71	98	78	62	42	51	87	38	48	16	41	14	3	29	1	12	108	37	50	31
注射薬	346	348	1,113	3,625	1,385	509	358	432	1,642	126	178	100	89	367	6	35	3	3	50	15	50	1
外用薬	891	897	1,140	1,656	1,313	943	884	944	1,293	826	664	603	641	654	1,506	369	2,533	572	437	106	222	57
(再掲)後発医薬品	1,209	1,217	2,092	2,382	2,405	1,851	1,409	1,774	2,339	962	1,285	385	1,170	716	539	754	461	659	1,135	261	415	196
特定保険医療材料	16	16	47	103	66	26	13	22	66	6	13	1	4	2	0	1	0	0	3	1	4	0
構成割合(%)	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.2	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
調剤医療費	1.9	1.9	2.1	3.6	2.2	1.4	1.2	1.9	2.3	2.3	1.7	1.4	2.8	4.7	4.3	1.6	2.8	2.9	2.2	1.2	▲1.4	2.0
技術料	2.3	2.3	2.5	2.5	2.6	2.4	2.1	2.5	2.5	2.3	2.1	1.9	2.4	3.0	2.5	2.4	2.9	2.9	1.9	3.2	3.3	3.1
構成割合(%)	0.1	0.1	0.1	▲0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	▲0.0	0.1	0.2	▲0.1	▲0.6	▲0.7	0.3	0.0	0.0	▲0.1	1.2	2.0	0.8
調剤技術料	2.8	2.8	3.0	3.1	3.1	3.0	2.0	3.1	3.0	2.8	2.5	2.4	3.0	3.8	3.3	3.0	4.4	3.9	2.2	4.6	4.6	4.5
調剤基本料	7.2	7.2	9.7	11.6	10.4	9.0	10.6	9.1	10.3	6.5	6.5	5.8	7.0	6.6	6.4	6.7	6.4	6.4	6.5	7.0	9.2	6.3
調剤料	0.5	0.5	0.1	▲0.1	▲0.0	0.2	▲1.2	0.3	▲0.0	0.8	0.5	1.1	0.8	1.6	1.2	0.7	▲0.4	3.4	0.2	0.1	▲1.2	0.2
加算料	0.8	0.8	2.1	1.6	1.7	2.5	▲3.9	2.8	1.6	0.5	2.0	▲2.3	2.7	2.6	0.4	▲7.0	▲2.7	▲7.1	1.7	▲1.9	▲3.0	▲5.9
薬学管理料	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	▲0.1	2.6	0.0	0.2	0.0	▲0.0	0.3	▲0.0	0.3	0.0	0.3	▲0.0	▲0.1	0.2	0.4	0.2	0.4
薬剤料	1.8	1.8	2.0	3.7	2.2	1.2	1.0	1.7	2.3	2.3	1.6	1.0	2.9	5.6	5.6	1.1	2.7	2.9	2.3	▲1.9	▲4.9	▲0.9
構成割合(%)	▲0.1	▲0.1	▲0.1	0.1	▲0.0	▲0.2	▲0.2	▲0.1	▲0.0	0.0	▲0.1	▲0.2	0.1	0.6	0.7	▲0.3	▲0.0	▲0.0	0.1	▲1.2	▲2.0	▲0.8
内服薬	0.8	0.8	1.0	1.9	1.2	0.5	▲0.7	1.1	1.2	1.3	0.8	▲3.0	2.3	5.2	3.8	0.8	▲1.5	▲0.1	2.1	▲2.6	▲5.9	▲1.3
屯服薬他	▲0.3	▲0.3	▲0.1	▲2.8	0.7	▲0.1	4.3	0.5	▲0.2	▲0.0	▲0.6	2.5	▲0.7	3.0	1.3	▲2.4	▲5.6	4.9	▲0.3	▲1.0	▲2.9	▲0.6
注射薬	11.3	11.3	12.7	15.4	13.5	8.6	22.4	9.1	13.8	10.8	9.6	10.2	13.7	13.0	8.2	▲8.1	0.1	28.6	12.4	21.2	15.5	177.9
外用薬	5.1	5.1	3.2	3.3	2.5	3.8	6.0	4.0	2.8	6.0	6.4	10.1	6.5	3.6	7.1	5.0	3.1	13.6	4.4	0.6	▲2.3	1.3
(再掲)後発医薬品	15.6	15.6	17.4	20.9	18.3	16.0	10.8	15.4	18.8	14.9	16.5	21.0	14.2	8.7	8.6	58.9	4.9	15.3	13.4	6.6	5.0	6.3
特定保険医療材料	0.5	0.5	1.2	▲0.0	1.7	1.1	25.8	2.0	1.2	1.2	1.1	17.9	2.7	13.1	▲8.1	▲23.0	▲6.3	78.1	▲5.7	9.4	5.6	23.1
構成割合(%)	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	0.0	0.0	0.0

注1) 「調剤基本料」には、基準調剤加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。
 注2) 「内服薬」とは、内服薬のうち、調剤報酬明細書に記載された剤形が「内服」もしくは「一包」である薬剤をいう。
 注3) 「屯服薬他」とは、内服薬のうち、調剤報酬明細書に記載された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。
 注4) 処方せん発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。
 注5) 構成割合は対前年度差を示している。

15. 制度別分析

調剤医療費を制度別にみると、調剤医療費の総額が最も大きかったのは後期高齢者の2兆6,996億円であった。また、処方せん1枚当たり調剤医療費が最も大きかったのは公費の12,396円であり、伸び率が最も大きかったのは健保組合の+2.5%、最も小さかったのは国保組合の+1.3%であった。

平成29年度末の後発医薬品割合（数量ベース、新指標）をみると、最も高かったのは公費の76.8%、最も低かったのは後期高齢者の70.7%であった。伸び幅が最も大きかったのは共済組合の+4.7%、最も小さかったのは公費の+3.4%であった。

表15-1 調剤医療費の内訳（総額）

平成29年度

	実数	総額										
		医療保険適用計	被用者保険計			国民健康保険計			後期高齢者	公費		
			協会一般	共済組合	健保組合	市町村国保	国保組合					
調剤医療費(億円)	76,664	73,035	25,540	13,451	2,732	9,307	20,499	19,424	1,074	26,996	3,629	
処方せん枚数(受付回数)(万枚)	83,445	80,517	35,576	17,919	4,068	13,532	20,982	19,665	1,317	23,958	2,928	
対前年度比												
調剤医療費	3.1	3.1	5.7	6.8	2.7	5.2	▲ 2.1	▲ 2.2	0.7	4.7	2.9	
処方せん枚数(受付回数)	1.1	1.1	3.2	4.2	0.7	2.6	▲ 3.7	▲ 3.9	▲ 0.6	2.6	0.6	

注) 「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

表15-2 後発医薬品割合

平成30年3月
(単位:%)

	実数	総額									
		医療保険適用計	被用者保険計			国民健康保険計			後期高齢者	公費	
			協会一般	共済組合	健保組合	市町村国保	国保組合				
数量ベース(新指標)	73.0	72.8	74.5	75.0	73.7	74.1	73.6	73.7	72.0	70.7	76.8
薬剤料ベース	19.0	19.0	19.0	19.2	18.4	18.9	19.0	19.1	17.7	19.1	19.4
対前年											
数量ベース(新指標)	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.3	4.3	4.4	4.3	3.4
薬剤料ベース	3.0	3.0	3.3	3.4	3.2	3.3	3.2	3.3	3.1	2.5	2.2

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

表15-3 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

平成29年度

	実数(円)	総数										
		医療保険適用計										公費
		被用者保険計			国民健康保険計				後期高齢者			
			協会一般	共済組合	健保組合		市町村国保	国保組合				
調剤医療費	9,187	9,071	7,179	7,507	6,715	6,878	9,770	9,878	8,156	11,268	12,396	
技術料	2,292	2,274	2,063	2,090	2,027	2,038	2,272	2,283	2,099	2,591	2,762	
構成割合(%)	24.9	25.1	28.7	27.8	30.2	29.6	23.3	23.1	25.7	23.0	22.3	
調剤技術料	1,848	1,831	1,599	1,628	1,561	1,571	1,825	1,837	1,650	2,181	2,319	
調剤基本料	656	656	662	657	663	667	646	645	661	655	678	
調剤料	1,025	1,013	813	847	765	782	1,057	1,069	875	1,273	1,349	
加算料	167	162	124	124	133	122	123	123	115	253	292	
薬学管理料	443	443	464	462	466	466	446	446	449	410	443	
薬剤料	6,880	6,781	5,104	5,403	4,679	4,830	7,478	7,574	6,041	8,661	9,609	
構成割合(%)	74.9	74.8	71.1	72.0	69.7	70.2	76.5	76.7	74.1	76.9	77.5	
内服薬	5,598	5,510	3,899	4,190	3,460	3,640	6,215	6,313	4,755	7,285	8,009	
屯服薬他	46	43	50	51	52	49	47	46	51	31	108	
注射薬	346	343	375	399	376	344	386	385	397	259	406	
外用薬	891	884	779	764	790	797	830	830	838	1,086	1,085	
(再掲)後発医薬品	1,209	1,189	879	943	775	825	1,304	1,325	979	1,548	1,778	
特定保険医療材料料	16	15	12	14	9	10	20	21	15	16	25	
構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	
調剤医療費	1.9	1.9	2.5	2.5	2.0	2.5	1.7	1.7	1.3	2.0	2.2	
技術料	2.3	2.3	2.5	2.5	2.3	2.5	2.3	2.4	2.3	2.0	2.8	
構成割合(%)	0.1	0.1	▲0.0	▲0.0	0.1	▲0.0	0.1	0.1	0.2	▲0.0	0.1	
調剤技術料	2.8	2.8	3.2	3.2	3.0	3.3	2.9	3.0	2.9	2.4	3.2	
調剤基本料	7.2	7.2	7.0	6.9	6.9	7.1	7.3	7.4	7.1	7.2	7.4	
調剤料	0.5	0.5	1.2	1.3	0.7	1.2	0.6	0.6	0.5	0.1	1.1	
加算料	0.8	0.7	▲2.5	▲2.4	▲1.8	▲2.9	1.5	1.7	▲1.2	1.9	3.9	
薬学管理料	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	▲0.0	▲0.0	0.1	0.1	0.5	
薬剤料	1.8	1.8	2.5	2.5	1.9	2.6	1.5	1.6	1.0	2.0	2.1	
構成割合(%)	▲0.1	▲0.1	0.0	0.0	▲0.1	0.0	▲0.1	▲0.1	▲0.3	0.0	▲0.1	
内服薬	0.8	0.8	0.8	0.8	▲0.1	0.9	0.5	0.6	▲0.8	1.6	1.6	
屯服薬他	▲0.3	▲0.1	▲0.3	0.3	▲0.6	▲0.8	0.5	0.5	0.7	▲0.0	▲1.8	
注射薬	11.3	11.3	12.2	13.2	10.9	10.8	11.7	11.7	11.0	9.9	10.5	
外用薬	5.1	5.2	7.5	7.3	7.6	7.6	4.7	4.6	7.2	2.9	3.6	
(再掲)後発医薬品	15.6	15.7	18.8	18.8	17.9	18.7	17.0	17.0	17.1	12.8	14.3	
特定保険医療材料料	0.5	0.5	0.5	1.3	▲3.4	▲0.3	0.8	0.7	3.6	2.2	0.7	
構成割合(%)	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	0.0	0.0	▲0.0	

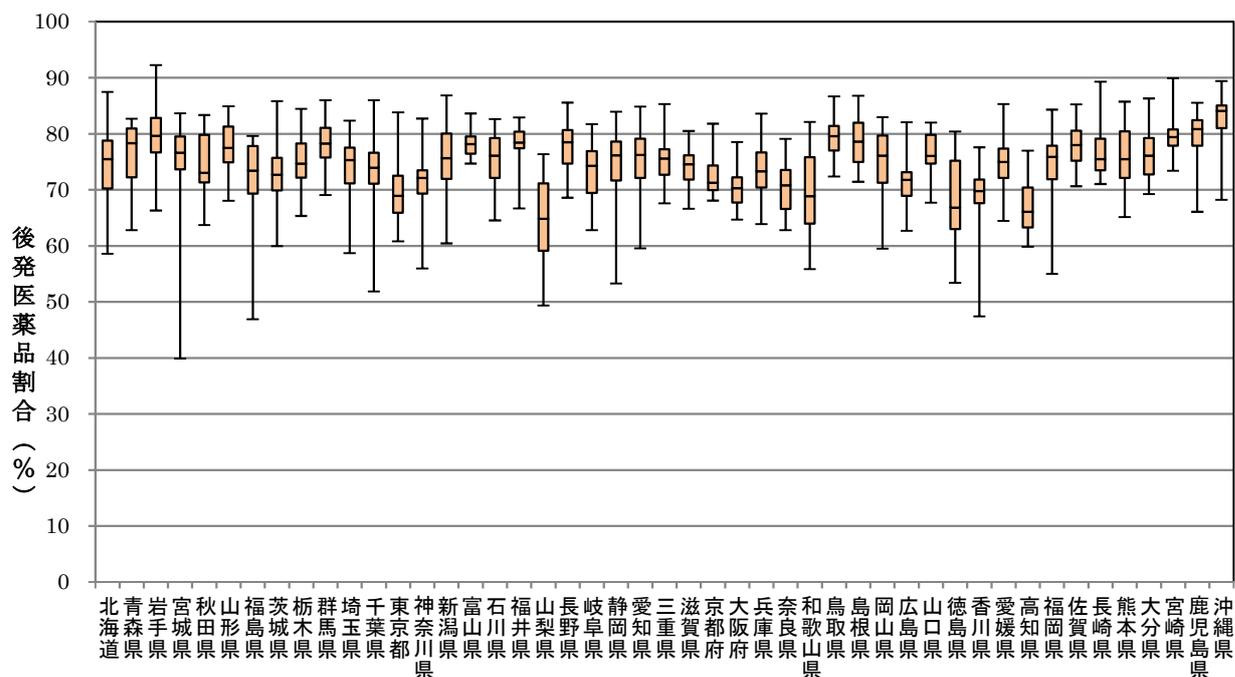
注1) 「調剤基本料」には、基準調剤加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている
 注2) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」もしくは「一包」である薬剤をいう。
 注3) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。
 注4) 構成割合は対前年度差を示している。

1.7. 後発医薬品割合の市町村別状況

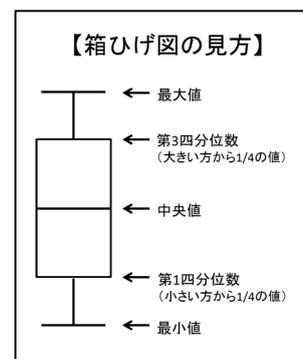
1. 後発医薬品割合の都道府県別分布状況

各都道府県における、市町村別にみた後発医薬品割合の分布状況を示している。
表 13 で後発医薬品割合が最も高かった沖縄県は、中央値も最も高かった。

図 1



- (注 1) 保険請求のあった薬局の所在地を示している。(平成 30 年 3 月調剤分)
- (注 2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。
- (注 3) 長方形の下側の辺は第 1 四分位数、上側の辺は第 3 四分位数、中央の線は中央値、ひげの両端が最大値、最小値である。
- (注 4) 後発医薬品割合は数量ベース（新指標）を用いている。



この資料に関する詳細は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

掲載場所 (URL) <http://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/17/gaiyou.html>

2. 後発医薬品割合の地域別結果

表 17 (上位 20)

順位	都道府県	市町村名	割合(%)	順位	都道府県	市町村名	割合(%)
1	岩手県	クノヘグン カルマイマチ 九戸郡軽米町	92.3	11	鳥取県	トウハクグン ユリハマチヨウ 東伯郡湯梨浜町	86.7
2	宮崎県	コユグン シントミチヨウ ウ 児湯郡新富町	89.9	12	岩手県	ニノヘグン イチノヘマチ 二戸郡一戸町	86.3
3	岩手県	クジシ 久慈市	89.7	13	大分県	タケタン 竹田市	86.3
4	沖縄県	シマジリグン ヨナバルチヨウ ウ 島尻郡与那原町	89.4	14	群馬県	アガツマグン ナカノジョ ウマチ 吾妻郡中之条町	86.0
5	長崎県	ミナミマツウラグンシンカミゴトウチヨウ ウ 南松浦郡新上五島町	89.3	15	千葉県	アサヒシ 旭市	86.0
6	北海道	アカピラシ 赤平市	87.5	16	沖縄県	ナンジョ ウシ 南城市	85.9
7	長崎県	ヒガシノギグンハサミチヨウ ウ 東彼杵郡波佐見町	87.4	17	群馬県	アガツマグンナガノハラマチ 吾妻郡長野原町	85.9
8	沖縄県	ナカガミグンキタナカガスクン 中頭郡北中城村	87.0	18	茨城県	ユウキグンヤチヨマチ 結城郡八千代町	85.8
9	新潟県	ミナミウオヌマグンユザワマチ 南魚沼郡湯沢町	86.8	19	沖縄県	シマジリグンヤエセチヨウ ウ 島尻郡八重瀬町	85.7
10	島根県	チカノアングン ツワノチヨウ ウ 鹿足郡津和野町	86.8	20	熊本県	アソグンアソマチ 阿蘇郡南阿蘇村	85.7

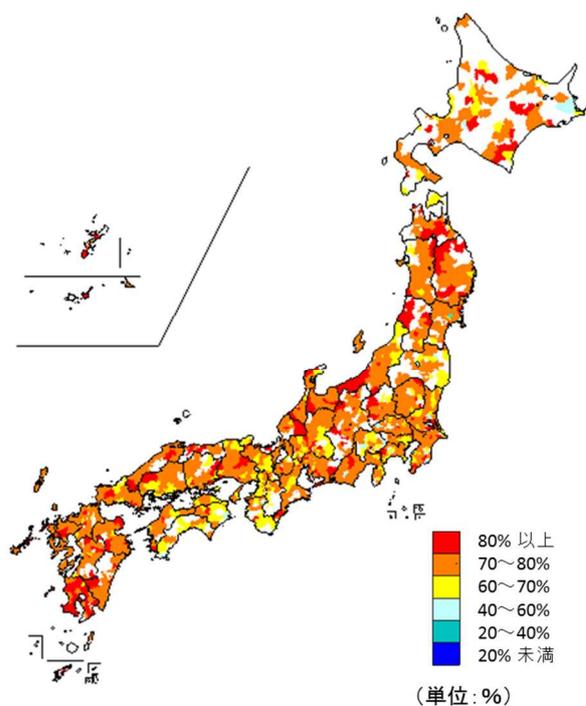
(注 1) 保険請求のあった薬局の所在地を示している。(平成 30 年 3 月調剤分)

(注 2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。

(注 3) 後発医薬品割合は数量ベース(新指標)を用いている。

3. 市町村別後発医薬品割合マップ

図 2



(注 1) 保険請求のあった薬局の所在地を示している。(平成 30 年 3 月調剤分)

(注 2) 空白となっている地域は、当該月において保険請求のあった薬局数が 3 軒以下の市町村である。

(注 3) 後発医薬品割合は数量ベース(新指標)を用いている。

平成30年北海道胆振東部地震による被災に伴う

医療保険制度の主な対応状況について

被災者の方の支援に関すること

1. 被保険者証等の提示が無い場合の受診の取扱い

被保険者証等を紛失した場合など、医療機関に提示できない場合であっても、氏名、生年月日等を申し出ることによって、保険により受診できることとした。

主に被災地の医療機関等への配慮に関すること

1. 診療報酬の請求の取扱いについて

(1) 診療録等の滅失等の場合の概算請求

診療録及びレセプトコンピュータ等を滅失、汚損又は棄損した場合、平成30年8月診療分については概算による請求を行うことができることとした。

(2) 請求書の提出期限の延長

被災した医療機関等について、平成30年8月診療分（9月提出分）に係る診療報酬請求書等の提出期限を9月12日まで延長した。

2. 診療報酬の算定について

患者の急激な増加等に鑑み、診療報酬の算定について柔軟な取扱いを行うこととした。

(1) 医療法上の許可病床数を超過する入院の取扱い

被災者を受け入れたことにより医療法上の許可病床を超過する場合には、通常適用される診療報酬の減額措置を行わないこととした。

(2) 看護配置の変動に関する取扱い

被災者を受け入れたことにより、看護要員の比率等に変動があった場合でも当面、変更の届出は不要とした。

(3) 平均在院日数等の取扱い

被災者を受け入れたことにより、平均在院日数、「重症度、医療・看護必要度」、在宅復帰率、医療区分2・3の患者割合が入院基本料等の施設基準を満たさなくなった場合でも、当面、被災前から算定していた入院基本料を算定することとした。

(4) 本来の病棟でない病棟等に入院した場合の取扱い

原則として、当該患者が実際に入院した病棟の入院基本料等を算定することとした。また、会議室等病棟以外の場所に入院させた場合には、必要とされる診療が行われている場合に限り、当該医療機関が届出を行っている入院基本料のうち、当該患者が本来入院すべき病棟の入院基本料を算定することとした。

(5) 透析を目的とした他医療機関受診の取扱い

被災前から継続して入院している慢性透析患者であって、今般の被災により当該保険医療機関の透析設備が使用不可能となるなど真にやむを得ない事情がある場合には、当該患者が透析を目的として他医療機関受診を行った場合は、その日について入院基本料等の控除を行わないこととした。

(6) DPC 対象病院の要件等の取扱い

被災者を受け入れたことにより入院患者が一時的に急増した場合に、看護要員の数等の施設基準を満たさなくなった場合については、「DPC 対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」には該当せず、届出は不要とした。また、DPC 対象病院等が提出する退院患者に係るデータについて、平成 30 年 6 月分までのデータチェックの提出期限を当分の間延長することとした。

3. 保険調剤について

(1) 記載事項が不十分な処方せんの取扱い

被災により被保険者証を保険医療機関に提示できなかったため、保険薬局が、保険者番号、被保険者証の番号、又は保険医療機関の記載がない処方せんを受け付けた場合であっても、加入保険、事業所名、処方せんを受け付けた場所等を被災者に確認することによって、保険調剤として取り扱ってよいこととした。

(2) 処方せんを持参できない場合の取扱い

被災地の保険薬局において、被災者が処方せんを持参できない場合であっても、交通の遮断等やむをえない理由により医師の診療を受けることができないと認められ、医師への電話等により処方内容を確認できる場合には、事後的に処方せんが発行されることを条件として、保険調剤として取り扱ってよいこととした。

主に被災地以外の医療機関への配慮に関すること

1. 診療報酬の算定について

被災地から患者を受け入れている医療機関の状況等に鑑み、診療報酬の算定について柔軟な取扱いを行うこととした。

(1) 医療法上の許可病床数を超過する場合の取扱い

被災者を受け入れたことにより医療法上の許可病床を超過する場合には、通常適用される診療報酬の減額措置を適用しないこととした。

(2) 看護配置の変動に関する取扱い

被災者を受け入れたことや、被災地に職員を派遣したことにより、看護要員の比率等に変動があった場合でも、当面、変更の届出は不要とした。

(3) 平均在院日数等の取扱い

被災地の医療機関から転院の受け入れを行った場合には、当面、当該患者を除いて平均在院日数、「重症度、医療・看護必要度」、在宅復帰率、医療区分2・3の患者割合を計算できることとした。

(4) 本来の病床でない病床等に入院した場合の取扱い

原則として、当該患者が実際に入院した病棟の入院基本料等を算定することとした。

(5) 透析を目的とした他医療機関受診の取扱い

被災地の保険医療機関に被災前から継続して入院している慢性透析患者の転院を受け入れた場合であって、当該被災地以外の医療機関の透析設備の不足等、真にやむを得ない事情により、当該患者が透析を目的として他医療機関受診を行った場合は、その日について入院基本料等の控除を行わないこととした。

(6) DPC 対象病院の要件等の取扱い

被災者を受け入れたことにより入院患者が一時的に急増した場合に、看護要員の数等の施設基準を満たさなくなった場合については、「DPC 対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」には該当せず、届出は不要とした。また、DPC 対象病院等が提出する退院患者に係るデータについて、平成 30 年 6 月分までのデータチェックの提出期限を当分の間延長することとした。